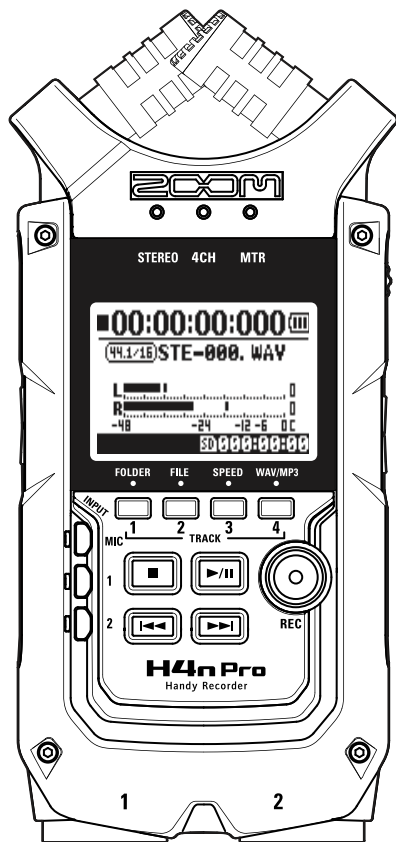


ZOOM®

H4n Pro Handy Recorder

オペレーションマニュアル



© 2016 ZOOM CORPORATION

本マニュアルの一部または全部を
無断で複製／転載することを禁じます。

H4n Proの特長

このたびは、ZOOM H4n Proハンディレコーダー（以下「H4n Pro」と呼びます）をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。H4n Proは、次のような特長を備えた製品です。

●オールインワンのハンディレコーダー

294gのコンパクトなサイズに、X/Y方式を実現した高性能なステレオコンデンサーマイク、内蔵スピーカー、SDカードレコーダー、ミキサー、エフェクターなどの機能を凝縮。いつでもどこでも録音や音楽制作が楽しめます。

●フィールドレコーディングからマルチトラック録音まで対応

レコーダーの動作モードは、高音質なステレオ録音が行える「ステレオモード」と、2系統の音源をステレオ録音できる「4chモード」、4トラック同時再生／2トラック同時録音が可能な「MTRモード」を選択可能。思いついたメロディやバンド演奏を記録したり、効果音を集音するフィールドレコーダーとして、あるいは楽器やボーカルを重ねて作品を作るマルチトラックレコーダーとして利用できます。さらに「スタミナモード」なら、電池で最長11時間ものステレオ録音が可能です。

●新開発の90°／120°バリエابلXYステレオマイク

内蔵ステレオマイクを可動式にすることで、H4n Proは今まで以上に幅広い録音シーンに対応できるようになりました。広い收音域で録音したい場合は120°のセッティングで、またセンター領域の音源をクリアに録音したい場合は90°のセッティングを選ぶことができます。いずれもXY方式の同軸上にマイクをマウントしてありますので、位相差がなく自然なステレオ録音が実現できます。

H4n Proの機能を十分に理解し、末永くご愛用頂くために、このマニュアルをよくお読みください。また、一通り読み終わった後も、このマニュアルは保証書とともに保管してください。

●マイクもギターも直結。XLR／標準フォン兼用入力端子を搭載

いろいろな録音スタイルをH4n Proで実践できるように、接続に対応する入力端子も充実しました。マイクだけでもステレオマイクやコンデンサマイク、ギター、ベース、キーボードなどももちろん直結できます。

●パソコンのオーディオインターフェース／SDカードリーダーとしても使用可能

パソコンと直結可能な高速 USB2.0 Hi-Speed 端子を装備。エフェクト内蔵のオーディオインターフェースとして利用できます（ただし、エフェクトの利用は、サンプリングレートが44.1kHzの時に限る）。また、H4n Proをパソコン用のSDカードリーダーとして使用することも可能です。録音済みのファイルをパソコンに取り込んでオーディオCDやDAWソフトの素材として利用できます。

●チューナー／メトロノーム／カラオケ等の多彩な機能を内蔵

標準的なクロマチックチューニング以外に、7弦ギター／5弦ベースや変則チューニングにも対応するチューナー機能と、練習やマルチトラック録音に便利なメトロノーム機能を装備。練習用マシンとしても活用できます。また、再生スピードを50%～150%の範囲で変更可能なSPEED機能や、ステレオファイルのセンターキャンセル、キーコントロールが可能なKARAOKE機能など、語学学習やボイストレーニングにも威力を発揮する機能を搭載しています。

こんなシーンで活用できます



ヴォーカル録音に



アコースティックギターの録音に



ピアノの発表会に



ライブ録音に



バンド練習に



アナログ音源のデジタル化に



会議の録音に



フィールドレコーディングに



ドラムの練習に

もくじ

H4n Proの特長	001
こんなシーンで活用できます	002
もくじ	003
安全上のご注意	006
著作権についてのご注意	007

スタートアップ編

1-1 H4n Proを使った録音の流れ	009
1-2 カンタン録音ガイド【ステレオモード】	011
2-1 各部の名称と機能	013
3 電池・電源のセッティング	015
4-1 電源のON・OFF POWERスイッチ/HOLDスイッチの使い方	017
4-2 [REC]ボタン・ロケーターボタンの使い方	019
4-3 TRACK[1][2][3][4]ボタンの使い方	020
4-4 INPUT[MIC][1][2]ボタンの使い方	021
4-5 REC LEVEL・VOLUMEボタンの使い方	022
4-6 [DIAL]・[MENU]ボタンの使い方	023
5-1 SDカードの取り付け	025
5-2 日付・時刻を設定する<DATE/TIME>	026
6-1 セッティング 外部機器との接続方法	027
6-2 セッティング 内蔵マイク	028
6-3 セッティング 内蔵マイク・外部マイクとプラグインパワー	029
6-4 セッティング INPUT[1][2]の接続とファンタム電源	030
6-5 USB接続 オーディオインターフェースとして使う	031

6-6 セッティング USB接続 SDカードリーダーとして使う	033
6-7 セッティング 内蔵スピーカー	034
7-1 モードについて	035
7-2 モードの切り替え・確認<MODE>	036
7-3 モードの詳細	037
8-1 モードと画面 ステレオモード・スタミナモード	038
8-2 モードと画面 4CHモード	039
8-3 モードと画面 MTRモード	040
8-4 モードと画面 MAIN MENU	041
9 オプション リモコンの操作	043

操作編

1-01 設定・録音 入カソースと録音レベルの設定	045
1-02 設定・録音 ステレオモード・スタミナモードの録音	047
1-03 設定・録音 録音フォーマット<REC FORMAT>	049
1-04 設定・録音 ファイル名<FILE NAME>	050
1-05 設定・録音 4CHモードの録音	051
1-06-1 設定・録音 MTRモードの録音 <REC MODE>	053
1-06-2 設定・録音 MTRモード<OVER WRITE>の録音	055
1-06-3 設定・録音 MTRモード<ALWAYS NEW>の録音	056
1-07 設定・録音 TRACK MENU	057
1-08-1 設定・録音 録り直す<PUNCH IN/OUT> (自動)	059
1-08-2 設定・録音 録り直す<PUNCH IN/OUT> (手動)	061
2-01-1 録音機能 <AUTO REC>	063

2-01-2	録音機能	〈AUTO REC STOP〉	064	4-01	再生	ファイルの再生(ステレオモード・4CHEモード・スタミナモード)・	094
2-02	録音機能	〈PRE REC〉	065	4-02	再生	〈PLAY MODE〉	095
2-03	録音機能	〈LO CUT〉	066	4-03	再生	マークの設定	096
2-04	録音機能	〈COMP / LIMIT〉	067	4-04	再生	〈AB REPEAT〉	097
2-05	録音機能	〈REC LEVEL AUTO〉	069	4-05	再生	〈SPEED〉	099
2-06	録音機能	〈MONITOR〉	070	4-06	再生	〈MIXER〉	100
2-07	録音機能	〈INPUT1/2 LEVEL LINK〉	071	4-07	再生	ファイルの再生(MTRモード)	101
2-08	録音機能	〈MONO MIX〉	072	4-08	再生	カウンターで時間を指定	102
2-09	録音機能	〈MS STEREO MATRIX〉	073	5-01	編集・出力	〈FOLDER SELECT〉	103
3-01-1	チューナー	〈TUNER(CHROMATIC)〉	075	5-02	編集・出力	〈FILE SELECT〉	104
3-01-2	チューナー	その他の〈TUNER〉	076	5-03	編集・出力	〈FILE INFORMATION〉	105
3-01-3	チューナー	〈TUNER(CALIB)〉	077	5-04	編集・出力	〈FILE DELETE〉	106
3-01-4	チューナー	〈TUNER(INPUT)〉	078	5-05	編集・出力	〈FILE DELETE ALL〉	107
3-02	メトロノーム	〈METRONOME〉	079	5-06	編集・出力	〈FILE(COPY)〉	108
3-03-1	エフェクトについて		081	5-07	編集・出力	〈FILE RENAME〉	109
3-03-2	エフェクト	〈EFFECT〉	083	5-08	編集・出力	〈FILE MP3 ENCODE〉	111
3-03-3	EFFECT	〈EDIT〉パッチエディット	084	5-09	編集・出力	〈FILE NORMALIZE〉	112
3-03-4	EFFECT	〈EDIT(PRE AMP)〉PRE AMPモジュールの編集	085	5-10	編集・出力	〈FILE STEREO ENCODE〉	113
3-03-5	EFFECT	〈EDIT(EFX)〉EFXモジュールの編集	086	5-11	編集・出力	〈MARK LIST〉	115
3-03-6	EFFECT	〈EDIT(LEVEL/RENAME)〉	087	5-12	編集・出力	〈DIVIDE〉	116
3-03-7	EFFECT	〈EDIT(STORE)〉	088	5-13	編集・出力	〈MOVE〉	117
3-03-8	EFFECT	〈IMPORT〉別のPROJECTからパッチを取り込む	089	5-14	編集・出力	〈NEW PROJECT〉	118
3-04-1	カラオケ	〈KARAOKE〉 準備	091	5-15	編集・出力	〈PROJECT(SELECT)〉	119
3-04-2	カラオケ	〈KARAOKE〉 録音	093	5-16	編集・出力	〈PROJECT(DELETE)〉	120

5-17	編集・出力	〈PROJECT (RENAME)〉	121
5-18	編集・出力	〈PROJECT (COPY)〉	122
5-19	編集・出力	〈PROJECT (BOUNCE)〉	123
5-20	編集・出力	〈PROJECT (PROTECT)〉	125
6-01	ユーティリティ	〈DISPLAY BACK LIGHT〉	126
6-02	ユーティリティ	〈MEMORY REC〉	127
6-03	ユーティリティ	〈DISPLAY CONTRAST〉	129
6-04	ユーティリティ	〈BATTERY TYPE〉	130
6-05	ユーティリティ	〈VERSION〉	131
6-06	ユーティリティ	〈FACTORY RESET〉	132
6-07	ユーティリティ	〈REMAIN〉	133
6-08	ユーティリティ	〈FORMAT〉	134
6-09	ユーティリティ	〈VERSION UP〉	135
6-010	ユーティリティ	H2、H4のSDカードを使う	136

リファレンス

モード別主要スペック一覧	139
各モードの設定可能メニュー一覧	140
MTRモードのエフェクトタイプとパラメーター	141
H4n Proパッチリスト	147
H4n Pro製品仕様	149
故障かな?と思われる前に	150
索引	151

安全上のご注意

〈安全上のご注意〉

このオペレーションマニュアルでは、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐための注意事項を、マークを付けて表示しています。マークの意味は次の通りです。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性、または物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

〈図記号の例〉



「実行しなければならない(強制)内容」です。



「してはいけない(禁止)内容」です。

本製品を安全にご使用いただくために、次の事項にご注意ください。

電源について



警告

ACアダプターによる駆動

- ① ACアダプターは、必ずDC5Vセンタープラス1A(ZOOM AD-14A/D)をご使用ください。指定外のACアダプターをお使いになりますと、故障や誤動作の原因となり危険です。
- ① ACアダプターの定格入力AC電圧と接続するコンセントのAC電圧は必ず一致させてください。
- ① ACアダプターをコンセントから抜く時は、必ずACアダプター本体を持って行ってください。
- ① 長期間ご使用にならない場合や雷が鳴っている場合は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

電池による駆動

- ① 市販の1.5V単三電池(アルカリ乾電池または、ニッケル水素充電電池)×2をお使いください。
- ① 長期間ご使用にならない場合は、乾電池をH4n Proから取り出してください。



注意

- ① 万一、乾電池の液もれが発生した場合は、電池ケース内や電池端子に付いた液をよく拭き取ってください。
- ① ご使用の際は、必ず電池力バーを閉めてください。
- ① 電池の+、-極を正しく装着してください。
- ① 新しい電池と古い電池、銘柄や種類の違う電池を同時に使用しないでください。



警告

使用環境について

- ① H4n Proを次のような場所でご使用になりますと、故障の原因となりますので避けてください。
 - 温度が極端に高くなる場所や低くなる場所
 - 暖房器具など熱源の近く
 - 湿度が極端に高いところや、水滴のかかる場所
 - 砂やほこりの多いところ
 - 振動の多いところ



注意

取り扱いについて

- ① H4n Proは精密機器ですので、スイッチ類には無理な力を加えないようにしてください。必要以上に力を加えたり、落としたりぶつけるなどの衝撃は故障の原因となります。
- ① H4n Proに異物(硬貨や針金など)または液体(水、ジュースやアルコールなど)を入れないようにご注意ください。
- ① 精密機器(時計・パソコン)、電子医療機器、磁気カードなどの磁力の影響を受けるものには、スピーカーを近づけないでください。

接続ケーブルと入出力ジャックについて



注意

- ① ケーブルを接続する際は、各機器の電源スイッチを必ずオフしてから行ってください。本製品を移動する時は、必ずすべての接続ケーブルとACアダプターを抜いてから行ってください。

改造について



警告

- ① ケースを開けたり、改造を加えることは、故障の原因となりますので絶対におやめください。改造が原因で故障が発生しても当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

音量について



注意

- ① H4n Proを大音量で長時間使用しないでください。難聴の原因となることがあります。

〈使用上のご注意〉

他の電気機器への影響について

H4n Proは、安全性を考慮して本体からの電波放出および外部からの電波干渉を極力抑えております。しかし、電波干渉を非常に受けやすい機器や極端に強い電波を放出する機器の周囲に設置すると影響が出る場合があります。そのような場合は、H4n Proと影響する機器とを十分に距離を置いて設置してください。デジタル制御の電子機器では、H4n Proも含めて、電波障害による誤動作やデータの破損、消失など思わぬ事故が発生しかねません。ご注意ください。

お手入れについて

パネルが汚れた時は、柔らかい布で乾拭きしてください。それでも汚れが落ちない場合は、湿らせた布をよくしぼって拭いてください。クレンザー、ワックスおよびアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

故障について

故障したり異常が発生した場合は、すぐにACアダプターを抜いて電源を切り、他の接続ケーブル類もはずしてください。【製品の型番】「製造番号」「故障、異常の具体的な症状」「お客様のお名前、ご住所、お電話番号」をお買い上げの販売店またはズームサービスまでご連絡ください。



この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。オペレーションマニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

このマニュアルは将来必要となることがありますので必ず参照しやすいところに保管してください。

著作権についてのご注意

■ライブやコンサートの録音

ライブやコンサート会場では、録音および撮影禁止と指定されていることが多くあり、所持している場合には会場入口にて録音機器や撮影機材を一時預ける場合もあります。また録音可能なライブやコンサートにおいても、録音した内容などを許可なく販売、譲渡、ネットへの公開などをおこないますと、著作権法を侵害する行為となりますのでご注意ください。

■音楽CDやダウンロード音源について

CDなどのメディアから取り込んだ楽曲や、ダウンロード音源を使い、個人で楽しむ意外の使用方法（ライブ会場などで流す、楽曲に改変を加えるなど）は、著作権法を侵害する行為になることがあります。

詳しくは日本音楽著作権協会(JASRAC)、各レコード会社、音源の提供会社などのホームページなどをご覧ください。

商標について

© SDロゴ、SDHCロゴは商標です。



© MPEG Layer-3オーディオ圧縮技術は、Fraunhofer IIS社とSisvel社よりライセンスを得ています。

© Windows® / Windows® 10 / Windows® 8 / Windows® 7 / Windows Vista® は Microsoft® 社の商標または登録商標です。

© Macintosh, Mac OS, は、Apple Inc. の商標です。

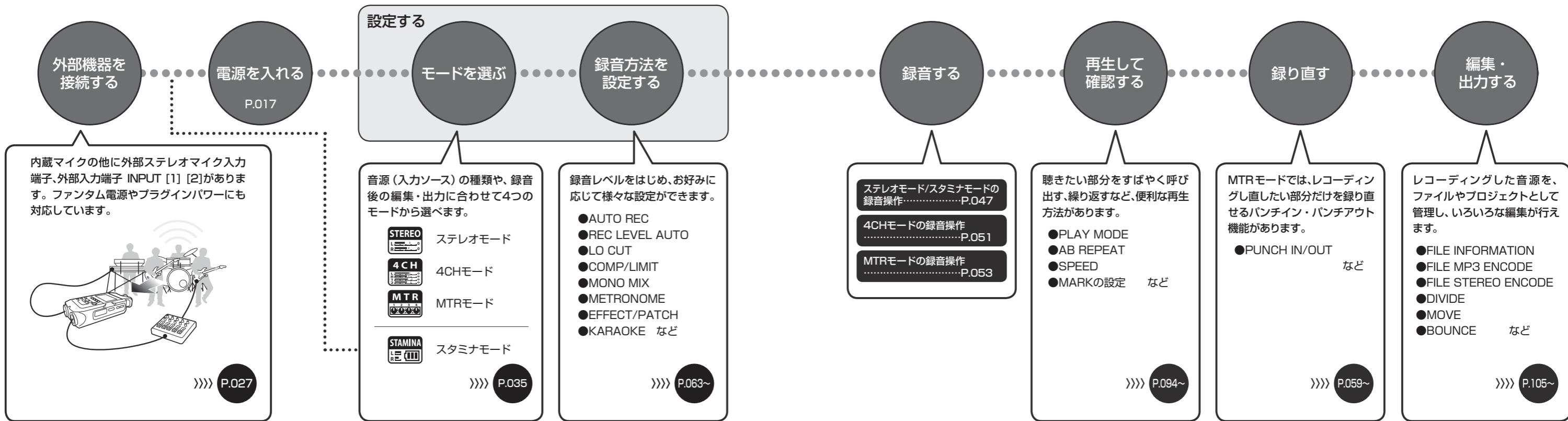
© 文中のその他の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。

製品の仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

スタートアップ編

1-1 H4n Proを使った録音の流れ

H4n Proを使った録音の基本的な流れです。録音対象や目的によって、モードを選択し、さらに詳細な設定をすることで、様々なスタイルの録音を楽しめます。



1-2 カンタン録音ガイド【ステレオモード】

最も基本となる内蔵ステレオマイクと内蔵スピーカーを使ったステレオモードの録音方法です。



1 電源 ON

[POWER] スイッチをON

HOLD

VER=1.00

ZOOM

【左パネル】

2 ステレオモードを確認

ステレオモードインジケータ点灯

【ステレオモードトップ画面】

00:00:00:000

44.1/16 STE-000.WAV

ED002:24:27

【MIC】ボタン点灯

*内蔵マイクから入力

モードインジケータや画面が違っていたら >>> P.036

3 録音待機状態にする

録音待機中 新ファイル作成

REC 点滅

00:00:00:000

44.1/16 STE-001.WAV

ED002:24:27

レベルメーターをモニター

止めたい時に 押す

4 入力感度を調節する

大の時 小の時

REC LEVEL

MIC LEVEL:100

入力レベルを調整

【右パネル】

5 録音を開始する

録音中 カウンター進む

REC 点灯

00:00:03:037

44.1/16 STE-001.WAV

ED002:20:20

録音可能な残り時間減少

一時停止 / 再度録音
カウンター0に戻らない

マークを打つ
WAV形式の時、ファイルに印を付ける

6 録音を停止する

録音停止

REC 消灯

00:00:00:000

44.1/16 STE-001.WAV

ED002:04:27

カウンター00:00:00:000に戻る

詳細はステレオモードの録音 >>> P.047

7 再生する

再生 停止

出力：内蔵スピーカー

【背面パネル】

詳細はステレオモードの再生 >>> P.094

2-1 各部の名称と機能

【前面パネル】

90° / 120°
バリアブルXY
ステレオマイク (内蔵)

ステレオ / 4CH / MTR
モードインジケータ

バックライト付き
ディスプレイ

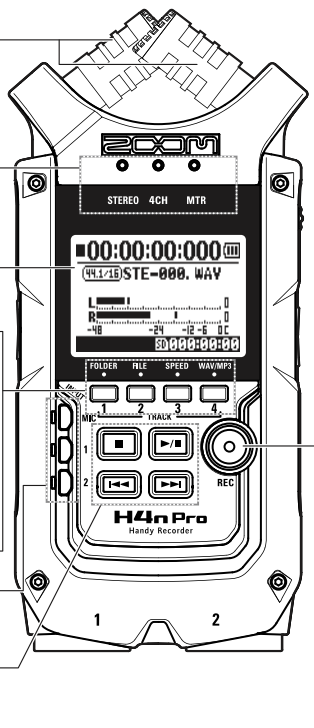
●ステレオ / 4CHモード時
ショートカットボタン
[1]=〈FOLDER〉
[2]=〈FILE〉
[3]=〈SPEED〉*ステレオモード
[4]=〈WAV/MP3〉
*ステレオ / 4CHモード

●MTRモード時
TRACK [1][2][3][4] ボタン

INPUT
[MIC][1][2] ボタン

ロケータボタン

[REC] ボタン



【背面パネル】

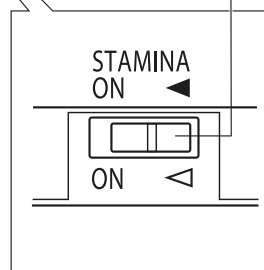
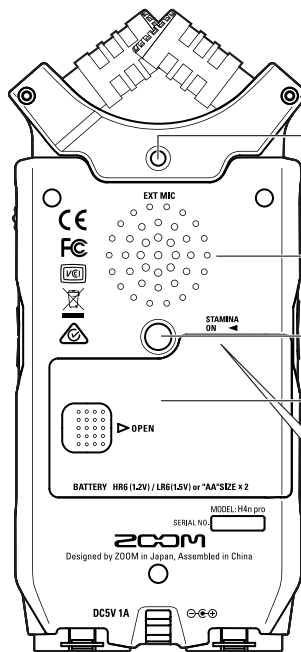
プラグインパワー対応
外部ステレオマイク入力端子

内蔵スピーカー (モノラル)

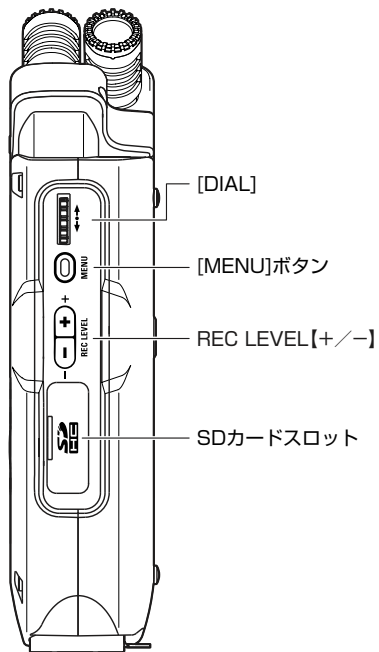
三脚取り付け穴

電池カバー

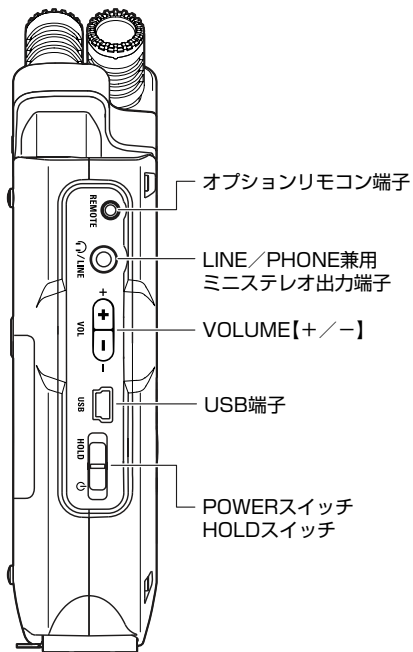
スタミナスイッチ



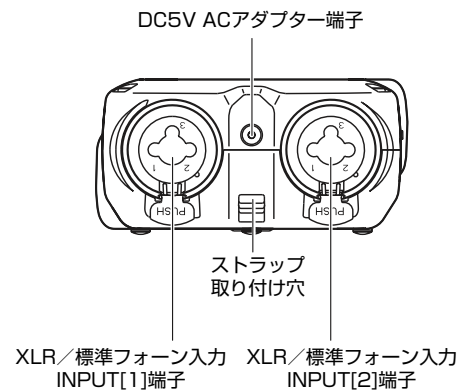
【右パネル】



【左パネル】



【底面パネル】

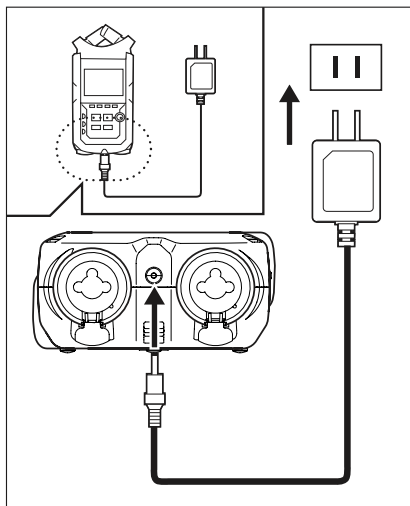


3 電池・電源のセッティング

H4n Proは家庭用電源と電池の2つの方法で使うことができます。

●家庭用電源で使う場合

必ず指定のACアダプターをご使用ください。

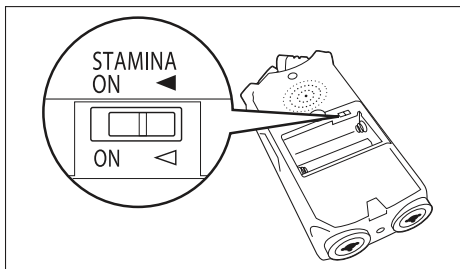
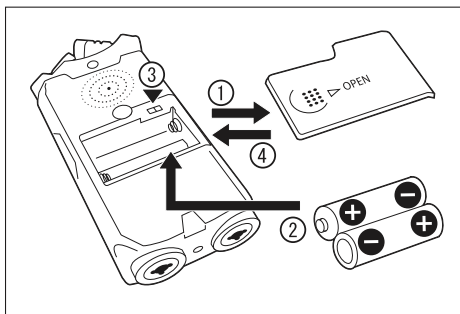


指定電源ACアダプター
ZOOM AD-14A/D

※指定のACアダプター以外の電源アダプターを使用すると故障の原因となることがあります。

●電池の取り付け方

単3乾電池2本を装着してください。



1 電池カバーを開ける

NOTE 電源はOFFにする！

電池カバーを開ける時、ACアダプターを抜き差しする時は必ず電源をOFFにします。電源ONで行うと録音データが壊れる場合があります。

2 電池を取り付ける

※+・-に注意

3 スタミナモードスイッチを設定する

◀：通常の使用時
(ACアダプター、電池使用時)
ON：スタミナモードON
(電池使用時の省電力モード)

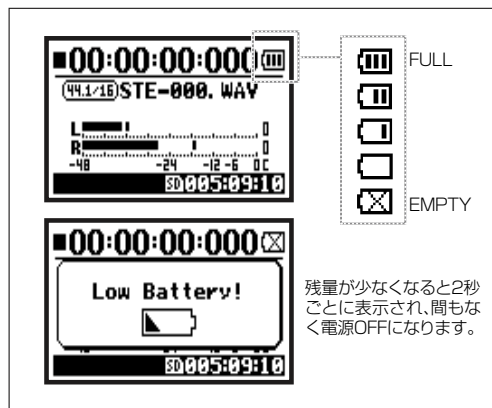
4 電池カバーを閉める

参照 スタミナモードの解説 P.035

●電池の残量

"Low Battery"が表示された時は、すぐに電源OFFにし、新しい電池と交換してください。

または、ACアダプターに切り替えてください。



NOTE

使用できる電池

電池はアルカリ電池またはニッケル水素充電電池をお使いください。

USBからの電源供給

電源OFFの時にコンピュータと接続されたUSBケーブルをつなぐとUSBバスパワーが供給され、自動でOFFからONに起動します。このときの機能は通常の電源ON状態とは異なり、SDカードリーダー、もしくはオーディオインターフェースとしてのみ使用できます。

HINT

電池残量を正確にするには

電池の残量の目安は、使用する電池の種類をH4n Proに設定して精度を上げることができます。

日付・時刻設定の保存時間

電池切れなど電源供給がない時、H4n Proは約3分間、日付・時刻の設定を保存します。保存時間を過ぎると、設定が初期値に戻ります。

電源の画面表示



電池使用時



ACアダプター使用時

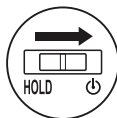
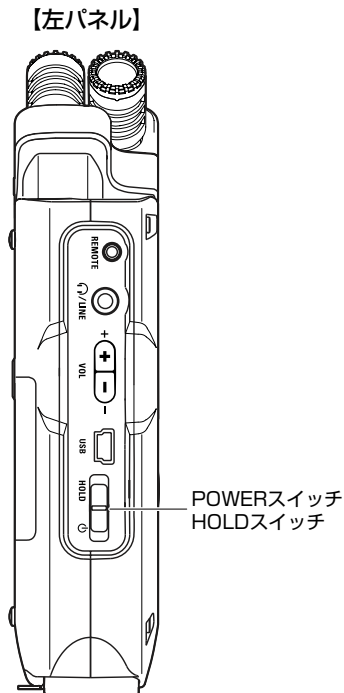
参照 <USBバスパワー>

P.033

参照 <BATTERY TYPE>

P.130

4-1 電源のON・OFF POWERスイッチ / HOLDスイッチの使い方



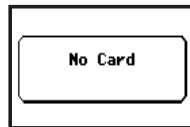
電源ON / 起動

- 1 **【準備】**
すべての機材を
電源OFFにする
- 2 SDカードを入れる
- 3 **【電源ON 起動】**
POWERスイッチ
をスライドする
- 4 接続されている楽器、
モニターシステムの
順に電源をONにする



NOTE

- ・電源を入れる前に、H4n Pro のボリュームと接続する楽器、モニターなど機材の音量を絞ってください。
- ・起動時に "No Card" と表示された時は、SD カードが正しく挿入されているかご確認ください。



- ・起動時に "Reset DATA/TIME" と表示された時は、日付・時刻の設定が初期化されています。

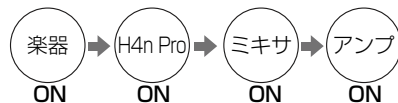
参照 P.026

日付・時刻の設定



HINT 電源ONの流れ

多くの機器を接続する場合、以下の流れにそって順番に電源をいれます。



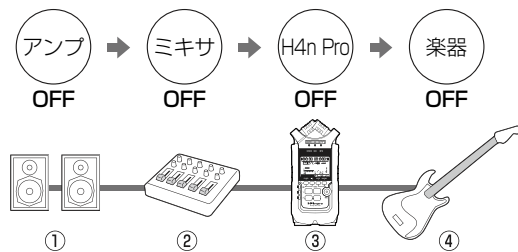
電源OFF / シャットダウン

1 【準備】
モニターシステム、楽器の順に
電源をOFFにする

2 【電源OFF】
POWERスイッチを
スライドする



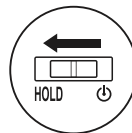
HINT 電源OFFの流れ



ホールド機能

録音中の誤作動などを防ぐため、本機はボタン操作を無効にするホールド機能を装備しています。

ホールド機能を有効にするには



POWERスイッチを
HOLD側にスライドする



ホールド中にボタン操作をすると、上のような画面を2秒間表示します。ボタン操作を有効にしたい場合は、HOLDスイッチを元の位置に戻してください。

4-2 [REC]ボタン・ローケーターボタンの使い方

[REC]、[STOP]、[PLAY/PAUSE]、[FF]、[REW]のボタンは、モードにより機能が異なります。

【前面パネル】



[REC]ボタン

ローケーターボタン

ステレオモード/4CHモード/スタミナモード

	[REC]ボタン
	停止中 【録音待機】になる カウンター：0
	録音待機中 【録音】開始 カウンター：始動
	録音中 再生中 マークを打つ(WAVファイルのみ)

ローケーターボタン

	[STOP]ボタン
	録音中・録音待機中 【録音】終了 カウンター：0に戻る
	一時停止中
	再生中・一時停止中 【再生】終了 カウンター：停止

	[PLAY/PAUSE]ボタン
	停止中 【再生】開始 カウンター：始動
	録音中・一時停止中 【録音】一時停止：再開
	録音待機中 【録音】開始 カウンター：始動
	再生中・一時停止中 【再生】一時停止：再開

	[FF]ボタン [REW]ボタン
	停止中 押す / 一秒以下
	再生中 [FF]：次のファイルを表示 [REW]：ファイル先頭に戻る
	再生一時停止中 ※[FF][REW]ともマークがある時は、一番近いマークに移動
	長押し / 一秒以上
	早送り・巻戻し 押し時間により速度も速くなる ファイル終端または先頭で停止

MTRモード

	[REC]ボタン ※録音待機状態のトラックがある場合のみ
OVER WRITE 録音	
	停止中 【録音待機】になる
	録音中・録音待機中 【録音】停止(録音中の再生は継続)
	再生中 【録音】開始 カウンター：継続

ALWAYS NEW 録音	
	停止中 【録音待機】になる カウンター：0
	録音待機中 【録音】開始 カウンター：始動

ローケーターボタン

	[STOP]ボタン
	録音中 【録音】終了 カウンター：停止
	再生中 【再生】停止 カウンター：停止
	録音一時停止中 再生一時停止中 それぞれの動作を停止

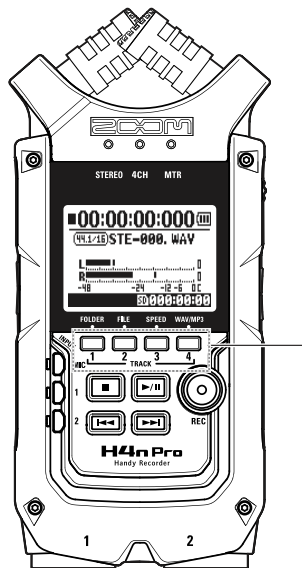
	[PLAY/PAUSE]ボタン
	停止中 【再生】開始
	録音中 【録音】一時停止 ※ALWAYS NEW録音のみ
	録音待機中 【録音】開始 カウンター：始動
	再生中 【再生】一時停止：再開

	[FF]ボタン [REW]ボタン
	停止中 押す / 一秒以下
	再生中 [FF]：一秒単位で早送り [REW]：先頭に戻る
	再生一時停止中 長押し / 一秒以上
	早送り・巻戻し

4-3 TRACK [1][2][3][4] ボタンの使い方

TRACK [1][2][3][4]のボタンは、モードにより機能が異なります。

【前面パネル】



TRACK [1]~[4]

MTRモード

【トラックの録音・再生の切り替え】



録音するときは、録音したいトラックの番号ボタンを押し、トラックを録音待機にする(トラックボタンは点灯)

【トラックと入力(INPUT)の設定】

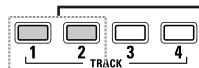
トラックを選択した後、入力ソースを設定します。
入力ソースは、INPUTボタンを使いステレオ、モノラルを
組み合わせた録音ができます

1つのトラックを選ぶ



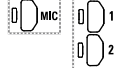
※トラック2~4も同様。

2つのトラックを選ぶ

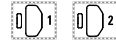


※トラック3と4も同様。

ステレオの入力は
[MIC]又は[1]と[2]から
選択



モノラルの入力は
[1]または[2]を選択



※INPUTの選択は4種類

※録音・再生などの操作をしていない時のみ有効

ステレオモード/4CHモード/スタミナモード

- 1 <FOLDER SELECT>メニューに移動
- 2 <FILE>メニューに移動
- 3 <SPEED>メニューに移動
(ステレオモードのみ)
- 4 <REC FORMAT>メニューに移動
(ステレオモード・4CHモード)

※録音・再生などの操作をしていない時のみ有効

HINT

ステレオリnkを設定した時

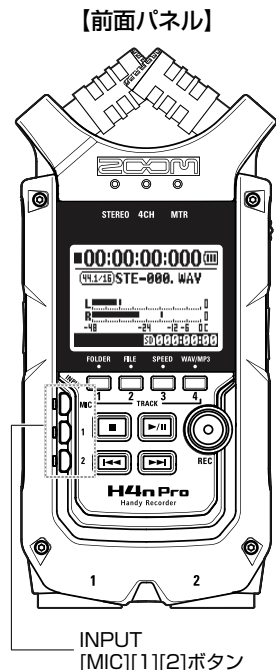
トラックにステレオリnkの設定をした時には、設定されたトラックボタンの1つを押しても、対応する2つのトラックが同じ動きになります。

参照 ステレオリnk

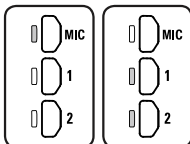
P.058

4-4 INPUT[MIC][1][2]ボタンの使い方

INPUT[MIC][1][2]ボタンは、録音を行う入力ソースを選択するためのボタンで、モードにより選択できる入力ソースの組み合わせが異なります。



ステレオモード／スタミナモード



●[MIC]または[1/2]を選択 = どちらかが点灯

INPUT[1][2]は、どちらを押してもINPUT[1]と[2]が同時に選択されます
 選択するとボタンが点灯(点灯したボタンは押ししても機能しません)します
 REC LEVELなど入力ソースに対する設定は、点灯した対象に行います
 ※現在選択されている入力クリップした場合はボタンが点滅します

4CHモード



●[MIC]、[1]、[2]全ての入力を使用 = [MIC]、[1]、[2]が全て点灯

4CHモードに切り替えると[MIC]、[1/2]から2系統のステレオ入力を受付けます
 点灯したボタンを押すとそれぞれの入力レベルを表示、あわせてREC LEVELを操
 作し、録音レベルを調節します
 ※入力クリップした場合は対応するボタンが点滅します

MTRモード



●ステレオ・モノラルの入力に合わせ[MIC]、[1]、[2]を個別に設定
 = 対応したボタンが点灯

INPUT[MIC][1][2]を個別に選択可能です

- ・内蔵マイクや外部ステレオマイクを使用する時は、[MIC]ボタンを使用します
 - ・外部入力端子からステレオ入力する時は、[1/2]の両方を使用します
- そのためにはINPUT[1][2]どちらかのボタンを押し、その後にもう片方のボタンを押します

※選択されている入力クリップした場合はボタンが点滅します

HINT

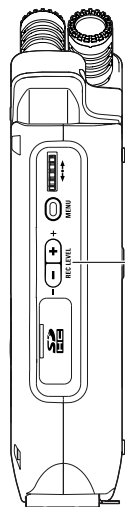
クリップするとは

入力レベルがH4n Proで記録できる最大の0dBに達したことを表します。
 この時、録音された音が歪んでしまうため、録音レベルの調整が必要です。

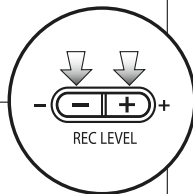
4-5 REC LEVEL・VOLUMEボタンの使い方

入力する録音レベルと、出力のボリュームを調整します。(各モード共通)

【右パネル】



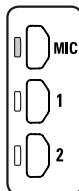
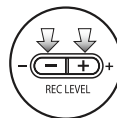
REC LEVEL



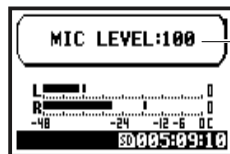
REC LEVEL : 各モード共通

INPUT[MIC][1][2]から入力される録音レベルを、1~100の100段階で+/-調節する

REC LEVELを押す=調節する



INPUT[MIC][1][2]
ボタンを押して、録音レベルを調節したい入力ソースを選択します

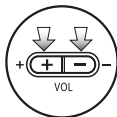


1~100
+ : 感度を上げる=増幅
- : 感度を下げる=減少

VOLUME : 各モード共通

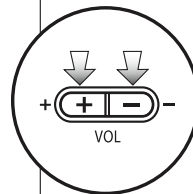
VOLを押す=調節する

内蔵スピーカーや出力端子の出力ボリュームを、0~100の101段階で+/-調節する

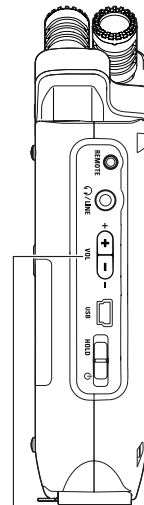


0~100
+ : 大きくする
- : 小さくする

VOLUME



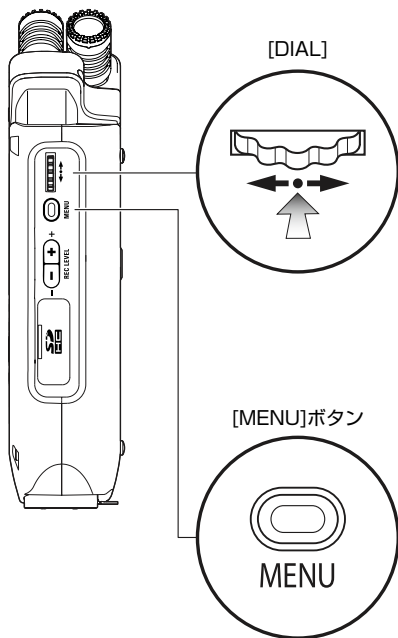
【左パネル】



4-6 [DIAL]・[MENU]ボタンの使い方

[DIAL]と[MENU]ボタンはH4nに関する様々な設定を行う時に使用します。

【右パネル】



[DIAL]の基本操作



選ぶ

[DIAL]の回転操作=項目を選ぶ

[DIAL]を回転させると、項目を選ぶことができます(回転操作に合わせてディスプレイ上のカーソルが移動します)



押す

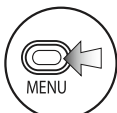
[DIAL]を押す=選択を確定する

[DIAL]を押すと、選んだ項目が確定します。

→さらに選択画面がある場合は、次の画面に移動します

→選択操作が終わりの場合は、一つ前の画面に戻ります

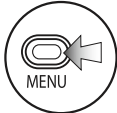
[MENU]ボタンの基本操作



押す

メニュー画面を呼び出す

録音や再生方法などを設定する時は、[MENU]ボタンを押します



長押し

設定操作をキャンセルする

設定操作を行っている途中で[MENU]ボタンを押すと、その操作がキャンセルされ、一つ前の画面に戻ります

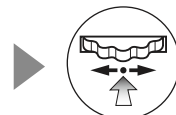
設定操作をキャンセルして、各モードのトップ画面に戻るには、[MENU]ボタンを2秒以上長押ししてください

ディスプレイに[]カーソルがある場合の操作(日付・時間設定、ファイル名等を変更する場合など)



[DIAL]を回転すると
[]が移動します

操作に合わせて移動

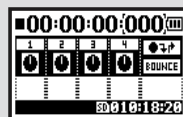


[DIAL]を押すと
その項目の数字や文字を
変更できるようになります

項目が白黒反転
→[DIAL]を回転
すると数字や文字
が変化
→[DIAL]を押す
と変更が確定



〈トップ画面での[DIAL]操作〉



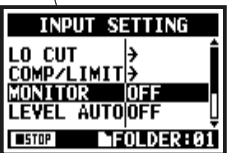
トップ画面で
[DIAL]を回すと
[]が移動し、押す
とカウンターを操
作できるようになったり、設定メニュー
に移動します ※MTRモードのみ

選択候補がリスト表示されている場合の操作



[DIAL]を回転すると
候補列が移動します

操作に合わせて移動



[DIAL]を押すと
選択が確定します

確定後は自動的にひと
つ前の画面に戻る



〈候補列の「→」について〉



候補列に「→」が
ある場合は、次の
画面でさらに選
択肢が枝分かれ
していることを示しています。[DIAL]を
押して、次の画面に進んでください

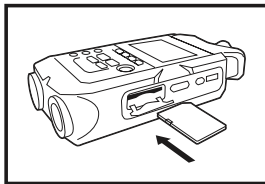
5-1 SDカードの取り付け

録音するには、必ずSDカードが必要です。SDカードの着脱は電源OFFの状態で行ってください。

【SDカードの取り付け方】

1 電源がOFFになっていることを確認

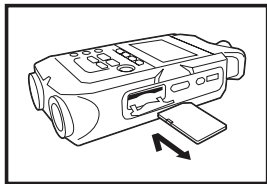
2 スロットにSDカードを差し込む



【SDカードの外し方】

1 電源がOFFになっていることを確認

2 SDカードを押し、取り外す



SDカードの録音可能時間（目安）

4GB SDHCカード	録音時間
WAV 44.1kHz/16bit（ステレオトラック換算）	約380分
MP3 44.1kHz/128kbps（ステレオトラック換算）	約68時間

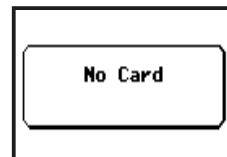
NOTE

電源はOFFにする！

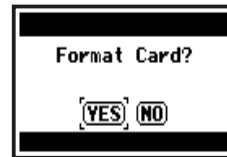
SDカードを抜き差しする時は必ず電源をOFFにします。電源ONで行うと録音データが壊れる場合があります。

SDカード装着時のご注意

- SDカードは16MB～2GB SDカード、または4～32GB SDHCカードが使用できます。最新のSDカード対応状況はZOOMサイトでご確認いただけます。ZOOMサイト <http://www.zoom.co.jp>
- パソコンやデジタルカメラなどで使用したSDカードは、必ずH4n Proでフォーマット（初期化）してからご使用ください。
- 起動時に“No Card”と表示される場合は、SDカードを検出できていません。SDカードが正しく挿入されているかご確認ください。
- 起動時に“Format Card?”と表示される場合は、H4n Proでフォーマットしていないカードが挿入されています。フォーマットを実行するには、OKを選び、[DIAL]を押してください。
- 起動時に“Card Protected”と表示される時は、SDカードにライトプロテクト（書き換え保護機能）がかけられています。SDカードのロックスイッチをスライドさせてライトプロテクトを解除してください。



起動時にSDカードがなかった場合の警告画面

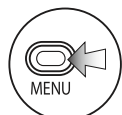


認識不能なフォーマットのSDカードが装着された場合の警告画面（YESを選ぶとデータがすべて消えます）

参照 H2/H4のSDカードを使う **P.136**

5-2 日付・時刻を設定する<DATE/TIME>

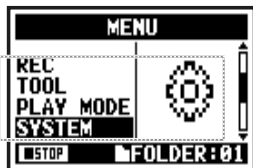
録音したファイルに日付・時刻を自動的に記録します。
ファイルを検索する時にも使うため、電源を交換した際などこまめに設定してください。



1 押す



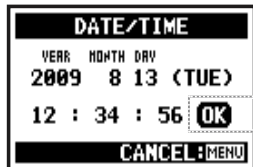
2 <SYSTEM>を選んで押す



3 <DATE/TIME>を選んで押す



5 <OK>を選んで押す



4 YEAR(年)→MONTH(月)→DAY(日)
→TIME 00:00:00(時:分:秒)を
設定する

【<DATE/TIME>の項目を選ぶ】



[]を動かし
項目を選ぶ



押す
※選ばれた項目が反転

【数字を変える】



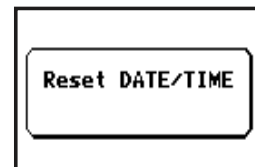
数字を変える



押す
※[]がディスプレイに表示

NOTE

起動時に“Reset DATA/TIME”と表示された時は、再度設定してください。

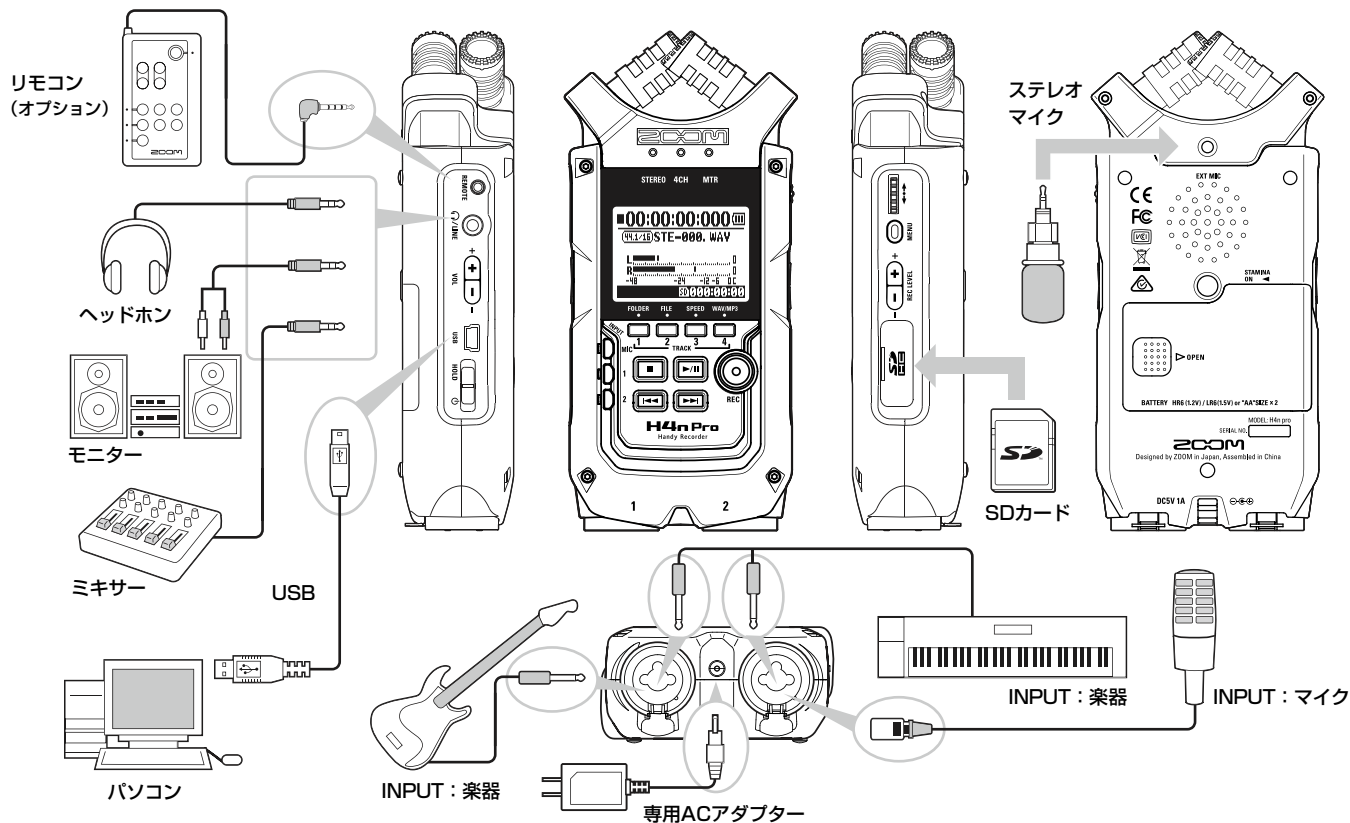


※3分以上H4n Proに電源が供給されなかった時は日付/時刻の設定が初期値に戻ります。
・録音・再生等の動作中は設定できません。

6-1 セッティング 外部機器との接続方法

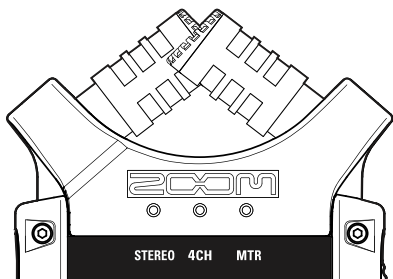
H4n Proはいろいろな録音シーンにあわせた接続ができます。

セッティング／外部機器との接続方法



6-2 セッティング 内蔵マイク

H4n Proの内蔵90°/120°バリエابلXYステレオマイクの特長と使い方です。



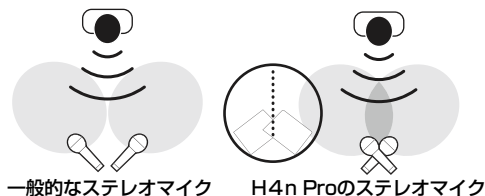
自然なステレオイメージを収音する X/Y方式の高感度マイク

2基のマイクユニットを外側に向けて設置する方法のステレオレコーディングでは、左右のステレオ感が演出される一方で、正面方向の音源に対する感度が低下し、奥行きや定位感が不自然になるといった問題があります。

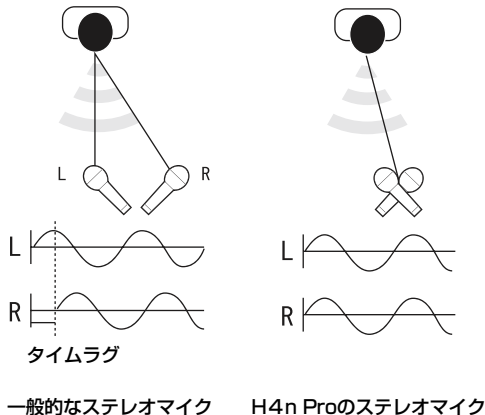
H4n Proでは、2基のマイクユニットをハの字型に設置したX/Yステレオ方式を採用。左右のダイアフラムを内側に向かい合わせることで、ワイドな收音範囲をカバーしながら、センター定位の音源もしっかりと捉えることが可能です。また、收音ポイントがほぼ同一になるため、L/Rのチャンネル間に位相差が生じることもありません。

X/Y方式のマイク配置

センター定位の音源を収音

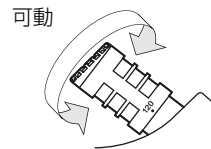
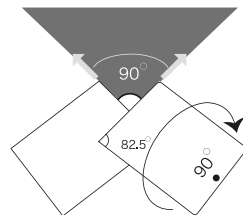


位相差のないステレオイメージ

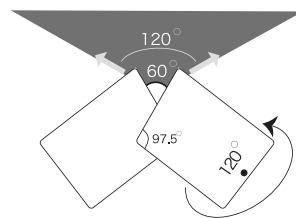


90°、120°の指向性

センター 90°



ワイド 120°

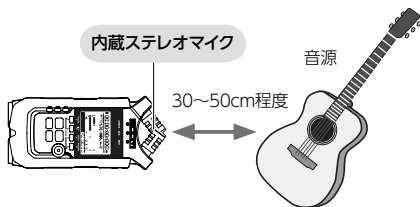


6-3 セッティング 内蔵マイク・外部マイクとプラグインパワー

外部ステレオマイク入力端子はプラグインパワーに対応しています。

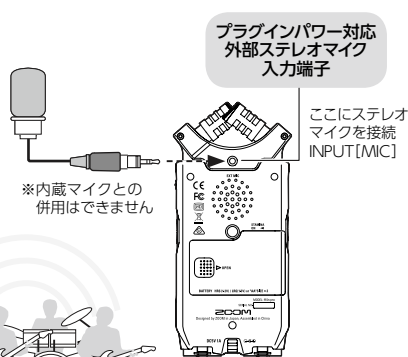
オンマイク録音

音源から30~50cm程度離れた位置にH4n Proを設置してください。



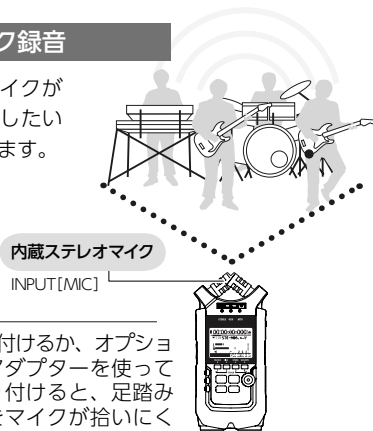
外部マイク録音

プラグインパワー対応の外部ステレオマイクを使う場合は設定が必要です。



オフマイク録音

2本の内蔵ステレオマイクが交差する範囲に、録音したい音源が収まるようにします。



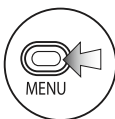
HINT

H4n Proを三脚に取り付けるか、オプションのマイクスタンドアダプターを使ってマイクスタンドに取り付けると、足踏みやドラムなどの振動をマイクが拾いにくくなります。

NOTE

プラグインパワーとファンタム電源は、録音・再生などの動作中には設定できません。

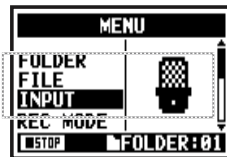
【プラグインパワーの設定方法】



1
押す



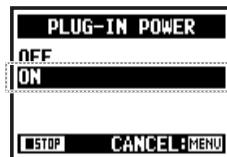
2
〈INPUT〉
を選んで
押す



3
〈PLUG-IN〉
を選んで
押す



4
〈ON〉を
選んで押す

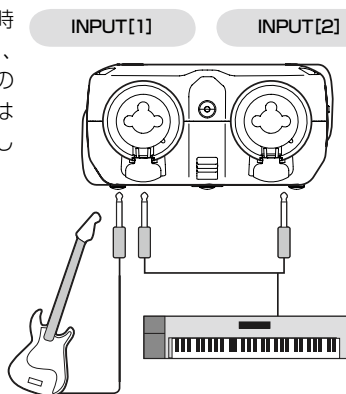


6-4 セッティング INPUT[1][2]の接続とファンタム電源

INPUT [1] [2] を使って、ギターやベース、キーボードなどと接続します。

楽器類との接続

ギター、ベースを直接接続する時はモノラルプラグを INPUT[1]、[2]のどちらかに、キーボードのようなステレオ出力の楽器は INPUT [1] [2] の両方に接続します。



マイクとの接続

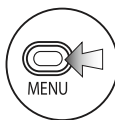
マイクを接続する場合は、XLRプラグをINPUT[1],[2]に接続します。コンデンサーマイク等ファンタム電源を必要とするマイクは右の設定を行います。



NOTE

コンデンサーマイクの中には、+24Vのファンタム電源では動作しないものもあります。ただし、+48Vの設定に比べ消費電力が抑えられるため電池動作時には有効です。

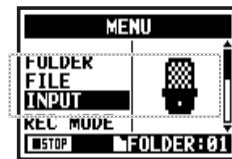
【ファンタム電源の設定方法】



1
押す



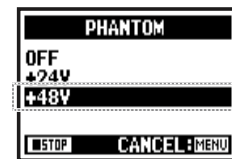
2
〈INPUT〉
を選んで
押す



3
〈PHANTOM〉
を選んで
押す



4
電圧を
選んで押す



6-5 USB接続 オーディオインターフェースとして使う

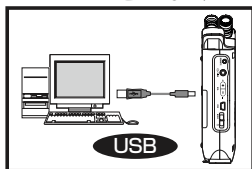
H4n Proをオーディオインターフェース（AUDIO I/F）として使う場合は、以下の設定をしてください。

電源ONから...

USBケーブルで
H4n Proとパソコン
をつなぐ

電源OFFから

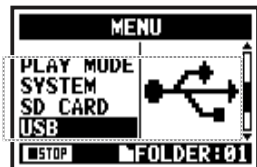
- 1** 電源をONにしパソコンとH4n Proをつなぐ



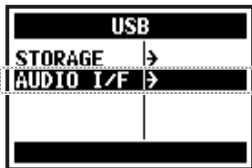
- 2** トップ画面で押す



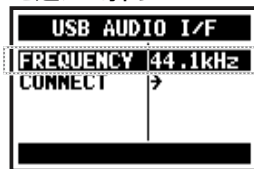
- 3** <USB>を選んで押す



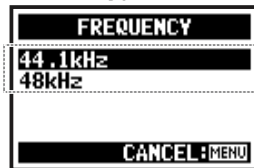
- 4** <AUDIO I/F>を選んで押す



- 5** <FREQUENCY>を選んで押す



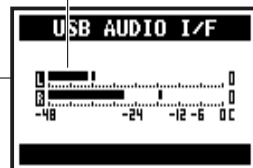
- 6** サンプリングレートを選んで押す



- 7** <CONNECT>を選んで押す



入出力レベルを表示



接続中は、44.1kHzと48kHzでパソコンとの2チャンネルでの送受信が行えます。



有効な機能を表示

参照

- <EFFECT> P.083
- <TUNER> P.075
- <MONOTOR> P.070
- <PHANTOM> P.030
- <PLUG-IN> P.029

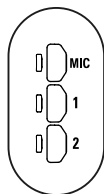
【設定中のボタン操作と〈AUDIO I/F〉メニュー】



〈AUDIO I/F〉メニュー

EFFECT	EFFECTを使用(44.1kHzのみ)
TUNER	TUNERを使用
MONITOR	MONITOR機能
PHANTOM	PHANTOM電源使用
PLUG-IN	PLUG-IN/パワー使用
DISCONNECT	接続解除

入力ソースの選択



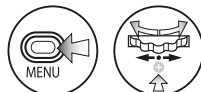
使用する入力ソースに対応したINPUTボタンを押すとボタンが点灯し、入力を選択されます。

入力を使用しない時は、点灯しているボタンを押し消灯させると入力なしの状態になります。

※入力なしの時は、パソコンに信号を送信せず、モニターもできません。

入力を選択すると、入力信号はパソコンに送信されます。H4n Proで入力信号をモニターするためには〈MONITOR〉の設定をONにする必要があります。

設定中に使用できるボタン



メニューの呼び出しと設定



入力・出力LEVELの調整

NOTE

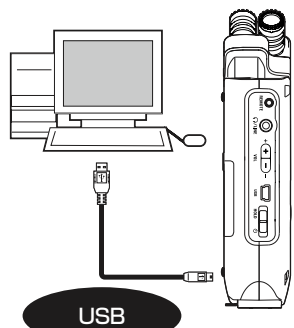
- ・パソコンが H4n Pro をオーディオインターフェースとして認識している間は、サンプリングレート(周波数)の変更はできません。
- ・オーディオインターフェースとして接続する時は、step6 で選ぶサンプリングレートを、録音ソフトや再生ファイルのサンプリングレートと同じ設定にしてください。
- ・録音・再生などの動作中は設定できません。

HINT

オーディオインターフェースの用途
各種DAW(デジタルオーディオワークステーション)ソフトウェア等の入出力機器として使用します。
H4n Proの入力信号をDAWソフトウェアのオーディオトラックに録音したり、録音結果を視聴することができます。入力信号をH4n Proの内蔵エフェクトで加工することも可能です。エフェクトは、サンプリングレートが44.1kHzの時に使用できます。
接続に際して専用のドライバ等はありません。各種DAWソフト等を使用される時はそれらの説明書もあわせてお読みください。

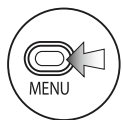
6-6 セッティング USB接続 SDカードリーダーとして使う

H4n ProをSDカードリーダーとして使う場合は、以下の設定をしてください。



電源ONから

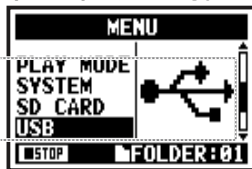
1 電源をONにし
USBケーブルで
パソコンとH4n Proをつなぐ



2 トップ画面で
押す



3 〈USB〉を選んで押す

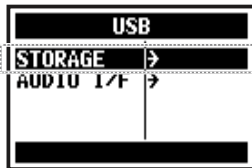


電源OFFから

USBケーブルで
H4n Proとパソコンを
つなぐ

USBバスパワーにより
H4n Proが起動
USB設定画面を表示

4 〈STORAGE〉を選んで押す



接続が完了

NOTE

- ・接続を解除する場合は、必ずパソコン側で解除の操作をしてください。解除操作をせずにUSBケーブルを抜くと、ファイルが壊れる場合があります。
- ・対象OS：
Windows Vista以降
Mac OS X 10.6以降
- ・録音・再生等の動作中は設定できません。

HINT

USBバスパワー

USBバスパワーとは、USBケーブルを通じてパソコンから電源を供給する方法です。H4n Proの電源OFFの状態でもUSB接続を行うと自動的にH4n Proが起動し、USBメニューが表示されます。

SDカードリーダーの用途

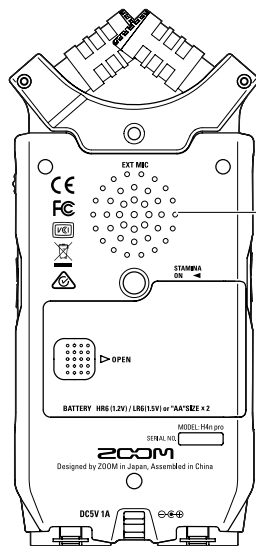
- ・H4n Proの録音データをパソコンで使う
- ・パソコンで作った音楽データなどをH4n Proで使う

使用できるファイル名

ファイル名に半角英数字以外を含むファイルはH4n Proでは動作対象外となります。

6-7 セッティング 内蔵スピーカー

H4n Proにはモノラルスピーカーが装備されています。



H4n Pro内蔵スピーカー

再生用のモノラルスピーカーです
[LINE/PHONE兼用端子]にヘッド
フォン等を接続しなくても、H4n
Proだけで簡単に録音データを
再生し、聞くことができます

NOTE

[LINE/PHONE 兼用端子] にヘッド
フォン等が接続されている時は、内
蔵スピーカーから出力されません。
また、〈MONITOR〉設定が ON の時
でも入力信号は出力されません。
MTR モード時は、録音待機状態のト
ラックがあっても内蔵スピーカーは
使用できません。

HINT

内蔵スピーカーが使用可能な状態

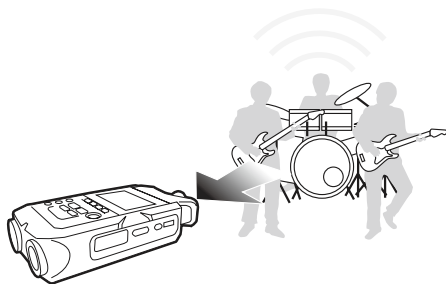
- ・ファイル再生時
- ・オーディオインターフェースとし
て使う時
- ・[LINE/PHONE 兼用端子]に何も
接続されていない時

7-1 モードについて

H4n Proには、ステレオモード／スタミナモード、4CH(チャンネル)モード、MTR(マルチトラック)モードの4つの動作モードがあり、目的に応じて使い分けすることができます。

●ステレオモード

内蔵マイクや外部入力から素早く簡単にステレオ録音ができます。ステレオWAV／MP3レコーダー・プレーヤーとして利用でき、楽器や演奏のステレオ録音、ボイスレコーダーやフィールド録音などに便利です。



- ライブや練習用の一発録音
- 楽器を接続してインラインレコーディング
- フィールドレコーディング
- メロディや要件など音声メモの録音や会議録音

●スタミナモード

長時間録音をしたい時、電池交換を少なくしたい時など、電池を長持ちさせるモードで「機能が少なく抑えられたステレオモード」としてお使いください。

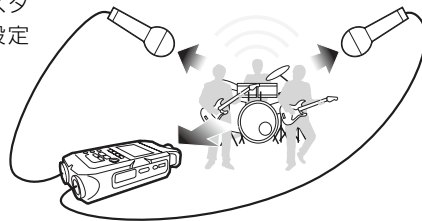
※ステレオWAV44.1kHz/16bitフォーマットでの録音・再生のみ可能です。

スタミナモードは電池使用時、起動前にスタミナスイッチで設定します。▶P.015

- フィールドレコーディング
- 屋外でのライブ
- 会議など電池交換が難しい時

●4CH(チャンネル)モード

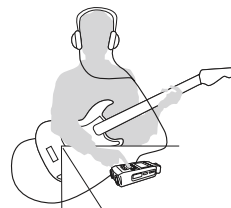
2系統のステレオ入力信号を同時に4CHで録音できます。内蔵マイクに加えてステレオマイクでライブを、または外部入力で楽器のライン入力を4CH同時に行います。



- ライン入力とマイクの同時録音
- 前面、背面空間の同時録音
- ラインを使う遠い音源と本体近くの同時録音
- サラウンドなどの編集用音源の4CH録音
- 空間や空気感の迫力の音を録音

●MTR(マルチトラック)モード

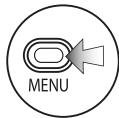
MTRモードではトラックごとにステレオ／モノラルの組合せ録音ができます。エフェクトを利用したの録音や重ね録音が可能なので、デモソングを作成する時や、自宅でバックトラックを作成しスタジオで聞きながら楽器録音をするときなど、幅広く活用できます。



- トラックをわけてパート別の録音
- 重ね録音、取り直しの録音
- エフェクトを使った録音
- 録音後のバランス調整
- 屋外での練習

7-2 モードの切り替え・確認〈MODE〉

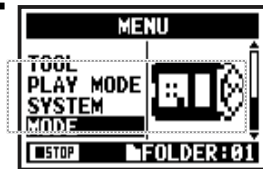
外部機器とのセッティングをした後は、目的に応じたモードを選択します。



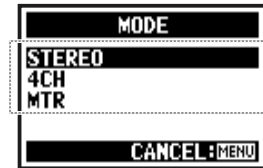
1 押す



2 〈MODE〉を選んで押す



3 ステレオ、4CH、MTRからモードを選んで押す

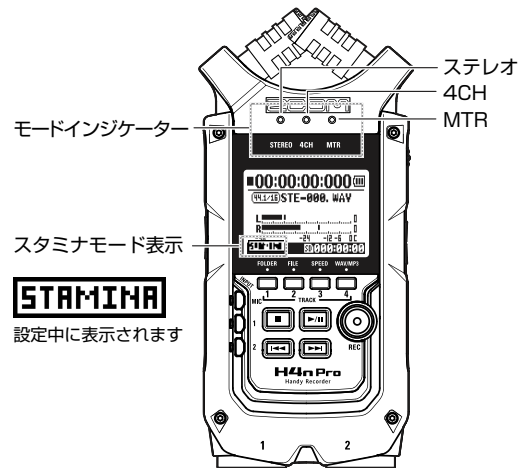


※スタミナモードは、電池ボックス内のスタミナスイッチで設定します

HINT

モードの確認

- ・現在のモードは、フロントパネルのモードインジケータで確認できます。
- ・電源ON時に開始されるモードは、電源OFFの時に最後に使っていたモードです。
- ・初めて使う時と〈FACTRY RESET〉を行った時は「ステレオモード」になります。



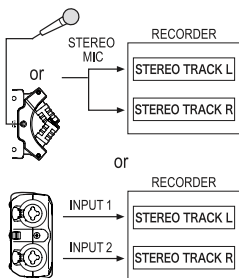
7-3 モードの詳細

モードによって入力・出力、ファイルの保存方法、ファイルフォーマット等が異なります。

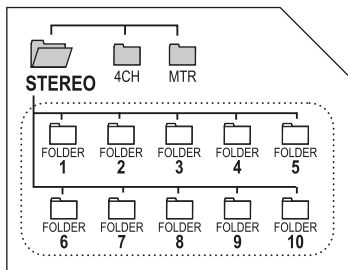
ステレオモード



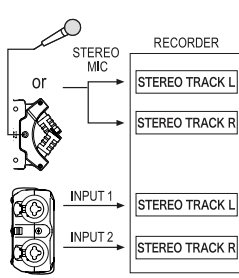
スタミナモード



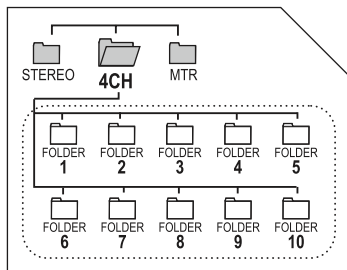
ステレオモードは、INPUT[MIC]またはINPUT[1][2]から入力を選択し、1つのステレオファイルとして録音・再生を行います。録音ごとに新しいファイルを作成し、ファイルは10個の固定フォルダに保存されます。スタミナモードはステレオモードに含まれる各種機能を必要最少限に抑えることで、電池での使用可能時間を引き延ばしたモードです。



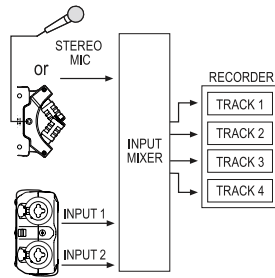
4CHモード



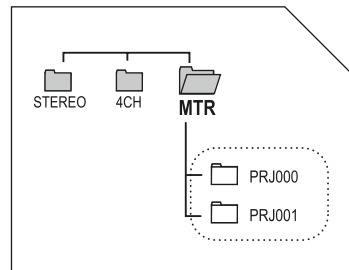
INPUT[MIC]、INPUT[1/2]の2種類の入力を同時に使い、2つのステレオファイルとして録音・再生を行います。録音ごとに新しいファイルを作成し、ファイルは10個の固定フォルダに保存されます。



MTRモード



4つあるトラックに個別で録音・再生を行います。トラックは設定によりステレオ・モノラルとして扱うかを選択可能で、他のモードと異なり、一度録音したファイルに上書き録音することも可能です。MTRモードのみプロジェクトという単位で設定とファイルをあわせて管理し、プロジェクトごとに別のフォルダに保存されます。



8-1 モードと画面 ステレオモード・スタミナモード



● トップ画面の見方

レコーダー状態

■ 停止
|| 録音待機 ● 録音中
点滅 ※同時に[REC]ボタン点滅 ※同時に[REC]ボタン点灯
▶ 再生中 || 一時停止
点滅

ファイルフォーマット

選択、録音、再生中のファイルフォーマット

- ・WAVファイル：Hz/bit
- ・MP3ファイル：ビットレート

96/24 96kHz/24bitの表示例

128kbps MP3 128kbps表示例

スタミナモード

スタミナアイコン

カウンター

録音経過時間や再生経過時間
 “時00:分00:秒00:ミリ秒000”を表示

オプション設定有効表示

それぞれの機能が有効なときに表示

- LO CUT機能 **P.066**
- COMP/LIMIT機能 **P.067**
- PHANTOM電源 48V/24V **P.030**
- MS STEREO MATRIX **P.073**

電池動作時の電池残量

“Low Battery”が表示されたら、新しい電池に交換してください。

ファイル名

選択、録音、再生中のファイル名
 フォルダ内にファイルがない場合は“NO DATA”表示になります

クリップメーター

クリップメーターは、録音・再生レベルが0dBに達した時に点灯し、録音・再生が終了するまで点灯し続けます

レベルメーター

録音・再生レベルを表示

録音可能な残り時間

SDカードに録音できる残り時間

8-2 モードと画面 4CHモード



● トップ画面の見方

レコーダー状態

■ 停止

|| 録音待機

点滅



※同時に[REC]
ボタン点滅

● 録音中



※同時に[REC]
ボタン点灯

▶ 再生中

|| 一時停止

点滅

ファイルフォーマット

選択、録音、再生中のファイルフォーマット

オプション設定有効表示

それぞれの機能が有効なときに表示



LO CUT機能

P.066



COMP/LIMIT機能

P.067



PHANTOM電源 48V/24V

P.030



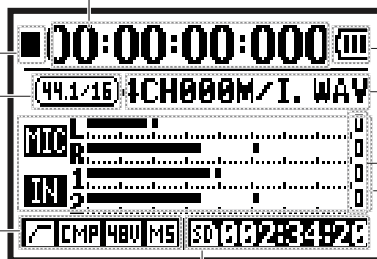
MS STEREO MATRIX

P.073

カウンター

録音経過時間や再生経過時間

*"時00:分00.秒00.ミリ秒000"を表示



録音可能な残り時間

SDカードに録音できる残り時間

電池動作時の電池残量



"Low Battery"が表示されたら、新しい電池に交換してください

ファイル名

選択、録音、再生中のファイル名

フォルダ内にファイルがない場合は"NO DATA"表示になります

クリップメーター

クリップメーターは、録音・再生レベルが0dBに達した時に点灯し、録音・再生が終了するまで点灯し続けます

入力ソースとレベルメーター

入力ソースと対応する録音・再生レベルを表示

- ・[MIC]・・・内蔵マイクまたは外部ステレオマイク入力
- ・[IN]・・・INPUT[1]と[2]からの入力

8-3 モードと画面 MTRモード



● トップ画面の見方

トップ画面での[DIAL]操作=カーソルの移動



レコーダー状態

● 停止

|| 録音待機 ALWAYS NEW 録音時のみ
点滅

● 録音中
※同時に[REC]ボタン点滅

▶ 再生中

|| 一時停止 ALWAYS NEW 録音時のみ
点滅

トラック番号

録音待機中トラックはアイコンが反転

②トラックメニューアイコン

トラックごとに音量やパン、ステレオ・モノラルなどの設定を行うトラックメニューの入り口 **P.057**



レベルメーター

1~4の各トラックに対応した録音・再生レベルを表示

① カウンター

録音経過時間や再生経過時間
"時00:分00:秒00:ミリ秒000"を表示

カウンター機能
時間を指定します

参照 **P.102**

電池動作時の電池残量



"Low Battery"が表示されたら、新しい電池に交換してください

③ オートパンチン・パンチアウトアイコン

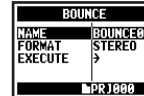
パンチン・パンチアウトのポイント設定の入り口



MTRの録音モードにより表示・非表示になります
・OVER WRITE録音時 : 表示
・ALWAYS NEW録音時: 非表示 **P.056**

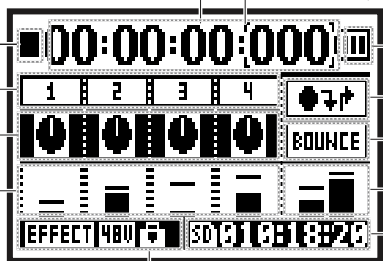
④ バウンスアイコン

現在のミックス結果をステレオ・モノラルファイルに書き出すバウンスメニューの入り口 **P.123**



LRレベルメーター

4つのトラックをミックスした出力レベルをLR表示



オプション設定有効表示

それぞれの機能が有効なときに表示

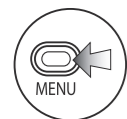
- EFFECT** EFFECT機能 **P.083**
- 48V** PHANTOM電源 48V/24V **P.030**
- PROTECT** PROTECT機能 **P.125**

録音可能な残り時間

SDカードに録音できる残り時間

8-4 モードと画面 MAIN MENU

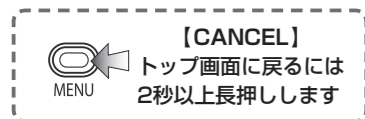
[MENU]ボタンで表示される各モードの<MENU>項目一覧です。



1 押す



2 選んで押す



HINT

▼は、起動時やモードを切り替えた後<MENU>の最初に表示される項目です。2回目以降は、前回に使用していた項目が最初に表示されます。

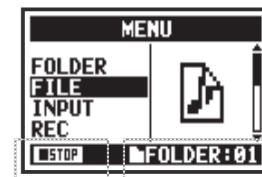
モード	<FOLDER>	<FILE>	<INPUT>	<REC>	<TOOL>
STEREO モード					
STAMINA モード					
4CH モード					
MTR モード	<PROJECT>	<FILE>	<EFFECT>	<INPUT>	<REC MODE>

モード	<PLAY MODE>	<SYSTEM>	<SD CARD>	<USB>	<MODE>	
STEREO						
STAMINA						
4CH	<MIXER>	<PLAY MODE>	<SYSTEM>	<SD CARD>	<USB>	<MODE>
MTR	<TOOL>	<SYSTEM>	<SD CARD>	<USB>	<MODE>	

スタミナモードは、電池使用時の起動前にスタミナスイッチで設定します **P.015**

メニュー画面の下段表示

録音、再生が可能なメニューでは、左下に現在のレコーダー状態が表示されます



右下には現在のフォルダ番号を表示 (ステレオモード、4CHモード、スタミナモード)



MTRモードでは、作業中のプロジェクト名を表示

- 停止中
- 再生一時停止中
- 再生中
- 録音待機・録音一時停止中
- 録音待機中
MTRモード、OVER WRITE録音時
- 録音中

9 オプション リモコンの操作

リモコン(オプション)を使うと、離れたところからでもH4n Proを操作できます。

【リモコンのボタン操作】

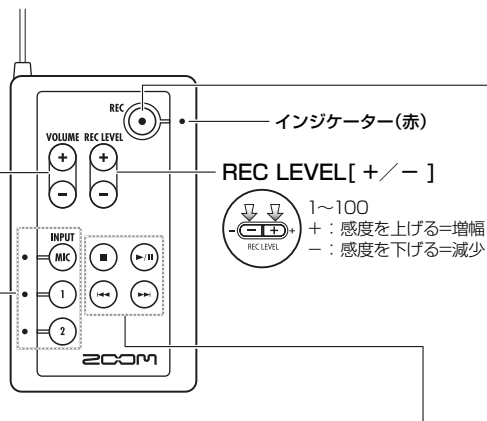
VOLUME[+/-]

0~100
+ : 大きくする
- : 小さくする

INPUT[MIC][1][2] ボタンと
インジケータ(緑・黄・赤)

入力ソースを選択

※ボタンに対応したインジケータは
入力の状態を表します
緑: 選択されている入力ソース
黄: 入力レベルが-6dBを超えている
赤: 入力がクリップしている



インジケータ(赤)

REC LEVEL[+/-]

1~100
+ : 感度を上げる=増幅
- : 感度を下げる=減少

[REC]
ボタン

録音を行ったり、マークを打ちます。

STEREO	停止中	【録音待機】になる カウンター: 0
4 CH	録音待機中	【録音】開始 カウンター: 始動
STEREO	録音中	再生中 マークを打つ(WAVファイルのみ)
STEREO	録音待機中	再生中

※録音待機状態のトラックがある場合のみ

MTR	OVER WRITE 録音 設定	
MTR	停止中	【録音待機】になる
MTR	録音中・録音待機	【録音】停止 (録音中の再生は継続)
MTR	再生中	【録音】開始 カウンター: 継続
MTR	録音待機中	再生中
MTR	ALWAYS NEW 録音 設定	
MTR	停止中	【録音待機】になる カウンター: 0
MTR	録音待機中	【録音】開始 カウンター: 始動

ローケータボタン

[FF]ボタン [REW]ボタン

STEREO	停止中	押す / 一秒以下
STEREO	再生中	【FF】: 次のファイルを表示 【REW】: ファイル先頭に戻る
STEREO	再生一時停止中	※【FF】【REW】ともマークがある時は、一番近いマークに移動
STEREO	再生一時停止中	長押し / 一秒以上
STEREO	再生一時停止中	早送り・巻戻し 押し時間により速度も速くなる ファイル終端または先頭で停止

[STOP]ボタン

STEREO	録音中	【録音】終了
STEREO	録音待機中	【録音】終了 カウンター: 0に戻る
STEREO	一時停止中	一時停止中
STEREO	再生中	再生中
STEREO	再生一時停止中	【再生】終了 カウンター: 停止

[PLAY/PAUSE]ボタン

STEREO	停止中	【再生】開始
STEREO	録音待機中	【録音】開始 カウンター: 始動
STEREO	録音中	録音中
STEREO	一時停止中	【録音】一時停止: 再開
STEREO	再生中	再生中
STEREO	一時停止中	【再生】一時停止: 再開

MTR	停止中	押す / 一秒以下
MTR	再生中	【FF】: 一秒単位で早送り 【REW】: 先頭に戻る
MTR	再生一時停止中	長押し / 一秒以上
MTR	再生一時停止中	早送り・巻戻し

MTR	録音中	【録音】終了
MTR	録音待機中	【録音】終了
MTR	一時停止中	一時停止中
MTR	再生中	【再生】停止 カウンター: 停止
MTR	録音一時停止中	録音一時停止中
MTR	再生一時停止中	再生一時停止中
MTR	再生一時停止中	それぞれの動作を停止

MTR	停止中	【再生】開始
MTR	録音中	【録音】一時停止
MTR	録音待機中	【録音】一時停止 (ALWAYS NEW録音時のみ)
MTR	録音待機中	【録音】開始 カウンター: 始動
MTR	再生中	再生中
MTR	再生一時停止中	【再生】一時停止: 再開

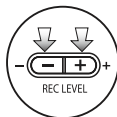
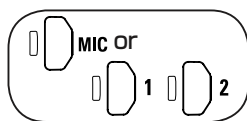
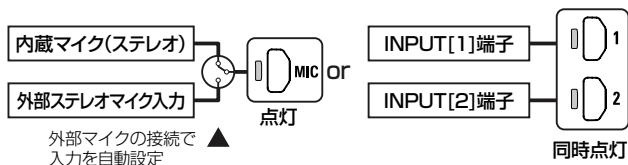
操作編

1-01 設定・録音 入力ソースと録音レベルの設定

録音する対象となる内蔵マイクや外部入力端子の設定を行います。

ステレオモード

[MIC]、またはINPUT[1][2]のどちらかのステレオ入力を使います。

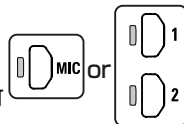


1 入力を選んで押す

選んだボタンが点灯

※停止・録音待機・録音中いつでも選択できます

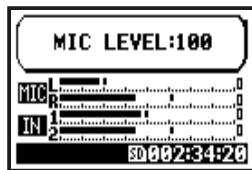
2 【録音レベルを調整】押す



HINT

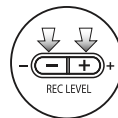
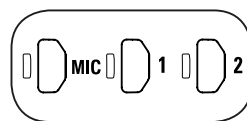
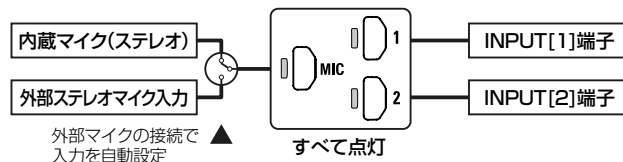
INPUT1と2の録音レベルを個別に設定できます。

録音機能〈INPUT1/2 LEVEL LINK〉 P.071



4CHモード

[MIC]、INPUT[1][2]の両方のステレオ入力を使います。



1 入力を選んで押す

選ばれた入力の録音レベルを表示

2 【録音レベルを調整】押す

HINT

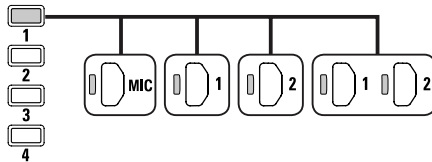
4CH モードのトップ画面で REC LEVEL ボタンを押すと "REC LEVEL TARGET" が表示されます。入力を選んで調整してください。



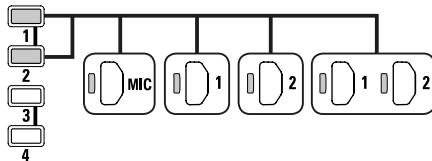
MTRモード

トラックごとにステレオ、モノラルの入力の設定を行います。

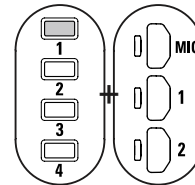
【1つずつのトラックに入力を選んで調整する】



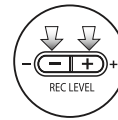
【2つのトラックに入力を選んで調整する】



【REC LEVELを使う】



1 トラックボタンと
入力ボタンを押す



2 【録音レベルを調整】
押す

トラック1	トラック2	トラック3	トラック4
モノラル	モノラル	モノラル	モノラル
ステレオ		モノラル	モノラル
モノラル	モノラル	ステレオ	
ステレオ		ステレオ	

HINT

MTRモードでは複数のトラックに別々に録音することができます。録音する際の入力ソースはトラックごとに自由を選択することができます。

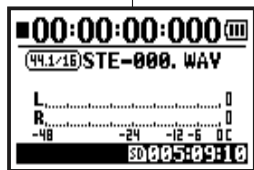
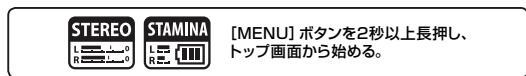
1-02 設定・録音 ステレオモード・スタミナモードの録音

内蔵マイクや外部入力端子から1系統のステレオ録音を行います。
スタミナモードの録音方法も同様です。

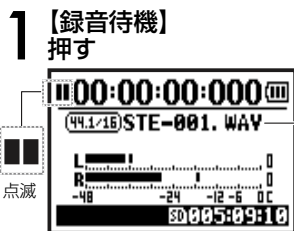
【録音の流れ】



*は設定しなくても録音できます



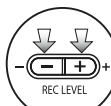
ステレオモード
トップ画面



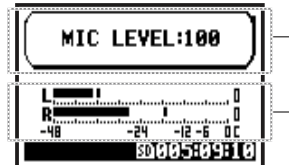
点滅



2 入カソースを
選んで押す
内蔵マイクの使用: [MIC]
外部入力端子の使用: INPUT[1]もしくは[2]



3 入カソースの録音レベルを調整する



4 【録音開始】押す

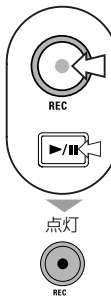


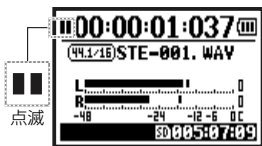
カウンターと
残り録音時間
が動き始める

5 【録音終了】押す



カウンターは
0に戻る



【一時停止】


カウンターは
0に戻らない

【録音再開】


同一のファイル上に停止し
た所から続けて録音される

HINT
〈REC FORMAT〉の変更

ステレオモードの〈REC FORMAT〉(録音フォーマット)は、WAVとMP3から19種の設定ができます。変更する場合は、録音前に操作します。

〈FILE NAME〉変更

ファイル名は2種類のNAMEタイプから自動で名付けられます。

〈DEFAULT〉: STE-××××
 〈DATE〉: 090531-××××
 ※録音時の日付が入ります。
 初期値は、〈DEFAULT〉

マーク

録音フォーマットがWAVの時、録音中に[REC]ボタンを押すと、ファイルに印(マーク)が打たれ、再生時にすばやくその位置に移動できるようになります。

また、WAVファイルで録音の一時停止を行った時は、停止位置でマークが打たれます。

NOTE

録音・再生中は、〈REC FORMAT〉の変更、〈FILE NAME〉の設定変更はできません。

参照

〈REC FORMAT〉	P.049	〈FILE NAME〉	P.050
マークの設定	P.096	〈METORONOME〉	P.079
〈AUTO REC〉	P.063	〈PRE REC〉	P.065
〈REC LEVEL AUTO〉	P.069		

1-03 設定・録音 録音フォーマット<REC FORMAT>



録音フォーマット<REC FORMAT>は録音する前に設定を行います。

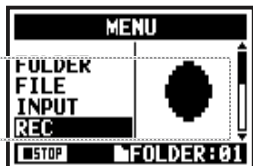
  [MENU] ボタンを2秒以上長押し、
トップ画面から始める。



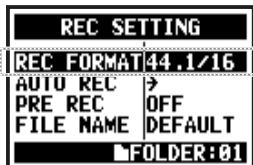
1 押す



2 <REC>を選んで押す



3 <REC FORMAT>を選んで押す



ショートカット
トップ画面から
TRACK 4 押す



4 選んで押す



初期値はWAV
44.1kHz/16bit

NOTE

WAVとMP3 フォーマットの使い方

- ・非圧縮な WAV ファイルは音質重視の高音質な録音に使われます。データを圧縮しないため MP3 ファイルに比べ、ファイルの容量は大きくなります。
- ・MP3 ファイルは、データを圧縮するため音質が WAV よりも下がりますが、SD カードの容量を節約したい時やたくさんの音源を録音する場合などに使います。

HINT

WAVファイルの種類

アナログ信号をデジタル化するときの標準化(サンプリング)の頻度を表すサンプリングレート/周波数(44.1 / 48 / 96kHz強弱の細かさを表す量子化ビット数16 / 24bit)を選択できます。

数値が大きいほど高音質になりますが、ファイルの容量は増加します。

ステレオ/4CH/スタミナモードで録音したWAVファイルは、BWF(Broadcast Wave Format)に対応し、マークや制作日時が記録されたファイルとなります。

MP3ファイルの種類

1秒間あたりの情報量を表すビットレートを選択します。数値が大きくなるほど圧縮率は低くなり高音質になりますが、高い圧縮率のMP3に比べSDカードの容量をより消費します。

VBR(Variable Bit Rate)とは、入力ソースの情報量に応じてビットレートが変化する方式です。

REC FORMAT	
ステレオモード	
WAV	44.1kHz/16bit
	44.1kHz/24bit
	48kHz/16bit
	48kHz/24bit
	96kHz/16bit
96kHz/24bit	
MP3	48kbps
	56kbps
	64kbps
	80kbps
	96kbps
	112kbps
	128kbps
	160kbps
	192kbps
	224kbps
256kbps	
320kbps	
VBR	
4CHモード	
WAV	44.1kHz/16bit
	44.1kHz/24bit
	48kHz/16bit
	48kHz/24bit

1-04 設定・録音 ファイル名<FILE NAME>



録音する時にファイル名が自動的に割り振られます。変更するには以下の設定を行います。

[MENU] ボタンを2秒以上長押し、トップ画面から始める。

- 1

押す
- 2

<REC>を選んで押す

MENU

FOLDER
●

FILE
●

INPUT
●

REC
●

STOP
FOLDER:01
- 3

<FILE NAME>を選んで押す

REC SETTING

REC FORMAT
44.1/16

AUTO REC
OFF

PREF REC
OFF

FILE NAME
DEFAULT

STOP
FOLDER:01
- 4

選んで押す

FILE NAME

DEFAULT
●

DATE
●

STOP
CANCEL:MENU

初期値は <DEFAULT>

ファイル名	
ステレオモード	
<DEFAULT>	STE-×××.wav(mp3) : "STE-" 数字3桁・拡張子 ※<MONO MIX>設定時 MONO-×××.wav(mp3) : "MONO-" 数字3桁・拡張子
<DATE>	090531-×××.wav(mp3) : 年月日yyymmdd・数字3桁・拡張子
4CHモード	
変更不可	4CH-×××M.wav 内蔵マイクの録音ファイル : "4CH-" 数字3桁 "M". 拡張子 4CH-×××I.wav 外部入力からの録音ファイル : "4CH-" 数字3桁 "I". 拡張子
MTRモード	
ステレオファイル モノラルファイル	TRK1-××.wav : "TRK"トラック番号・数字2桁・拡張子 ※ステレオトラックでは12のようにL/Rで使っているトラック 番号がはiriます

NOTE

- ・ <DATE> タイプが設定できるのはステレオモードのみです。
- ・ ステレオ、MTR モードでは、この他のファイル名が使用できません。設定は<FILE RENAME>で行います。
- ・ H4n Pro 以外でファイル名をつけた場合、ファイル名に半角英数字以外を含むファイルは、H4n Pro では動作対象外になります。

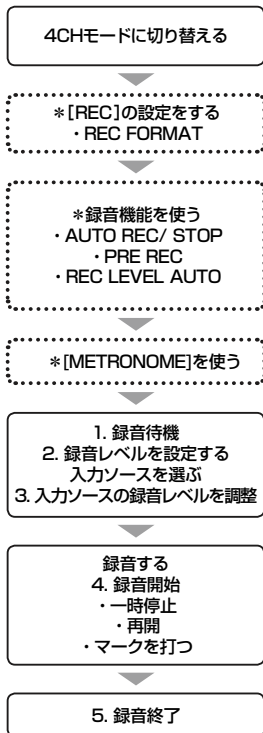
参照

<FILE RENAME>
P.109

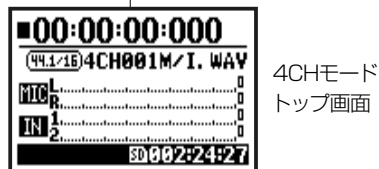
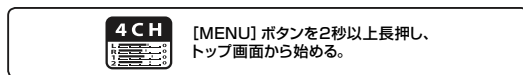
1-05 設定・録音 4CHモードの録音

内蔵マイクと外部入力端子の2つのステレオ入力から4チャンネルステレオで録音する方法です。

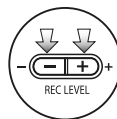
【録音の流れ】



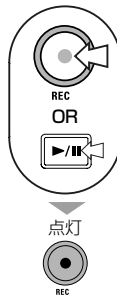
*は設定しなくても録音できます



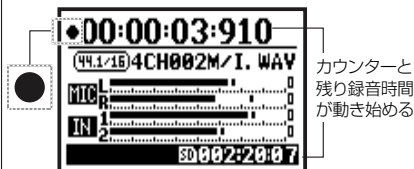
1 【録音待機】 押す



3 入力ソースの 録音レベルを調整する

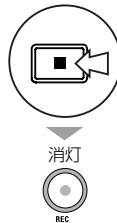
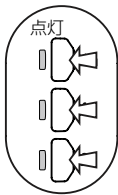


4 【録音開始】 押す

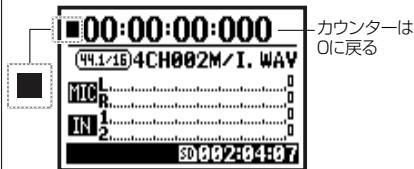


2 【録音レベルを設定する】 入力ソースを選んで押す

*内蔵マイクの設定 : [MIC]
外部入力端子の設定: INPUT[1]
もしくは[2]



5 【録音終了】 押す



【一時停止】



カウンターは0に戻らない

【録音再開】



同一のファイル上に停止したところから続けて録音される

HINT

ファイル名

4CHモードでは内蔵マイクからの入力と、外部入力端子からの入力をそれぞれステレオWAVファイルとして保存します。

この2つのファイルは常にペアで管理され、入力に応じて以下のような名前がつきます。

[MIC]のファイル：

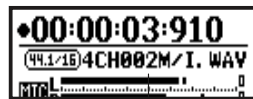
4CH×××M.wav

INPUT[1][2]のファイル：

4CH×××I.wav

画面では2つのファイルを同時に“M/I”と表示します。

※ファイル名の変更はできません。



ファイル名

〈REC FORMAT〉の変更

変更する場合は、録音前に操作します。

マーク

録音中に [REC] ボタンを押すと、ファイルに印(マーク)が打たれ、再生時にすばやくその位置に移動できるようになります。また、録音の一時停止を行った時は、停止位置でマークが打たれます。

NOTE

録音・再生中の〈REC FORMAT〉の変更はできません。

参照

〈REC FORMAT〉	P.049	〈FILE NAME〉	P.050
マーク設定	P.096	〈METORONOME〉	P.079
〈AUTO REC〉	P.063	〈PRE REC〉	P.065
〈REC LEVEL AUTO〉	P.069	モードの変更	P.036

1-06-1 設定・録音 MTRモードの録音 〈REC MODE〉

トラックを使い分け、モノラルまたはステレオで組み合わせ録音ができます。

【録音の流れ】

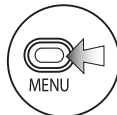


*は設定しなくても録音できます

〈REC MODE〉の切り換え OVER WRITE/ALWAYS NEW



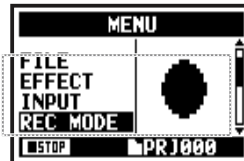
[MENU] ボタンを2秒以上長押し、
トップ画面から始める。



1 押す



2 〈REC MODE〉を選んで押す



3 上書き録音〈OVER WRITE〉か
常に新規録音〈ALWAYS NEW〉
を選んで押す



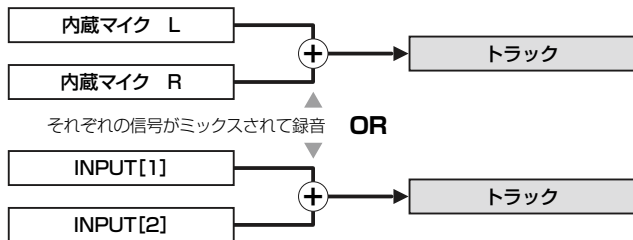
入力ソースとトラックについて

録音トラックが1つのみの場合

1. 入力ソースが INPUT[1]もしくは[2]のみ

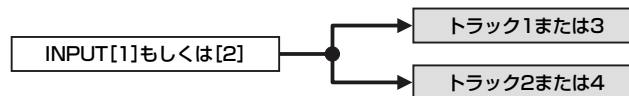


2. 入力ソースが[MIC]もしくは INPUT[1][2]



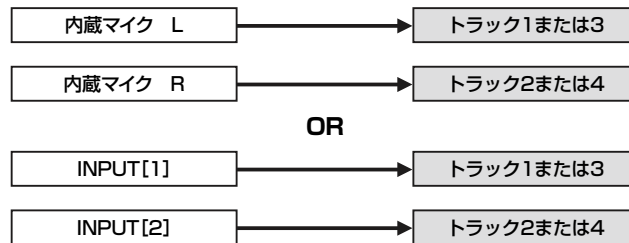
録音トラックが2つの場合

1. 入力ソースが INPUT[1]もしくは[2]のみ



両方のトラックに同じ信号が送られる

2. 入力ソースが[MIC]もしくは INPUT[1][2]



1-06-2 設定・録音 MTRモード(OVER WRITE)の録音

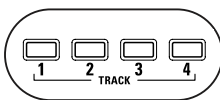


MTRモードは録音方法を2つのスタイルから選ぶことができます。
OVER WRITEは既存のファイルに新しい音声を上書きするモードです。

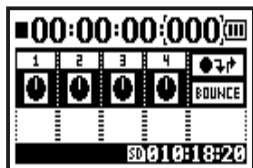


[MENU] ボタンを2秒以上長押し、
トップ画面から始める。

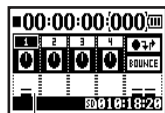
必要に応じて各種設定をしてください
 ※ 入力の設定 P.054
 ※ 録音の設定 P.057~



1 トラックを選ぶ

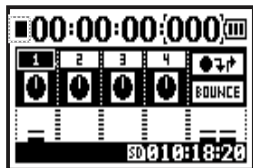


MTRモード
トップ画面

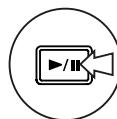


— 入力レベルが表示

2 押す



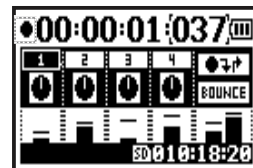
0以外の値になっていても
カウンターは0にリセットされない



点灯



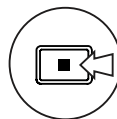
3 【録音開始】 押す



4 【録音停止】 押す



カウンターは0に戻らない



消灯



[REW]ボタンで録音を開始した位置まで戻り、
[PLAY/PAUSE]ボタンを押すことで録音した内容を確認できます。

1-06-3 設定・録音 MTRモード(ALWAYS NEW)の録音

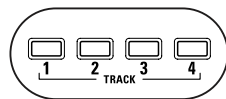


ALWAYS NEWは録音時に常に新しいファイルを作成します。

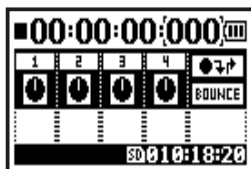


[MENU] ボタンを2秒以上長押し、
トップ画面から始める。

必要に応じて各種設定をしてください
※入力の設定 P.054
※録音の設定 P.057~



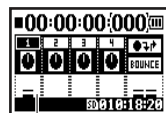
1 トラックを選ぶ



MTRモード
トップ画面

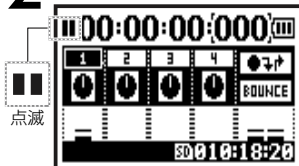


1
選択した
トラックが点灯



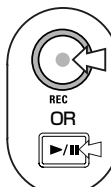
— 入力レベルが表示

2 押す

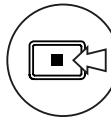


点滅

カウンターは0にリセットされる



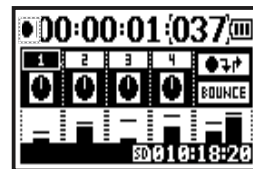
点灯



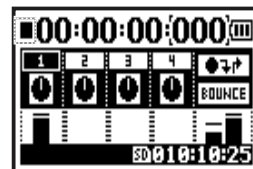
消灯



3 【録音開始】 押す



4 【録音終了】 押す



カウンターは0に戻る

[PLAY/PAUSE]で録音したファイルを再生できます。

1-07 設定・録音 TRACK MENU

トラックを設定するためのMTRモードだけのメニューです。
トラックどうしをリンクさせステレオトラックにしたり、出力の効果を設定することができます。



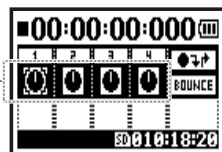
[MENU] ボタンを2秒以上長押し、
トップ画面から始める。

対象プロジェクトを選んで始める…P.119

TRACK MENUを選ぶ



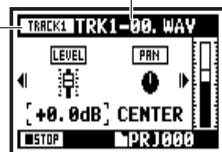
1 トップ画面から
〈トラックメニューアイコン〉
を選んで押す



トラックメニューアイコン

TRACK MENU

トラックに割り当て
られているファイル名



選択中のトラック

HINT LEVEL

トラックの出力レベルを設定
設定値：MUTE、-48.0dB～+12.0dB
初期値：+0.0dB

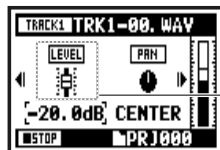
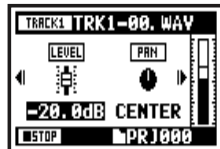
トラックの出力レベルを調整する



〈LEVEL〉を選んで押す



値を設定して押す



フェーダー
アイコン
が変化

HINT PAN

トラックのLR(定位)のバランスを設定
設定値：L100～C～R100
初期値：C(CENTER)

PAN(定位バランス)を調整する



〈PAN〉を選んで押す



値を設定して押す



PANアイコン
が変化

**NOTE**

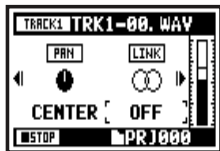
STEREO LINK、FILE、KARAOKEの設定は録音・再生中、トラックが録音状態の時は設定できません。

HINT STEREO LINK

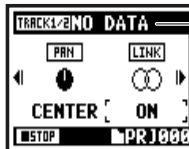
1/2、3/4の2トラックを組み合わせステレオ1トラック、また単独にモノラルトラックとするかを設定できます。
設定値：ON/OFF 初期値：OFF

ステレオリンクを設定する

〈STEREO LINK〉を選んで押す



値を設定して押す

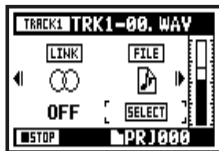


フォーマットを変更したため
〈NO DATA〉と表示

レベルメーター表示
がステレオに変化

**FILEをトラックに割り当てる**

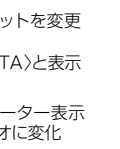
〈FILE〉を選んで押す



割り当てるファイルを選んで押す



ファイル形式が一致する割り当て
可能なファイルを一覧表示

**NOTE**

- ・ KARAOKEトラックは録音できません。
- ・ 自動的にステレオリンクがONとなり、トラックの設定がモノラルであった場合は〈NO DATA〉となります。
- ・ すでに KARAOKEトラックが設定されている場合、残りのトラックを KARAOKEトラックに設定することはできません。

HINT

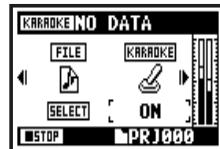
1/2、3/4いずれかの2トラックをKARAOKEトラックに設定します。キーコントロールやセンターキャンセルなどが設定できるようになります。設定値：ON/OFF 初期値：OFF

KARAOKEを設定する

〈KARAOKE〉を選んで押す



値を設定して押す



1-08-1 設定・録音 録り直す〈PUNCH IN/OUT〉(自動)

録音したファイルの一部だけを録り直しできる機能が、パンチイン・アウトです。
ここでは自動で録音を開始(パンチイン)終了する(パンチアウト)する方法を説明します。



[MENU] ボタンを2秒以上長押し、
トップ画面から始める。

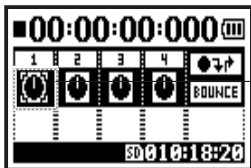
〈REC MODE〉を〈OVER WRITE〉に
切り替える…P.053

トラックにファイルを割り当てる

録音開始位置〈PUNCH IN〉を設定する



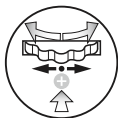
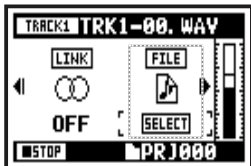
1 トップ画面から
トラックメニューアイコンを
選んで押す



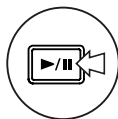
トラックメニューアイコン



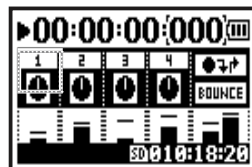
2 〈FILE〉を選んで押す



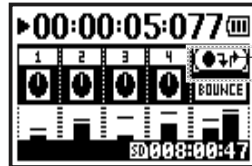
3 任意のファイルを選んで押す



4 [再生開始]
押す



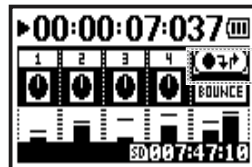
5 パンチイン・アウトアイコンを選び



パンチイン・アウト
アイコン



6 パンチインしたいところで押す



アイコン交差表示

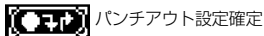
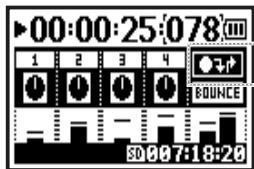
NOTE

MTR モードで〈OVER WRITE〉録音の場合のみ設定可能です。

録音終了位置〈PUNCH OUT〉を設定する



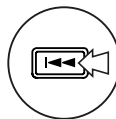
7 パンチアウトしたいところで押す



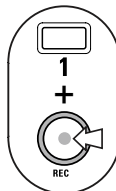
HINT

- ・パンチイン・アウトの場所の設定は停止した状態でカウンターを利用して行うこともできます(それぞれ時間を設定した状態で、カーソルをパンチイン・アウトに移動させ、[DIAL]を押します)
- ・パンチアウトを設定した状態(step7)でもう一度 [DIAL] を押すと設定がすべてキャンセルされます。

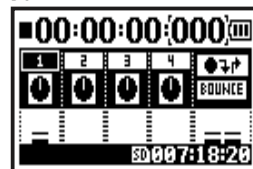
録り直す



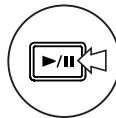
8 最頭部(カウンター0) または、録音開始位置〈パンチイン〉より前に巻き戻す



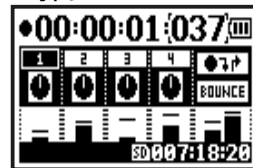
9 [TRACK[1]録音待機] 押す



1 パンチイン・アウトを設定した範囲内で点灯し、設定位置の外では点滅します



10 [TRACK[1]再生・録音] 押す



録音開始位置〈PUNCH IN〉に到達 : 点灯=自動で録音開始



録音終了位置〈PUNCH OUT〉に到達 : 点滅=自動で録音終了

参照 [P.102] カウンターで時間を指定

1-08-2 設定・録音 録り直す〈PUNCH IN/OUT〉(手動)

MTRモード〈OVERWRITE〉録音の場合、手動でパンチイン・アウトが設定できます。
再生中に[REC]ボタンを押すことで押した位置から録り直しを開始します。



[MENU] ボタンを2秒以上長押し、
トップ画面から始める。

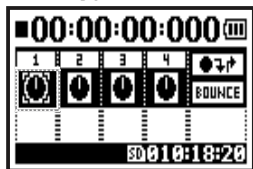
〈REC MODE〉を〈OVER WRITE〉に
切り替える…P.053

トラックにファイルを割り当てる

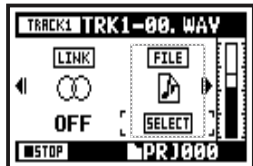
再生する



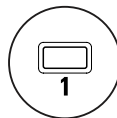
1 トップ画面から
トラックメニューアイコンを
選んで押す



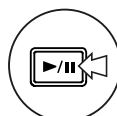
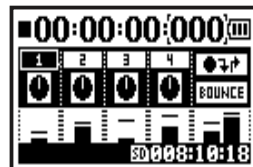
2 〈FILE〉を選んで押す



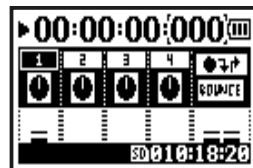
3 任意のファイルを選んで押す



4 【録音待機】
押す



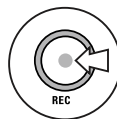
5 【再生開始】
押す



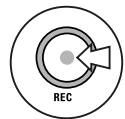
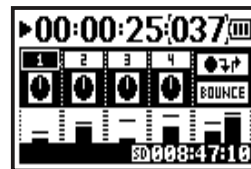
録り直す (手動でPUNCH IN/OUT)



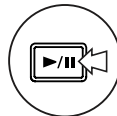
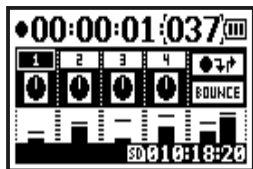
6 演奏 (未録音)



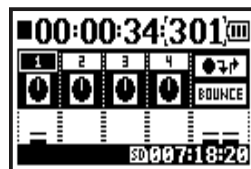
9 【録音終了】
押す



7 【録音開始】
押す



10 【再生終了】
押す



8 演奏 (録音中)



Start



録り直し実行部分

Stop



2-01-1 録音機能 〈AUTO REC〉



一定以上の入力レベルを検出すると、自動で録音待機状態から録音を開始します。

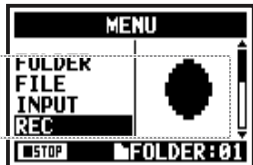
STEREO **4CH** [MENU] ボタンを2秒以上長押し、
トップ画面から始める。



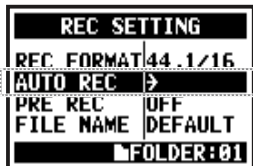
1 押す



2 〈REC〉を選んで押す



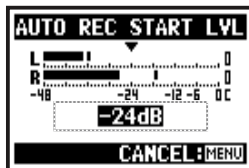
3 〈AUTO REC〉を選んで押す



4 [スタートレベルを設定する]
〈START LVL〉を選んで押す



5 調整する



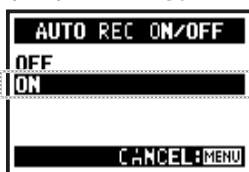
録音を自動で開始するきっかけとなる入力レベルを設定



6 〈ON/OFF〉を選んで押す



7 〈ON〉を選んで押す

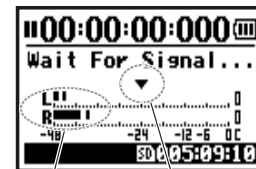


HINT

“Wait For Signal”表示

〈AUTO REC〉がONの場合、録音待機中に“Wait For Signal”と表示されます。

現在の入力レベルが録音開始レベルを超えるかを監視している状態です。



スタートレベル

現在の入力レベル

録音開始レベルを超えると録音を開始します。この状態から [REC] ボタンを押して録音を開始することも可能です。

NOTE

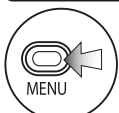
- ・録音・再生などの操作中は設定できません。
- ・〈REC LEVEL AUTO〉〈RRE REC〉〈METRONOME PRE COUNT〉との併用はできません。

2-01-2 録音機能 <AUTO REC STOP>



<AUTO REC>をONにして録音している時に、入力レベルが一定以下になると自動で録音を停止します。

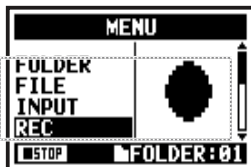
STEREO 4 CH [MENU] ボタンを2秒以上長押し、
トップ画面から始める。



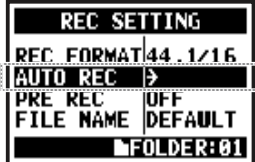
1 押す



2 <REC>を選んで押す



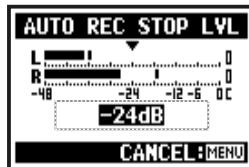
3 <AUTO REC>を選んで押す



4 [ストップレベルを設定する]
<STOP LVL>を選んで押す



5 調整する



録音を自動で終了するきっかけとなる入力レベルを設定



6 <AUTO STOP>を選んで押す



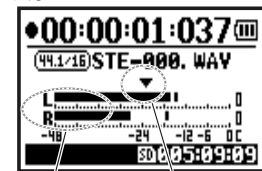
7 選んで押す



入力信号がSTOP LEVELを下回ってから終了するまでの時間を設定
0.1、2、3、4、5秒から選択

HINT

<AUTO REC STOP>がONの場合、録音中にストップレベルが表示されます。



ストップレベル
現在の入力レベル

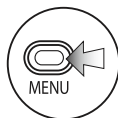
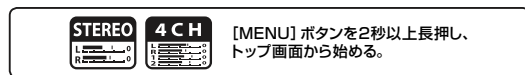
NOTE

- ・録音・再生などの操作中は設定できません。
- ・<AUTO REC STOP>がONの時も[STOP]ボタンを押すと録音終了できます。

2-02 録音機能 〈PRE REC〉



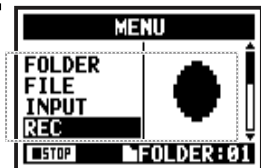
〈PRE REC〉を設定すると、[REC]ボタンを押した時、最大2秒前からの音声を録音することができます。



1 押す



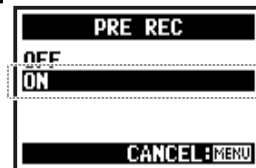
2 〈REC〉を選んで押す



3 〈PRE REC〉を選んで押す



4 〈ON〉を選んで押す



HINT

〈PRE REC〉がONの時、H4n Proは録音待機状態中に入力された信号を常に一定時間蓄えるようになります。
[REC]ボタンを押して実際に録音を開始すると、蓄えたデータから最大2秒遡って録音を行います。


NOTE

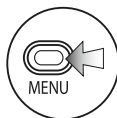
- ・録音・再生などの操作中は設定できません。
- ・〈AUTO REC〉〈PRE COUNT〉との併用はできません。
- ・96kHz 録音、4CHモードの時は、最大1秒遡って録音を行います

2-03 録音機能 〈LO CUT〉



入カソースごとに、風雑音や吹かれなどをカットすることができます。

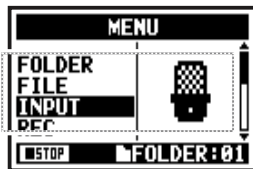
  [MENU] ボタンを2秒以上長押し、
トップ画面から始める。



1 押す



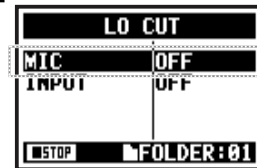
2 〈INPUT〉を選んで押す



3 〈LO CUT〉を選んで押す



4 入カソースを選んで押す



5 選んで押す

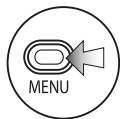


HINT

- ・〈LO CUT〉フィルターは、OFF、80、98、115、133、150、168、185、203、220、237Hzの11段階で選べます。
- ・数値が小さいほどカットオフ周波数が下がり、低い周波数がカットされます。

2-04 録音機能 <COMP / LIMIT>

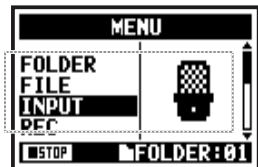
入カソースごとに、低いレベルの入力信号は持ち上げ、高いレベルの信号は抑えてレベル調整をします。



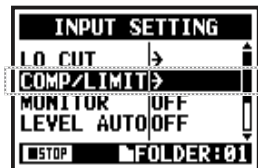
1 押す



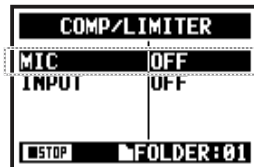
2 <INPUT>を選んで押す



3 <COMP/LIMIT>を選んで押す



4 入カソースを選んで押す



5 選んで押す



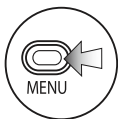
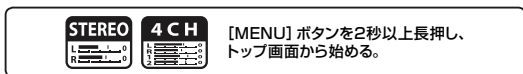
HINT

タイプ	説明		スレッシュホールド [dB]	レシオ	出力レベル [dB]	アタックタイム [ms]	リリースタイム [ms]
OFF	コンプレッサー、リミッターがOFF		—	—	—	—	—
COMP1 (GENERAL)	標準的なコンプレッサー	コンプレッサーは、高いレベルの音を圧縮し、レベルの底上げを行います。	-48.7	9:1	+6.0	7.2	968
COMP2 (VOCAL)	ボーカル向けのコンプレッサー		-8.4	16:1	0	1.8	8.7
COMP3 (DRUM)	ドラム、パーカッション向けのコンプレッサー		-48.2	7:1	+3.6	12.3	947
LIMIT1 (GENERAL)	標準的なリミッター	リミッターは、入力信号が一定のレベルを越えた時に圧縮します。	-14.4	60:1	0	6.4	528
LIMIT2 (CONCERT)	ライブ向けのリミッター		-13.8	32:1	+1.2	1.9	8.5
LIMIT3 (STUDIO)	スタジオ録音向けのリミッター		-12.0	8:1	+1.2	6.5	423

2-05 録音機能 〈REC LEVEL AUTO〉



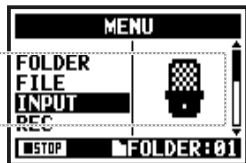
入力ソースの録音待機時の入力レベルを監視し、録音時の最大レベルが-6dBになるように調節します。



1 押す



2 〈INPUT〉を選んで押す



3 〈LEVEL AUTO〉を選んで押す



4 〈ON〉を選んで押す



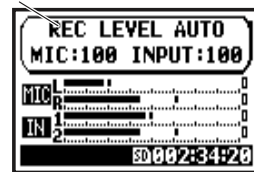
HINT

〈REC LEVEL AUTO〉を設定すると、録音待機状態にした時に、選択されている入力の現在のレベルが表示され、入力レベルの自動調整が行われます。また、録音中に入力レベルが-6dBを超えると、再び入力レベルの自動調整が行われ、設定された値が2秒間、ディスプレイに表示されます。

録音待機時の表示 現在の入力レベルを表示

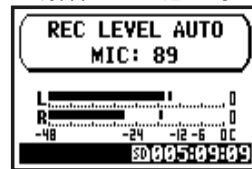


ステレオモード



4CHモード

録音中に-6dBを超えた時



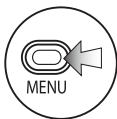
NOTE

- ・ 〈AUTO REC〉との併用はできません。
- ・ 録音・再生などの操作中には設定できません。

2-06 録音機能 〈MONITOR〉



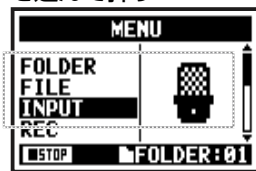
録音待機状態では、入力ソースの音をモニターできます。
録音待機状態以外の場合も、入力ソースの音をモニターしたい時は、以下の設定をします。



1 押す



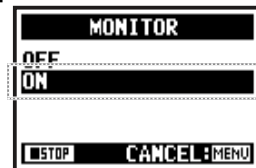
2 〈INPUT〉
を選んで押す



3 〈MONITOR〉を選んで押す



4 〈ON〉を選んで押す



HINT

録音待機状態の時は、[LINE/PHONE 兼用ミニステレオアウト]から常に入力ソースの音をモニターできます。それ以外
のときには〈MONITOR〉設定が必要です。

NOTE

入力ソースの音を内蔵スピーカーでモニターすることはできません。

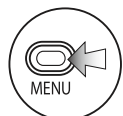
2-07 録音機能 <INPUT 1/2 LEVEL LINK>



INPUT 1と2の録音レベルを個別に設定できます。
種類の違うマイクをそれぞれの端子に接続して使う際に便利です。

[MENU] ボタンを2秒以上長押し、トップ画面から始める。

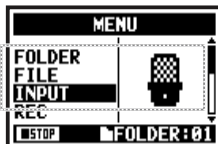
準備



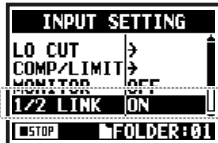
1 押す



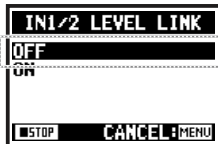
2 <INPUT>を選んで押す



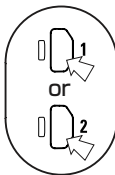
3 <1/2 LINK>を選択する



4 <OFF>を選んで押す



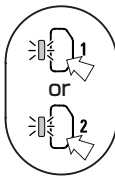
録音レベルを個別に設定する



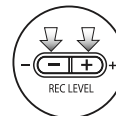
5 [INPUT 1]または[INPUT 2]を押す



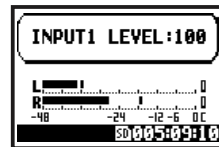
6 [REC LEVEL] ボタンを押す



7 録音レベルを調節したいほうのボタンを押す



8 [REC LEVEL] ボタンを押して、録音レベルを調節する




NOTE

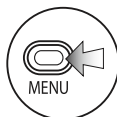
本機能はステレオモード、4CHモード、スタミナモードにおいて、MS MATRIX およびMONO MIX がOFF の場合のみ使用可能です。

2-08 録音機能 〈MONO MIX〉



選択中の入力(L/R信号)をミックスし、L/Rchにそれぞれ同じ信号を送ります。

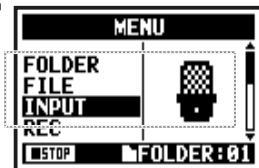
 [MENU] ボタンを2秒以上長押し、
トップ画面から始める。



1 押す



2 〈INPUT〉を選んで押す



3 〈MONO MIX〉を選んで押す



4 〈ON〉を選んで押す



NOTE

- ・〈MONO MIX〉を有効にして録音したファイルは“MONO-×××”のファイル名になります。
- ・〈MS STEREO MATRIX〉との併用はできません。
- ・録音・再生などの操作中は設定できません。

2-09 録音機能 〈MS STEREO MATRIX〉



MS方式のステレオマイクの信号を、通常のステレオL/R信号に変換します。

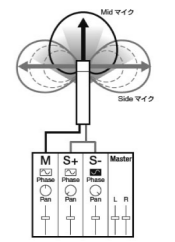
STEREO 4CH [MENU] ボタンを2秒以上長押し、トップ画面から始める。

- 1 押す
- 2 〈INPUT〉を選んで押す
- 3 〈MS MATRIX〉を選んで押す
- 4 それぞれ設定する

〈ON/OFF〉	〈MID LEVEL〉	〈SIDE LEVEL〉	〈SOURCE〉	〈CH SETTING〉
MS STEREO MATRIXのON/OFFを設定	録音対象に向く指向性マイク(MID)入力のレベルを設定 設定値: MUTE, -48.0~+12.0dB 初期値: +0.0dB	MIDと水平方向に直角に交わる総指向性マイク(SIDE)の入力レベルを設定 設定値: -48.0dB~+12.0dB 初期値: +0.0dB	どの入力に対して有効にするかを選択(4CHモードのみ)	MID入力とSIDE入力をLch(INPUT[1])とRch(INPUT[2])のどちらに割り当てるかを設定
 選ぶ	 選ぶ	 選ぶ	 選ぶ	 選ぶ
 選ぶ	 調整する	 調整する	 選ぶ	 選ぶ

NOTE
 〈MONO MIX〉との併用はできません。

NOTE
MSステレオ方式について
 センターの音を拾う単一指向性のMidマイクと、左右の音を拾う双方向性のSideマイクを組み合わせ、そこから入力した信号をステレオに変換する技術です。Sideマイクのレベルを調節することで、ステレオ幅を自在に調節できます。ワイドなステレオイメージを捉えることができるため、音源が複数ある広く開放的な空間での録音、例えばオーケストラやライブコンサート、サウンドスケープの収録に最適です。また、ルームアンビエンスの量を調節したい場合にも非常に効果的です。スタジオレコーディングで使われるだけでなく、その自由度の高さからリハーサルやライブレコーディングでも広く使われています。

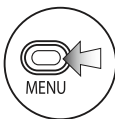


3-01-1 チューナー 〈TUNER(CHROMATIC)〉



入力された信号のノートを表示するクロマティックモードのチューナーです。

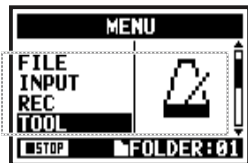
[MENU] ボタンを2秒以上長押し、
トップ画面から始める。



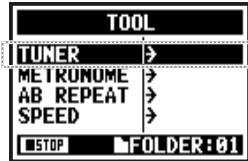
1 押す



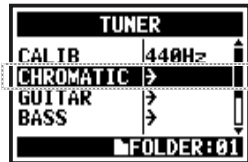
2 〈TOOL〉を選んで押す



3 〈TUNER〉を選んで押す

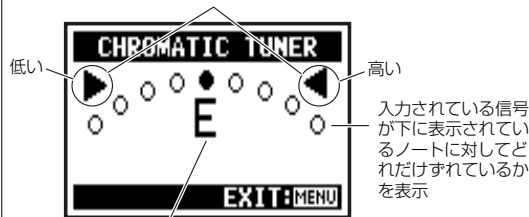


4 〈CHROMATIC〉を選んで押す



5 チューニングを行う

入力されている信号が下に表示されているノートに対して高いか低いかを表示
合っている時は両方点灯



入力されている信号に最も近い
ノート名を表示

HINT

- ・ 現在選ばれている入力ソースの信号がチューニングの対象になります。
- ・ 4CHモードの時は、step4で〈INPUT〉を選び、入力ソースを選んでから、以降の操作を続けてください。

NOTE

録音・再生中には利用できません。

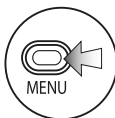
参照 チューニングの表示
弦番号とノートの関係 P.078

3-01-2 チューナー その他の〈TUNER〉



クロマティック以外に、GUITAR、BASS、OPEN A、OPEN D、OPEN E、OPEN G、DADGADのチューニングモードがあります。

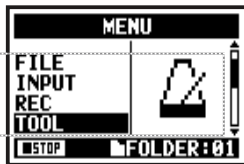
STEREO **4 CH** **MTR** [MENU] ボタンを2秒以上長押し、
トップ画面から始める。



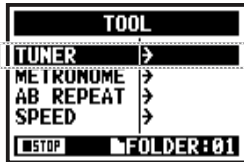
1 押す



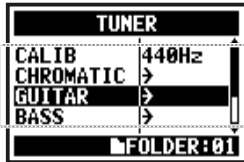
2 〈TOOL〉を選んで押す



3 〈TUNER〉を選んで押す

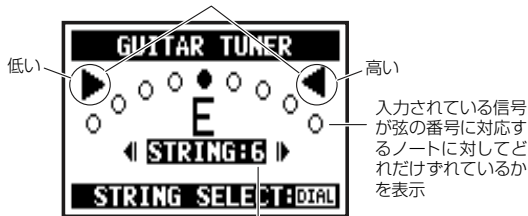


4 チューニングモードを選んで押す



5 チューニングを行う

入力されている信号が下に表示されているノートに対して高いか低いかを表示
合っている時は両方点灯



チューニングを行う弦の番号
[DIAL]で選択可能

HINT

- ・現在選ばれている入力ソースの信号がチューニングの対象になります。
- ・4CHモードの時は、step4で〈INPUT〉を選び、入力ソースを選んでから、以降の操作を続けてください。

NOTE

録音・再生中には利用できません。

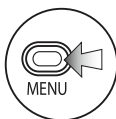
参照 ④ チューニングの表示
弦番号とノートの関係 **P.078**

3-01-3 チューナー 〈TUNER(CALIB)〉



チューナーのキャリブレーション(Aの周波数)を設定します。

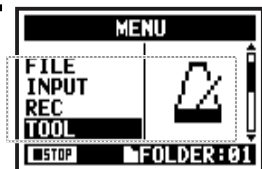
[MENU] ボタンを2秒以上長押し、
トップ画面から始める。



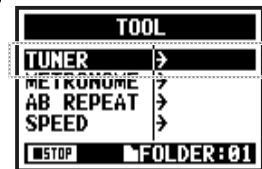
1 押す



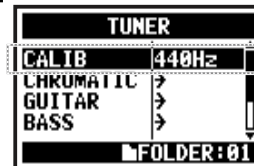
2 〈TOOL〉を選んで押す



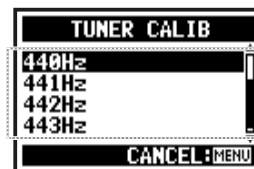
3 〈TUNER〉を選んで押す



4 〈CALIB〉を選んで押す



5 選んで押す



▶ ここまで、〈TUNER〉
各操作共通

HINT


- ・初期設定は440Hzです。
- ・435～445Hzを1Hz刻みで設定可能です。

NOTE

録音・再生中には利用できません。

3-01-4 チューナー 〈TUNER(INPUT)〉

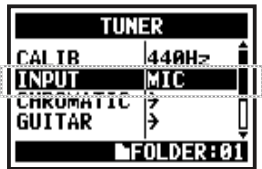
4CHモードのTUNERではチューニングを行う入力ソースの設定ができます。

 [MENU] ボタンを2秒以上長押し、
トップ画面から始める。

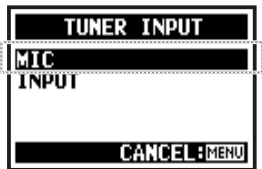
〈TUNER〉…P.075



4 〈INPUT〉を選んで押す

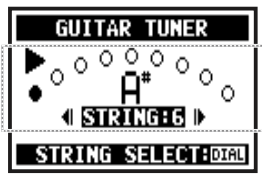


5 入力ソースを選んで押す

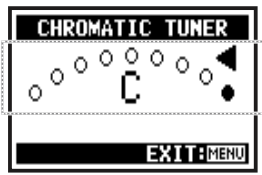


HINT   

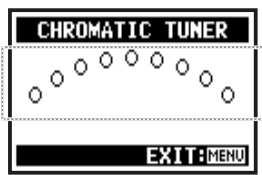
チューニングの表示



チューニングが低いとき



チューニングが高いとき



入力がないとき(クロマティック)

チューナータイプとコード

チューナータイプ	弦番号/音名						
	1	2	3	4	5	6	7
GUITER	E	B	G	D	A	E	B
BASS	G	D	A	E	B		
OPEN A	E	C#	A	E	A	E	
OPEN D	D	A	F#	D	A	D	
OPEN E	E	B	G#	E	B	E	
OPEN G	D	B	G	D	G	D	
DADGAD	D	A	G	D	A	D	

NOTE

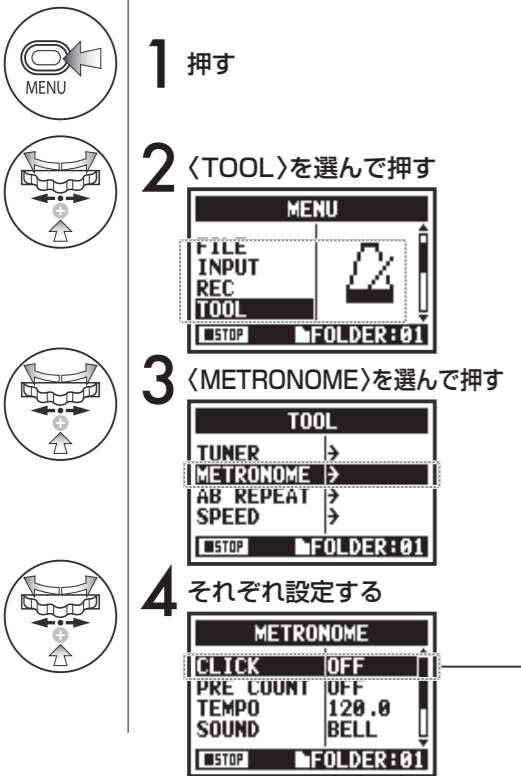
録音・再生中には利用できません。

3-02 メトロノーム 〈METRONOME〉



便利なプリカウント機能もあります。

[MENU] ボタンを2秒以上長押し、
トップ画面から始める。



<p><CLICK> メトロノームになる条件を設定 録音・再生中には設定不可</p> <p>選ぶ</p> <p>条件を選ぶ OFF…鳴らさない ●/▶…録音・再生時 ●…録音時のみ ▶…再生時のみ</p>	<p><PRE COUNT> 録音開始前のカウント数を設定 (PRE REC)、<AUTO REC>がONの時は設定不可</p> <p>選ぶ</p> <p>カウントする拍数を選ぶ OFF、1~8拍とSPECIALから選択</p> <p><SPECIAL>のカウント</p>	<p><TEMPO> メトロノームのスピードを設定</p> <p>選ぶ</p> <p>調整する</p> <p>初期値は120.0 40.0~250.0BPMの間を 0.1単位で設定</p>	<p><SOUND> メトロノームの音色の設定</p> <p>選ぶ</p> <p>選ぶ</p> <p>初期値はBELL BELL、CLICK、STICK、 COWBELL、HI-Qから選択</p>	<p><PATTERN> メトロノームのパターンを設定</p> <p>選ぶ</p> <p>選ぶ</p> <p>初期値は4/4 0/4(アクセントなし)、1/4~ 8/4、6/8から選択</p>	<p><LEVEL> メトロノームの音量の設定</p> <p>選ぶ</p> <p>選ぶ</p> <p>11段階で設定</p>
---	---	---	---	---	---

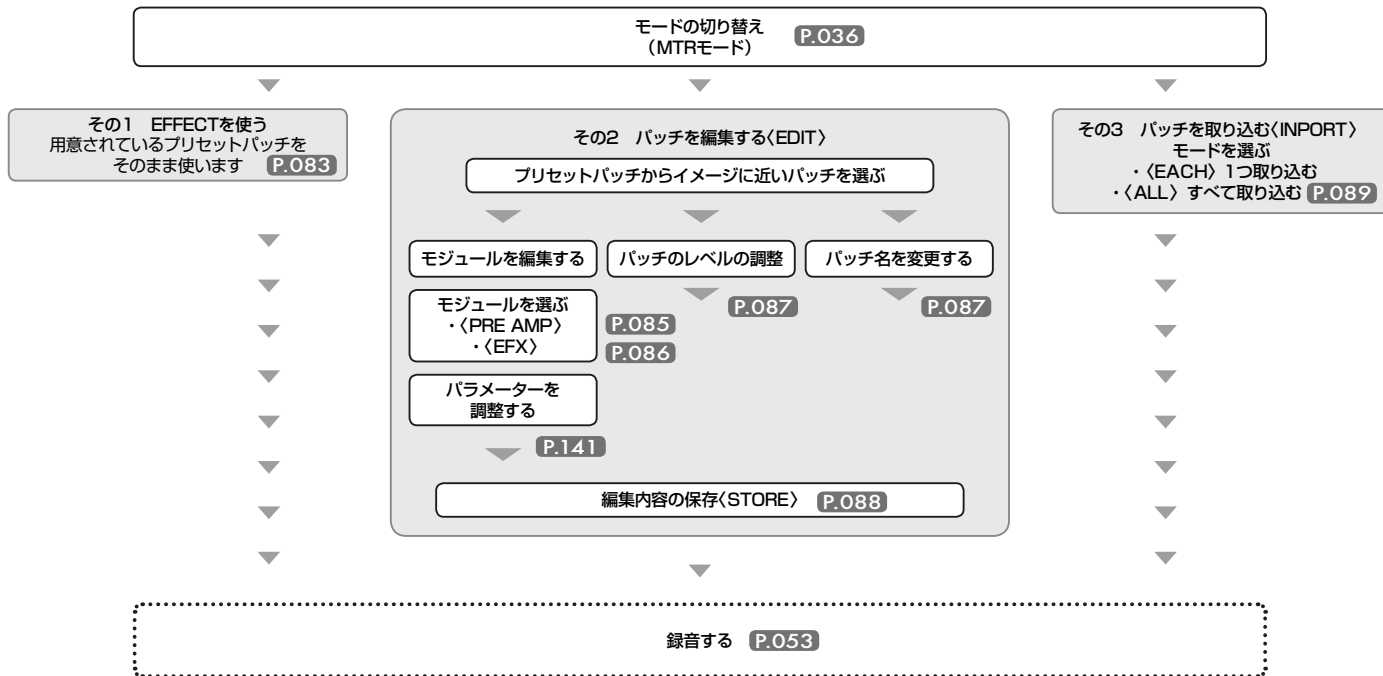
NOTE

メトロノームは録音・再生を開始したポイントを先頭に発音をスタートします。そのため曲の途中からスタートした場合に、発音ポイントが曲の構成とずれる場合がありますのでご注意ください。

3-03-1 エフェクトについて

エフェクトの使い方の流れと入力・出力などエフェクトについての概要です。

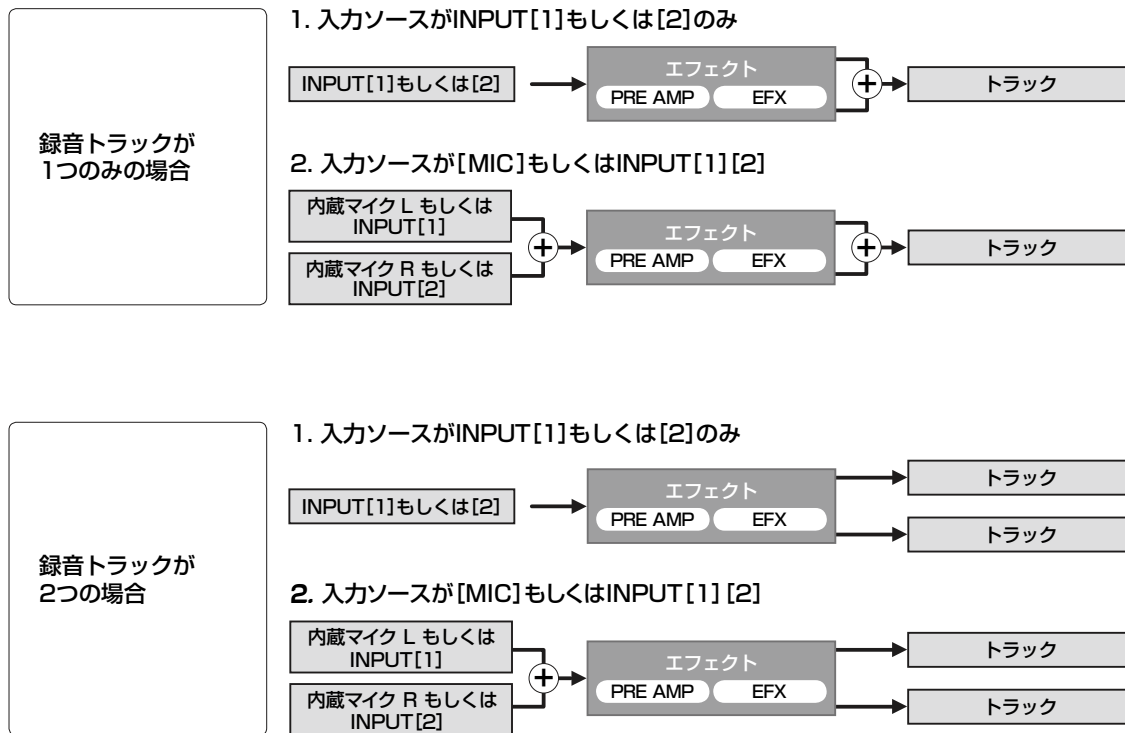
【エフェクトの流れ】



エフェクトの入出力について


MTRモードで利用できるエフェクトは、モノラル入力、ステレオ入力となっています。

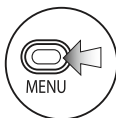
そのため入力ソースや録音トラックに応じて信号の流れが次のように変化します。



3-03-2 エフェクト 〈EFFECT〉

MTRモードでは2つのモジュールからなるエフェクトを使い、入力される信号に様々な加工や効果を加えることができます。用意されているプリセットパッチを使えば、簡単にお好みのアレンジができます。

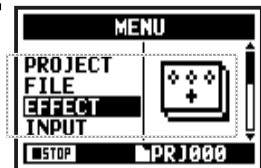
 [MENU] ボタンを2秒以上長押し、
トップ画面から始める。



1 押す



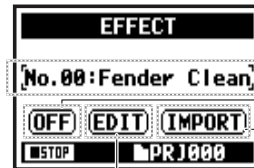
2 〈EFFECT〉を選んで押す



3 〈ON〉を押す



4 No:パッチ名を選んで押す



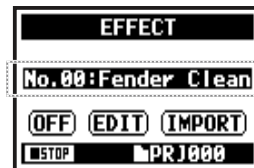
パッチナンバー：パッチ名

ON/OFF：
EFFECTのON/OFFを切り替える

IMPORT：
他のPROJECTからパッチを取り込む

EDIT：パッチの作成／編集

5 パッチを選んで押す



参照 

パッチリスト

P.141

P.147

NOTE

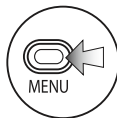
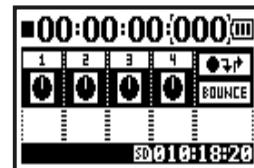
パッチ

MTRモードでは2つあるモジュールのタイプやパラメーターの設定を“パッチ”として保存しています。

利用可能な60のパッチのうち、50のパッチはあらかじめプログラムされています。

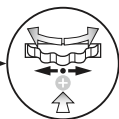


6 長押しでトップに戻る

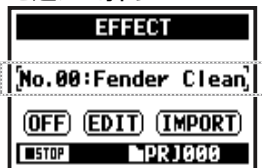


3-03-3 EFFECT <EDIT>パッチエディット

エフェクトを組みあわせてパッチを作成したり、パラメーターを調整します



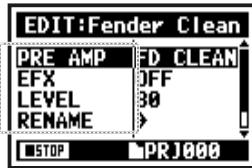
5 イメージに近いNo:パッチ名を選んで押す



6 <EDIT>を選んで押す



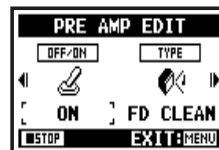
7 変更したいパラメーターを選んで押す



EDITメニュー

<PRE AMP>

ギターアンプやベースアンプの特性をシミュレートするPRE AMPモジュールの編集



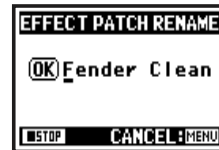
<LEVEL>

パッチの出力レベルを調整



<RENAME>

パッチ名を変更



<EFX>

コーラスなどの変調系エフェクトや、ディレイなどの空間系エフェクトを含む EFX モジュールの編集



<STORE>

編集したパッチを保存



3-03-4 EFFECT <EDIT(PRE AMP)>PRE AMPモジュールの編集

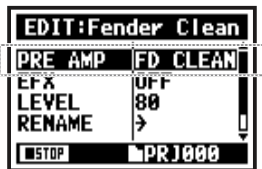
プリセットのエフェクトで、効果を好みのものにした場合には、そのパッチを編集することができます。

イメージに近いパッチを選んで<EDIT>する…P.084

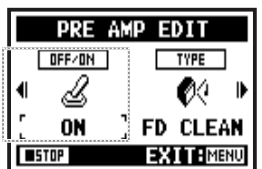
PRE AMPモジュールを編集する



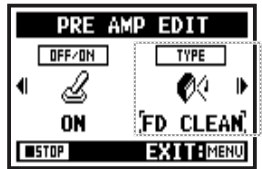
7 <PRE AMP>を押す



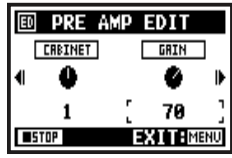
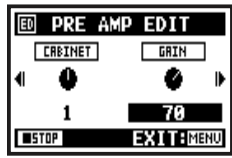
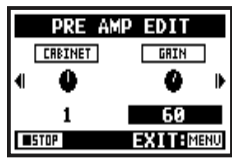
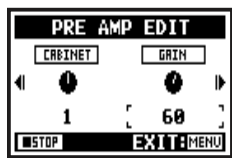
8 <ON/OFF>を押して PRE AMPモジュールをONにする




9 編集するパラメーターを選んで押す



パラメーターの編集




アイコンの説明




PRE AMPモジュール状態
ON / OFF




エフェクトタイプ：
アンプタイプを設定



CABINET, EQ, LEVEL等



ZNRアイコン

参照  PRE AMPモジュールのパラメーター P.141

3-03-5 EFFECT <EDIT(EFX)> EFXモジュールの編集

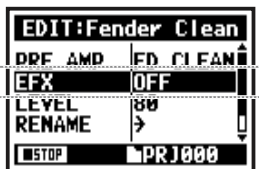
パッチの編集はイメージに近い既存のパラメーターを選んで調整します。

イメージに近いパッチを選んで<EDIT>する…P.084

EFXモジュールを編集する



7 <EFX>を選んで押す



8 <ON/OFF>を押し EFXモジュールをONにする



9 編集するパラメーターを選んで押す



EFXモジュールを編集する

HINT

PRE ANPとEFXモジュールを選択するには、モジュール状態のON/OFF をONに変えて設定します。

初期のOFFのままではパラメーターは表示されず設定できません。

OFFの場合モジュールは選択できません




アイコンの説明

EFXモジュール状態
ON / OFF

エフェクトタイプ：
エフェクトを選択する

各種パラメーター

参照  EFXモジュールのパラメーター **P.143**



3-03-6 EFFECT <EDIT (LEVEL/RENAME)>

編集したパッチのレベル調整、名前の変更を行います。



EFFECT<EDIT>...P.084

LEVEL

1 <LEVEL>を選んで押す

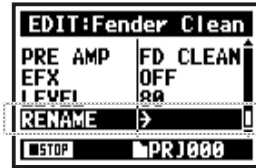



2 数字を変更して押す

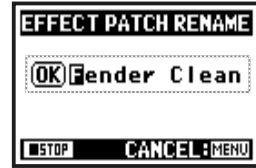



RENAME



1 <RENAME>を選んで押す



2 パッチ名を変更して押す



3 <OK>を選んで押す



NOTE

変更するとEDが表示され値が変わったことを示します。この時、<STORE>を行わず [MENU] ボタンで戻った場合、編集内容は反映されません。

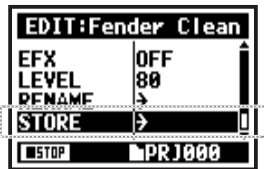
3-03-7 EFFECT <EDIT(STORE)>

EFFECT<EDIT>...P.084

ストア(保存)



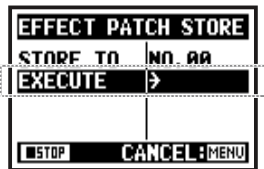
10 <STORE>を選んで押す



11 保存先のパッチナンバーを選んで押す



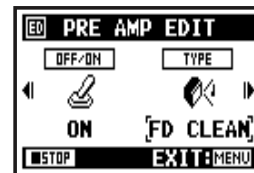
12 <EXECUTE>を選んで押す



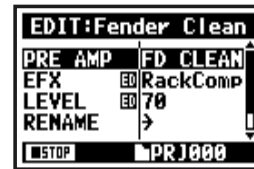
NOTE

編集された項目には[ED]が表示されます。ストアを行うまで確定されません。

ストアしていない場合
(保存していない)



ストアが確認された場合
YESを選択すると上書きされます。書き換えたくない場合は、STOREの項目から別パッチとして保存します。パッチはプロジェクトごとに保存されます。



3-03-8 EFFECT <IMPORT> 別のPROJECTからパッチを取り込む

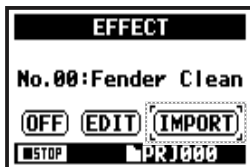
他のプロジェクトで使用しているエフェクトパッチを、現在のプロジェクトに読み込みます。

EFFECTを選ぶ…P.083<EFFECT>

<ALL>すべてのパッチを取り込む



- 1 エフェクト画面から
<IMPORT>を選んで押す



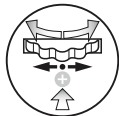
- 4 取込み先を選んで押す



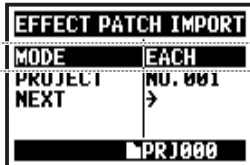
[読み込む<PROJECT>を選ぶ]



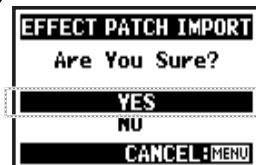
- 5 <NEXT>を選んで押す



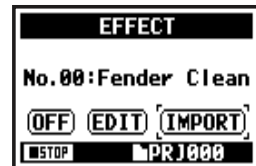
- 2 <MODE>を選んで押す



- 6 YESを選んで押す



- 3 選んで押す

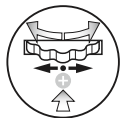


step4 で選んだプロジェクトの
パッチがすべて現在のプロジェ
クトに読み込まれる

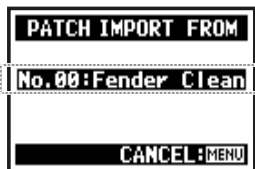
〈EACH〉1つのパッチを取り込む



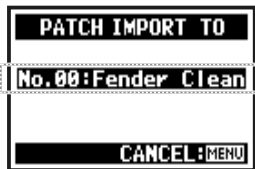
5 〈NEXT〉を選んで押す



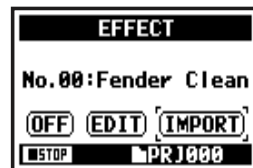
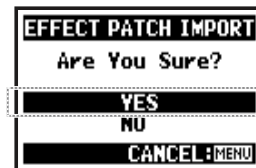
6 取込むパッチを選んで押す



7 現在のプロジェクトのどのパッチに取り込むかを選んで押す



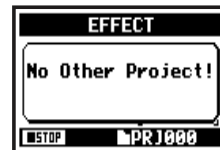
8 〈YES〉を選んで押す



step6 で選んだパッチが現在のプロジェクトに読み込まれます

NOTE

〈IMPORT〉を押した時に別プロジェクトがない場合表示されません。



HINT

- 取り込むMODE ▶
- 取り込むPROJECT ▶
- 取り込みを開始 ▶



現在のPROJECT

3-04-1 カラオケ 〈KARAOKE〉 準備

任意の音楽ファイルをカラオケにして、ボーカルやギター演奏を重ねて録音できます。

【KARAOKEの流れ】

【準備】

バックグラウンド用のステレオファイルを用意する

・KARAOKE用の新PROJECTを作る…P118

PROJECTにファイルを読み込ませる

・プロジェクトフォルダにファイルをコピーする…P037
・MOVE機能を使う…P117

【KARAOKEの設定】

(KARAOKEトラックを用意する)

1. トラックメニューアイコンを選び、TRACK MENUを開く
2. KARAOKEを(ON)にする
3. FILEを割り当てる

【KARAOKEトラックの調整】

- ・LEVEL
- ・CENTER CANCEL
- ・KEY
- ・FINE

【KARAOKEをする】

4. マイクを接続する
5. 録音するトラックを設定
6. 録音状態にする

- ・再生する
- ・録音する

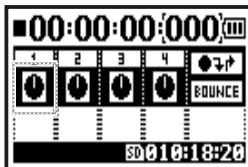


【MENU】ボタンを2秒以上長押し、トップ画面から始める。

KARAOKEトラックを用意する



- 1 トラックメニューアイコンを選んで押す



- 2 〈KARAOKE〉を選んで押す



- 3 〈ON〉を選んで押す



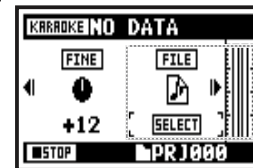
KARAOKEトラックに任意のファイルを割り当てる



- 4 トラックメニューアイコンを選んで押す



- 5 〈FILE〉を選んで押す



- 6 任意のファイルを選んで押す

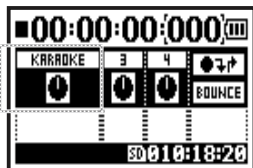


次のページへ続く

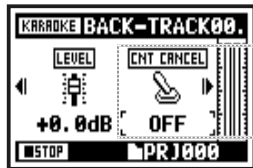
KARAOKEトラックをセンターキャンセルする



7 トラックメニューアイコンを選んで押す



8 〈CNT CANCEL〉を選んで押す



9 〈ON〉を選んで押す



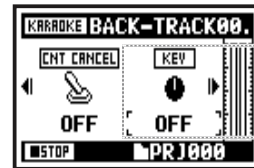
KARAOKEトラックのキーを変える



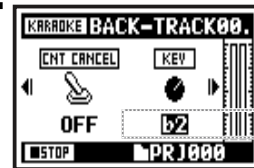
10 トラックメニューアイコンを選んで押す



11 〈KEY〉を選んで押す

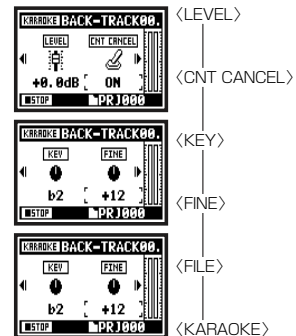


12 調節して押す



HINT

KARAOKEトラックは、通常のTRACK MENUと内容が異なります。

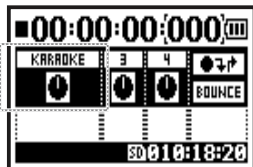


3-04-2 カラオケ 〈KARAOKE〉 録音

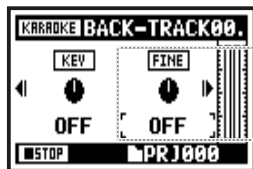
KARAOKEトラックのキーを微調整する



13 トラックメニューアイコンを選んで押す



14 〈FINE〉を選んで押す



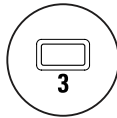
15 調節して押す



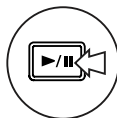
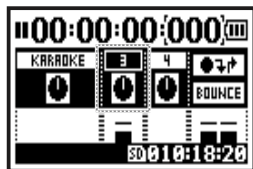
KARAOKEで録音

1 マイクを接続する

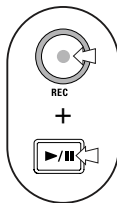
接続した入力端子に対応する
INPUTボタンを押してください



2 トラックを選んで押す



3 【練習（録音なし）】
押す



4 【録音開始】
[REC]ボタンを押して
録音待機状態にしてから
[PLAY/PAUSE]ボタン
を押して録音開始します

NOTE

〈EFFECT〉との併用はできません。

参照 

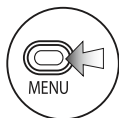
〈TRACK MENU〉 P.057

4-01 再生 ファイルの再生(ステレオモード・4CHモード・スタミナモード)



録音直後は[PLAY/PAUSE]ボタンを押すと、そのファイルを再生することができます。
後でファイル呼び出して再生する場合は、次の操作をします。

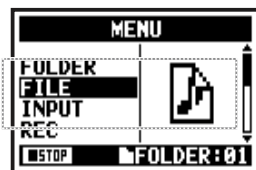
STEREO 4 CH STAMINA [MENU] ボタンを2秒以上長押し、
トップ画面から始める。



1 押す



2 <FILE>を選んで押す



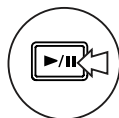
ショートカット
トップ画面から
TRACK [2] 押す



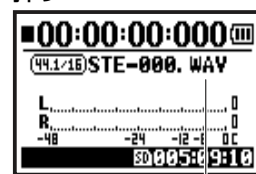
3 再生したいファイルを選
んで押す



4 <SELECT>を選んで押す



5 【再生開始】
押す



ショートカット
トップ画面から
フォルダ内の
ファイルを選択する



—ファイル名を確認

HINT

- ・トップ画面からTRACK [2] ボタンを押すことで、step3の画面へ直接移動できます。また、このときにファイルを選んで[PLAY/PAUSE]ボタンを押すと、選択したファイルがすぐに再生を始めます。
- ・フォルダ内のファイルは、トップ画面から[DIAL]で直接選択できます。

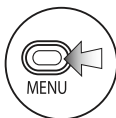
参照

<FILE SELECT> P.104

4-02 再生 〈PLAY MODE〉



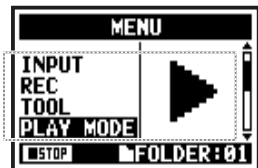
通常の再生以外に、1ファイルのみ再生、1ファイルをリピート再生、全ファイルのリピート再生を選ぶことができます。



1 押す



2 〈PLAY MODE〉を選んで押す

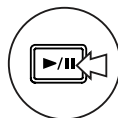


3 選んで押す



PLAY ALL	フォルダ内の全ファイルを再生
PLAY ONE	1ファイルのみ再生
REPEAT ONE	1曲のみ繰り返し再生
REPEAT ALL	フォルダ内の全ファイルを再生

設定したいモードを選ぶ



4 【再生開始】
押す



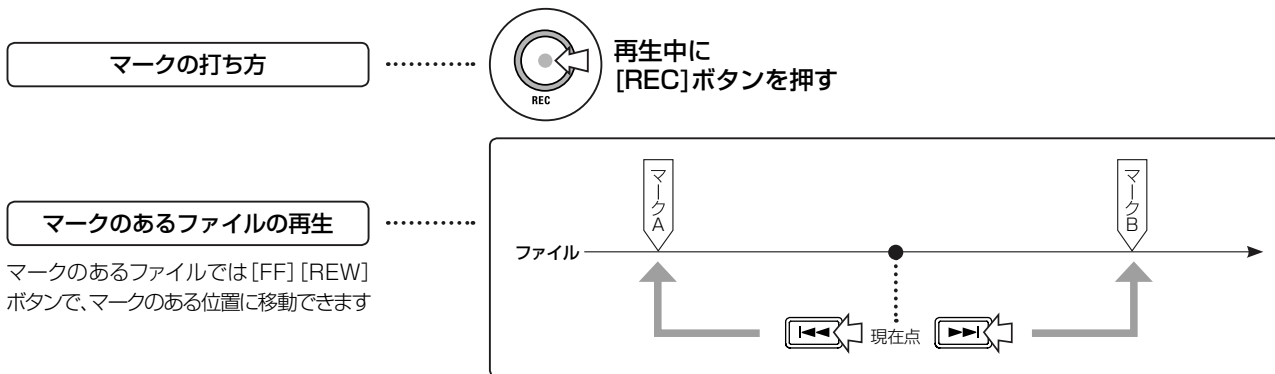
NOTE

録音・再生などの操作中は設定できません。

4-03 再生 マークの設定




ファイルの再生中に、任意の地点に印(マーク)を打つことができます。
再生時にその場所に移動しやすくなります。



NOTE

- ・マークはファイルがWAVフォーマットの場合のみ有効です。
- ・1つのファイルにつけることのできるマークは、最大99個です。
- ・一度打ったマークを消去することはできません。

HINT

- ・録音中に [REC] ボタンを押してもマークを打つことができます。 
- ・ファイル内のマークの有無は、〈MARK LIST〉で確認することができます。

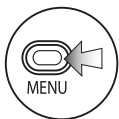
参照  〈MARK LIST〉

P.115

4-04 再生 〈AB REPEAT〉

ファイルに開始点Aポイントと終止点Bポイントを設定し、この2点間を繰り返し再生します。

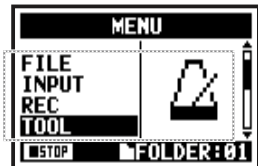
STEREO 4CH [MENU] ボタンを2秒以上長押し、
トップ画面から始める。



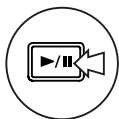
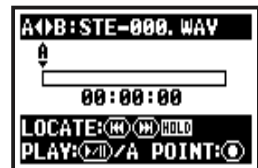
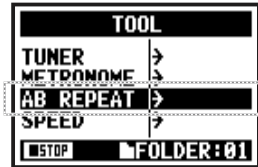
1 押す



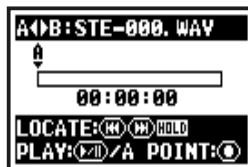
2 〈TOOL〉を選んで押す



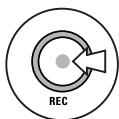
3 〈AB REPEAT〉を選んで押す



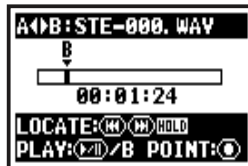
4 [再生] 押す



Aが移動



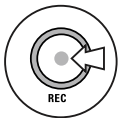
5 [Aポイントを設定] 押す



Aを設定、Bを表示し移動開始



Bが移動



6 [Bポイントを設定] 押す



リピート開始

HINT

Aポイント、Bポイントは停止中にも設定できます。

NOTE

録音・再生中はstep3<AB REPEAT>以降の設定はできません。

HINT



または

[FF][REW]ボタンでファイル内を移動する場合、ボタンを押す時間が短いとフォルダ内の次のファイルに移動しますので、ご注意ください。

(マークがあるファイルはマークの場所へ移動します)

長押しで
移動可能


AB 地点を設定後、もう一度 [REC] ボタンを押すと、設定をすべて取消することができます。

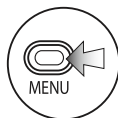
<AB REPEAT>中ボタン操作

A・Bポイントの決定/クリア	
停止	
ファイルの再生/一時停止	
長押し(1秒以上)で早送り/巻き戻し	
単発押しで前後のファイルへ移動 (マークがあるファイルはマークの場所へ移動)	

4-05 再生 〈SPEED〉

ファイルの再生速度を調節できます。

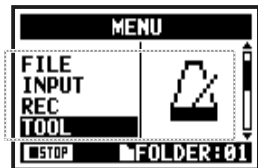
 [MENU] ボタンを2秒以上長押し、
トップ画面から始める。



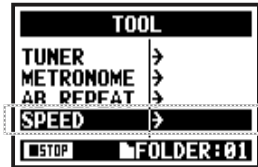
1 押す




2 〈TOOL〉を選んで押す



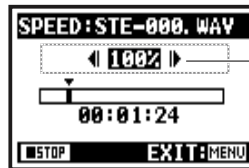
3 〈SPEED〉を選んで押す



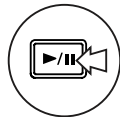
ショートカット
トップ画面から
TRACK  押す
3



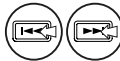
4 再生速度を調整する



再生速度は50%~
150%の間を5%単位で
設定



or



5 [再生開始]
押す



NOTE

・録音・再生中はstep3(SPEED)以降の設定はできません。

HINT

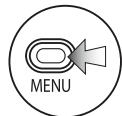
- ・各モードのトップ画面でTRACK[3]ボタンを押すことで、すばやくこのメニューに移動することができます。
- ・再生速度は50%~150%の間を5%単位で設定できます(初期値は100%)。
- ・[FF] [REW] ボタンで再生位置を移動することができます。

4-06 再生 (MIXER)

4CHモードの2つのステレオファイルに対し、レベルとパンをミキシングして再生できます。



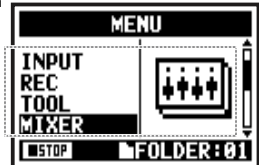
[MENU] ボタンを2秒以上長押し、
トップ画面から始める。



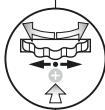
1 押す



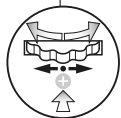
2 <MIXER>を選んで押す



<LEVEL>の設定



MUTE
-48.0dB~+12.0dB
初期値は+0.0dB



設定後はアイコンで確認

設定中のファイル

カーソル位置があるパラメーター
の名称と設定値

フェーダーアイコン

パンポッド
アイコン

設定するパラメーター
を示すカーソル

<PAN>の設定



L100 ~ C ~ R100
初期値はCENTER

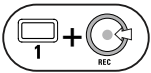
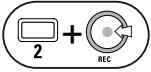
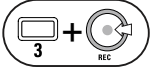
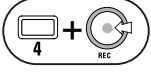

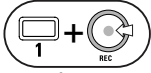
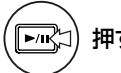
HINT

MIXER画面の移動は、
[MIC] LEVEL ⇄ [MIC] PAN
⇄ [INPUT] LEVEL ⇄ [INPUT]
PANの繰り返しです。

4-07 再生 ファイルの再生(MTRモード)


MTRモードでは録音モードによってファイルの作り方が違ったり、トラックごとに任意のファイルを割り当てて同時に再生するなど、再生方法も多様になります。

操作編 / 再生 / ファイルの再生(MTRモード)

		TRACK [1]	[2]	[3]	[4]
最初のトラックの録音	 押す	REC TRK1-00.wav	NO FILE	NO FILE	NO FILE
次のトラックの録音	 押す	PLAY	REC TRK2-00.wav	NO FILE	NO FILE
3番目のトラックの録音	 押す	PLAY	PLAY	REC TRK3-00.wav	NO FILE
最後のトラックの録音	 押す	PLAY	PLAY	PLAY	REC TRK4-00.wav
4トラックを再生	 押す	PLAY TRK1-00.wav	PLAY TRK2-00.wav	PLAY TRK3-00.wav	PLAY TRK4-00.wav
トラックに2回目の録音	 押す	REC TRK1-00.wav OVER WRITE ▶ TRK1-01.wav ALWAYS NEW ▶	PLAY TRK2-00.wav	PLAY TRK3-00.wav	PLAY TRK4-00.wav
再生	 押す	PLAY Guitar.wav	PLAY Bass.wav	PLAY TRK3-01.wav	PLAY TRK4-01.wav


任意のファイルを割りあて

※TRACKを1つずつ使用した場合

参照  <TRACK MENU> P.057

4-08 再生 カウンターで時間を指定

MTRモードでは録音時間や、経過時間を表すカウンターを使って、任意の時間を指定することができます。

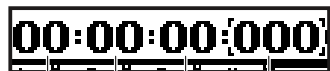
 [MENU] ボタンを2秒以上長押し、
トップ画面から始める。



- 1** トップ画面で
カウンターの数字を
選んで押す



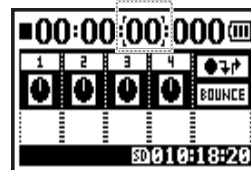
HINT



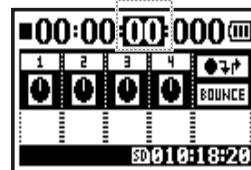
h/時 : m/分 : s/秒 : ms/ 1/100秒



- 2** [(時:分:秒:ミリ秒)を設定する]
動かす数字を選んで押す



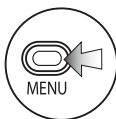
- 3** 数字を変えて押す



5-01 編集・出力 〈FOLDER SELECT〉



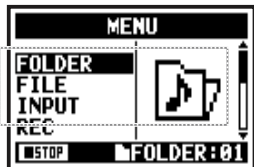
録音結果や再生対象ファイルを収めるフォルダを選びます。



1 押す



2 〈FOLDER〉を選んで押す



ショートカット
トップ画面から
TRACK [1] 押す



3 任意のフォルダを選んで押す



現在選ばれているフォルダ

NOTE

- ・録音・再生等の操作中は設定できません。
- ・フォルダはステレオモード/スタミナモードと4CHモードで個別に10個の中から選択できます。

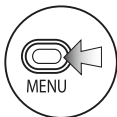
HINT

トップ画面からTRACK [1] ボタンを押すことで、step3の画面へ直接移動できます。

5-02 編集・出力 〈FILE SELECT〉



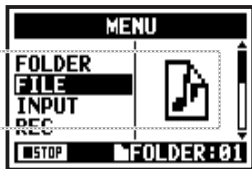
再生したいファイルを一覧から選択することができます。



1 押す



2 〈FILE〉を選んで押す



ショートカット
トップ画面から
TRACK [2] 押す



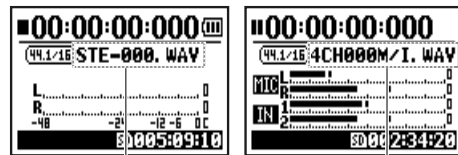
3 任意のファイルを選んで押す



▶ ここまで、〈FILE〉
各操作共通



4 〈SELECT〉を選んで押す



ファイル名を確認

HINT

- ・フォルダ内のファイルは、トップ画面から[DIAL]で直接選択できます。
- ・トップ画面からTRACK[2]ボタンを押すことで、step3の画面に直接移動できます。

5-03 編集・出力 〈FILE INFORMATION〉



選択したファイルの情報を表示します。

ファイルを選ぶ…P.104〈FILE SELECT〉



4 〈INFORMATION〉を選んで押す



NAME	ファイルの名前
DATE	ファイルが録音された日付(パソコンや他の機種で作成されたファイルの場合はそのファイルの更新日付)
FORMAT	ファイルのフォーマット *MTRモードの場合は、MONOかSTEREOかの表示
SIZE	ファイル容量(kBまたはMB)
TIME	ファイルの録音時間

5-04 編集・出力 〈FILE DELETE〉



選択したファイルを削除します。

ファイルを選ぶ…P.104〈FILE SELECT〉



4 〈DELETE〉を選んで押す



5 〈YES〉を選んで押す



削除するファイル

NOTE

一度消去したファイルは復旧できませんのでご注意ください。

5-05 編集・出力 〈FILE DELETE ALL〉



フォルダやプロジェクト内のすべてのファイルを削除します。

ファイルを選ぶ…P.104〈FILE SELECT〉



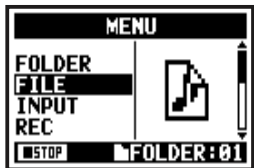
4 〈DELETE ALL〉を選んで押す



5 〈YES〉を選んで押す



ファイルを削除するフォルダやプロジェクト名




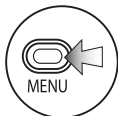
NOTE

一度消去したファイルは復旧できませんのでご注意ください。

5-06 編集・出力 <FILE(COPY)>

MTRモードでは、ファイルをコピーし同じプロジェクト内にコピーを作成することができます。
上書き録音で失敗できない場合など、コピーを残しておきたい時に便利です。

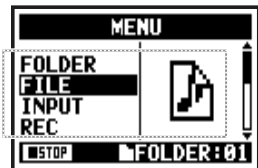
 [MENU] ボタンを2秒以上長押し、
トップ画面から始める。



1
押す



2 <FILE>を選んで押す



3 選んで押す



4 <COPY>を選んで押す

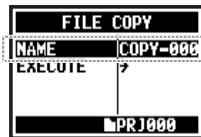


5 <EXECUTE>を選んで押す



HINT

FILE NAME を変える 作成されるコピーファイルのファイル名は、COPY-×××
です。必要に応じて変更することができます。



参照 
<FILE RENAME>
P.109

5-07 編集・出力 〈FILE RENAME〉

ステレオモード・MTRモード・スタミナモードではファイルの名前を変更することができます。

※4CHモードで録音されたファイルは変更できません。

ファイルを選ぶ…P.104〈FILE SELECT〉



4 〈RENAME〉を選んで押す



6 【文字の入力】
選ぶ



[DIAL]で文字を
選ぶ



5 【文字ごとに変更】
選んで押す



変更したい文字を
選ぶ



7 押す



[DIAL]を押すと
変更が確定



[DIAL]を押すと
文字が反転



8 〈OK〉を選んで押す



HINT

12文字以上の時の表示

ファイル名が12文字以上ある時は、図のように三角マークが表示され、画面外に選択可能な文字があることを示します。



文字変換時の表示順序

文字変換時は次の順序で表示されます。


(スペース)!#\$%&'(+
 ,-0123456789;=@
 ABCDEFGHIJKLMNO
 PQRSTUVWXYZ[]^_
 abcdefghijklmnopqrst
 uvwxyz{|}~

NOTE

同一フォルダ内に同じ名前があった場合、右の画面が表示され、元の画面に戻ります。違う名前を設定し直してください。



5-08 編集・出力 <FILE MP3 ENCODE>

ステレオモードのみ 

ステレオモードではWAVファイルをMP3フォーマット(任意のビットレート)にエンコードできます。

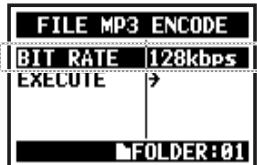
ファイルを選ぶ…P.104<FILE SELECT>



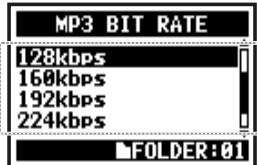
4 <MP3 ENCODE>を選んで押す



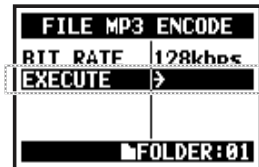
5 <BIT RATE>を選んで押す



6 ビットレートを選んで押す

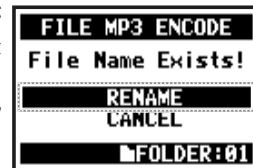


7 <EXECUTE>を選んで押す



HINT

- ・エンコード後のファイル名は、自動的に“元のファイル名.mp3”となりフォルダ内に追加されます。
- ・同一フォルダ内に同じ名前があった場合、下の画面が表示されますので、<RENAME>を選択し、違う名前を設定し直してください。



選択可能な
ビットレート
単位：kbps

48, 56, 64, 80, 96, 112, 128, 160, 192,
224, 256, 320, VBR 初期値は128kbps

参照  <FILE RENAME>

P.109

5-09 編集・出力 〈FILE NORMALIZE〉



録音が思ったほど大きな音で入力されていなかった場合に、ファイルの最大レベルのサンプルが0dBになるように自動調整します。

ファイルを選ぶ…P.104〈FILE SELECT〉



4 〈NORMALIZE〉を選んで押す



5 〈YES〉を選んで押す



NOTE

〈NORMALIZE〉機能は、ファイル形式がWAVフォーマットの場合のみ有効です。

5-10 編集・出力 〈FILE STEREO ENCODE〉

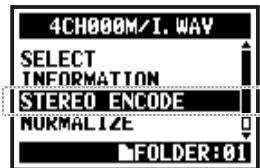
4CHステレオのWAVファイルをステレオファイルへとエンコードします。
エンコードしたファイルはステレオモードのフォルダに保存します。

ファイルを選ぶ…P.104〈FILE SELECT〉

〈STEREO ENCODE〉を選ぶ



4 〈STEREO ENCODE〉を選んで押す

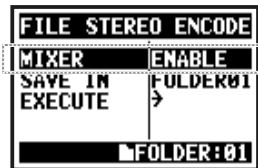


〈MIXER〉を設定する

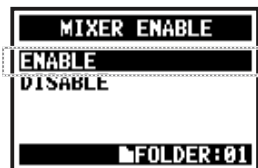
エンコード時にMIXERの設定を有効にするかどうか選択



5 〈MIXER〉を選んで押す



6 選んで押す



参照

〈MIXER〉 P.100

ENABLE MIXER設定を有効にする

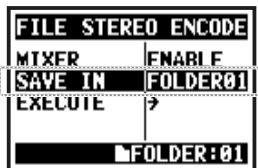
DISABLE 設定無効=2つのファイルを1:1でミックス

保存先を選ぶ

エンコードしたファイルを保存する
ステレオモードのフォルダを選択



7 <SAVE IN>を選んで押す



8 保存先フォルダを選んで押す



実行する

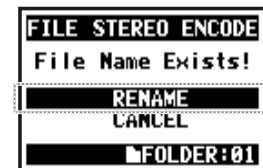


9 <EXECUTE>を選んで押す



HINT

保存先のステレオモードフォルダ内に同じ名前があった場合、右の画面が表示されますので、<RENAME>を選択し、違う名前を設定し直してください。



エンコードされたファイルは、指定したフォルダに保存されます。
自動的につけられるファイル名は4CHファイル名にあるM/IがMIXに変更されたものです。

参照

<FILE RENAME> P.109

5-11 編集・出力 〈MARK LIST〉



WAVファイルに記したマークのリストを一覧できます。

ファイルを選ぶ…P.104〈FILE SELECT〉



4 〈MARK LIST〉を選んで
押す



音飛びが発生したことを示す

ユーザーが記したマーク

NOTE

録音中に万が一音飛びが生じた場合、H4n Proはその位置に自動的にマークを打ちます。

HINT

該当ファイルにマークが打たれていない場合は、右の表示がです。



SDカードの音飛びについて

SDカードに録音データを転送する処理スピードが間に合わない時にファイルに音飛びが生じることがあります。モードや〈REC FORMAT〉の種類、SDカードの種類の違いで処理スピードが異なり、処理が軽いと音飛びしにくくなり、重いと言

	ステレオモード	4CHモード
重い ▲	WAV96kHz/24bit WAV96kHz/16bit	WAV48kHz/24bit WAV44.1kHz/24bit WAV48kHz/16bit WAV44.1kHz/16bit
▼ 軽い	WAV48kHz/24bit WAV44.1kHz/24bit WAV48kHz/16bit WAV44.1kHz/16bit	MP3

飛びしやすくなります。音飛びが発生した時は、〈REC FORMAT〉をより軽いものに変更してください。

参照

〈REC FORMAT〉 P.049
マークの設定 P.096

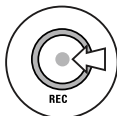
5-12 編集・出力 <DIVIDE>

ステレオモードでは、ファイルを任意の位置で2つに分割できます。

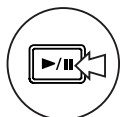
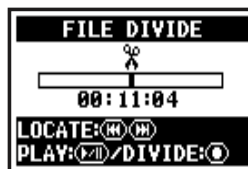
ファイルを選ぶ…P.104<FILE SELECT>



4 <DIVIDE>を選んで押す

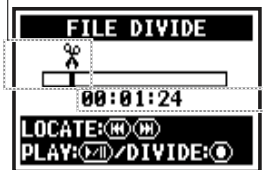


6 【分割位置】
分割したい場所で押す



5 【ファイルを再生する】
押す

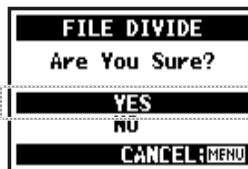
ファイル中の現在の位置



ファイル中の現在の時間



7 <YES>を選んで押す



<DIVIDE>中のボタン操作

ファイル分割	
再生 / 一時停止	
早送り / 巻き戻し (長押し1秒以上)	
1秒づつ移動 マークがあるファイルは マークの場所に移動 (単発押し)	

HINT

実行後は分割地点より前のファイルは末尾に「A」、後ろのファイルには「B」が付きます。



5-13 編集・出力 〈MOVE〉



ファイルを他のフォルダやモードに移動する場合に使います。

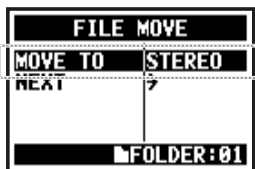
ファイルを選ぶ…P.104〈FILE SELECT〉



4 〈MOVE〉を選んで押す



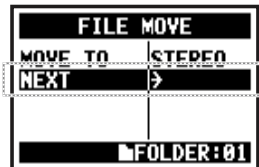
5 〈MOVE TO〉を選んで押す



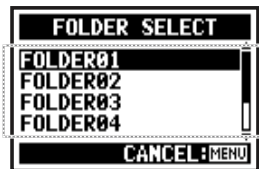
6 移動先を選んで押す



7 〈NEXT〉を選んで押す



8 フォルダまたはプロジェクトを選んで押す



参照
 〈NEW PROJECT〉 P.118
 〈FILE RENAME〉 P.109

NOTE

移動できるファイルフォーマット

- ・ステレオフォルダへはステレオファイルにのみ移動できます (モノラルファイルは移動できません)。
- ・4CHフォルダには4CHファイルのみ移動できます。
- ・MTRプロジェクトへは、44.1kHz/16bitのみ移動できます (他のフォーマットのファイルを移動させようとすると下のメッセージが表示されます)。



MTRプロジェクトへの移動

- ・MTRモードへの移動は、あらかじめプロジェクトが用意されていないと実行できません (プロジェクトが存在しない場合下のメッセージが表示されます)。



5-14 編集・出力 <NEW PROJECT>

MTRモードでオーディオトラックやエフェクト設定など、曲を扱う単位をプロジェクトとして扱います。ここでは、そのプロジェクトを新たに作成する手順を説明します。



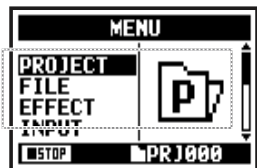
[MENU] ボタンを2秒以上長押し、
トップ画面から始める。



1 押す



2 <PROJECT>を押す



3 <NEW PROJECT>を選んで押す



4 <EXECUTE>を選んで押す



HINT

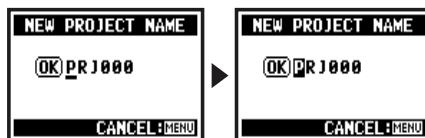
新たに作るプロジェクトの名前を変更する



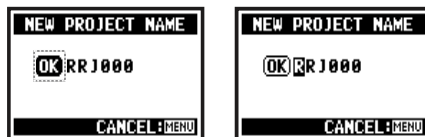
<NAME>を押す



変更する文字を選んで押す



<OK>を選んで押す



プロジェクトの数

プロジェクトは最大1000個まで作成できます。また各プロジェクトの名前は最大8文字までです。

(スペース)!"#\$%&'()*+,-./0123456789;<=>?@
ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ[\]^_`abcd
efghijklmnopqrstuvwxyz{|}~`

文字選択時は上の順序で表示されます

プロジェクト番号

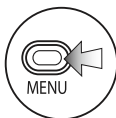
- ・プロジェクト番号は、H4n Proが若い番号順に自動でつけています。
- ・プロジェクト番号の変更はできません。
- ・同じ名前を複数のプロジェクトに使用することができます。

5-15 編集・出力 〈PROJECT(SELECT)〉

SDカードに保存されている他のプロジェクトを読み込みます。



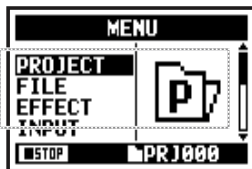
[MENU] ボタンを2秒以上長押し、
トップ画面から始める。



1 押す



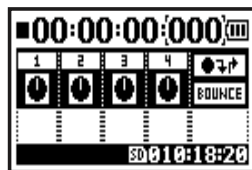
2 〈PROJECT〉を押す



3 〈SELECT〉を選んで押す




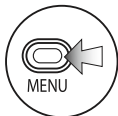
4 使用するプロジェクトを選んで押す



5-16 編集・出力 〈PROJECT(DELETE)〉

任意のプロジェクトを削除します。

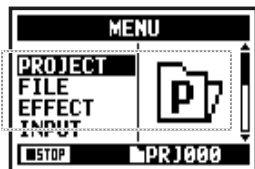
 [MENU] ボタンを2秒以上長押し、
トップ画面から始める。



1
押す



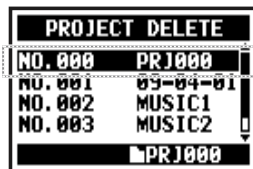
2 〈PROJECT〉を押す



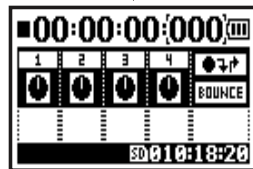
3 〈DELETE〉を選んで押す



4 削除するプロジェクトを
選んで押す



5 〈YES〉を選んで押す



NOTE

一度削除したプロジェクトは
復旧できませんのでご注意
ください。

HINT


プロジェクトがかかっているプ
ロジェクトは削除できませ
ん。プロジェクトを解除して
から削除の操作をしてくだ
さい。

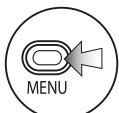
参照

〈PROJECT〉 P.125

5-17 編集・出力 <PROJECT(RENAME)>

プロジェクト名は変更することができます。

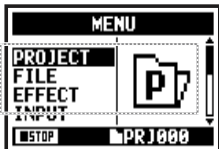
 [MENU] ボタンを2秒以上長押し、
トップ画面から始める。



1
押す



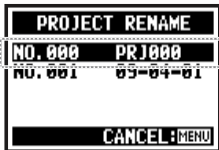
2 <PROJECT>を押す



3 <RENAME>を選んで押す



4 名前を変更するプロジェクト
を選んで押す



5 変更する文字を選んで押す



6 文字を変更して押す



7 <OK>を選んで押す



HINT

プロジェクト番号

- ・プロジェクト番号は、H4n Proが
若い番号順に自動でつけています。
- ・プロジェクト番号の変更はでき
ません。
- ・同じ名前を複数のプロジェクト
に使用することができます。


文字変換時の表示順序 文字変換時は次の順序で表示されます。

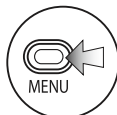
(スペース)!"#\$%&'()*+,-./0123456789;<=>?@ABCDEFGHIJKL
MNOPQRSTUVWXYZ[]^_`abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{|}~`

5-18 編集・出力 〈PROJECT(COPY)〉

現在のプロジェクトをコピーし、新しい番号のプロジェクトを作成します。

対象プロジェクトを選んで始める…P.119

 [MENU] ボタンを2秒以上長押し、
トップ画面から始める。



1
押す



2 〈PROJECT〉を選んで押す



3 〈COPY〉を選んで押す



4 〈EXECUTE〉を選んで押す



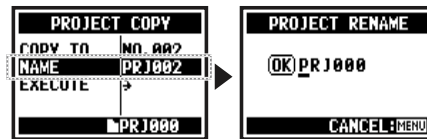
HINT

コピー先となるプロジェクト番号を変更する



現在使用していない番号
のプロジェクト番号が表示
されます。

コピー後のプロジェクト名を変更する



参照  〈PROJECT(RENAME)〉 P.121

5-19 編集・出力 〈PROJECT(BOUNCE)〉

MTRモードの現在のミックス結果を、モノラルまたはステレオの1ファイルにまとめることができます。

対象プロジェクトを選んで始める…P.119

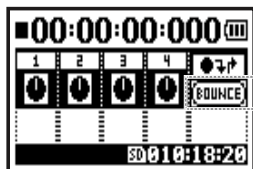


[MENU] ボタンを2秒以上長押し、
トップ画面から始める。

〈BOUNCE〉を選ぶ



1 トップ画面から
〈BOUNCE〉を選んで押す



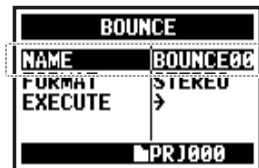
バウンスアイコン



バウンス先のファイル名を決める ※変更しない場合は次へ進む→



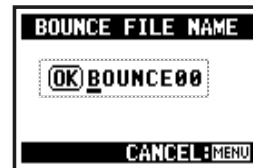
2 〈NAME〉を選んで押す



変更しない場合、BOUNCE××と
いうファイル名が自動的につきます



3 名前を変更する



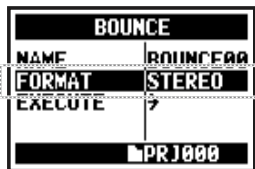
参照 〈FILE RENAME〉

P.109

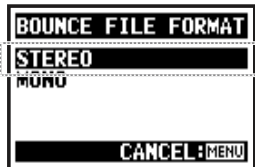
出力するタイプを選ぶ



4 <FORMAT>を選んで押す



5 ファイルタイプを選んで押す



STEREO	ステレオファイル
MONO	モノラル

実行する

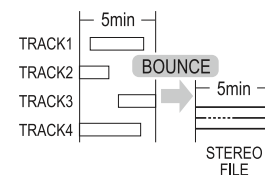


6 <EXECUTE>を選んで押す



HINT

バウンスとは、いくつかのトラックやファイルに分かれた音楽データを、ステレオやモノラルのファイルにまとめることを言います。



バウンスを行うと、同じプロジェクト内に新しいファイルとして作成されます。

NOTE

録音・再生等の操作中は設定できません。

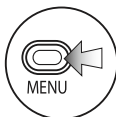
5-20 編集・出力 <PROJECT(PROTECT)>

プロジェクトにプロテクトを設定すると、トラックの割り当てやファイルの変更などを制限を現在のプロジェクトに対して行います。

対象プロジェクトを選んで始める…P.119



[MENU] ボタンを2秒以上長押し、
トップ画面から始める。



1
押す



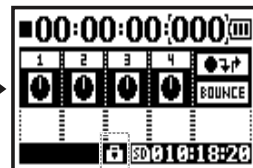
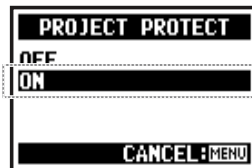
2 <PROJECT>を選んで押す



3 <PROTECT>を選んで押す



4 <ON>選んで押す



プロテクトされたプロジェクト

NOTE

トラックに割り当てられたファイルの変更を行おうとすると、右のようなメッセージ画面が表示されます。



HINT

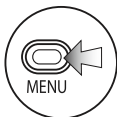
プロテクトは完成した楽曲などに、誤って設定を変更することを防止する時に使用します。

6-01 ユーティリティ 〈DISPLAY BACK LIGHT〉



ディスプレイのバックライトの点灯時間を設定します。

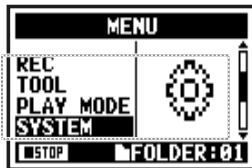
【MENU】 ボタンを2秒以上長押し、トップ画面から始める。



1
押す



2 〈SYSTEM〉を選んで押す



3 〈BACK LIGHT〉を選んで押す



4 選んで押す



OFF	常時消灯
ON	常時点灯
15sec	最後のキー操作から15秒間点灯
30sec	最後のキー操作から30秒間点灯

※初期値は15sec

NOTE

録音・再生等の操作中には設定できません。

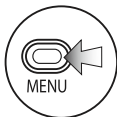
6-02 ユーティリティ 〈MEMORY REC〉

SDカードがなくても内蔵メモリに最大35秒録音できます。
ボイスメモ等の用途に最適です。

録音モードの切り換え



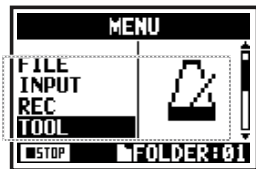
SDカードがない状態で [MENU] ボタンを
2秒以上長押し、トップ画面から始める。



1
押す



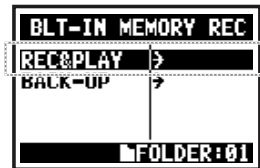
2 〈TOOL〉を選んで押す



3 〈MEMORY REC〉を選んで押す



4 〈REC&PLAY〉を選んで押す



MEMORY REC モードに切り替わる

内蔵メモリに録音する / 再生する 録音する P.047
再生する P.094

NOTE

録音できるのは最長35秒で、1ファイルのみです。そのため録音するたびに新しい内容に上書きされますので、ご注意ください。

録音した内容をSDカードに移動する

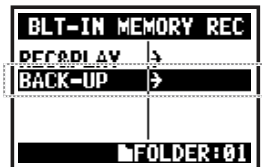


SDカードを挿入した後 [MENU] ボタンを2秒以上長押し、トップ画面から始める。

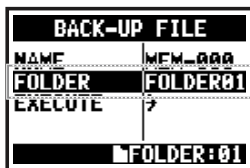
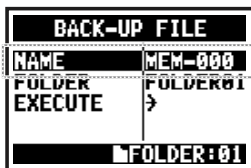
〈BLT-IN MEMORY REC〉画面を表示する…P.127



1 〈BACKUP〉を選んで押す



2 ファイル名を変更したいときは〈NAME〉を、移動先フォルダを変更したいときは〈FOLDER〉を選択する

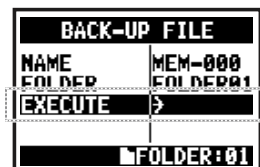


HINT

移動先フォルダはステレオモードのフォルダとなります。



3 〈EXECUTE〉を選んで押す



NOTE

移動先に同じ名称のファイルが既に保存されていた場合は、名称変更するかキャンセルするかを選択する画面が表示されます。



4 確認画面が表示されるので、よければ〈YES〉を選択して押す



ファイルがSDカードに移動し、内蔵メモリから消去されます。

6-03 ユーティリティ 〈DISPLAY CONTRAST〉

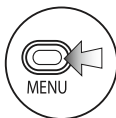


ディスプレイのコントラストを調節します。





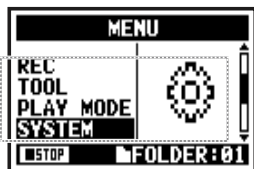
 [MENU] ボタンを
2秒以上長押し、
トップ画面から始める。



1
押す



2 〈SYSTEM〉を選んで押す



3 〈CONTRAST〉を選んで押す



4 数字を変更して押す



※8段階で調節可能。数字が大きくなるほどコントラストも強くなります

1	弱 薄くなる
↑	↑
8	強 濃くなる
↓	↓

※初期値は 5

NOTE

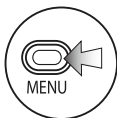
録音・再生等の操作中には設定できません。

6-04 ユーティリティ 〈BATTERY TYPE〉



ご使用になる電池の種類を設定することで、電池残量を正しく表示できるようになります。

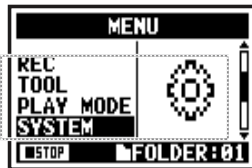
[MENU] ボタンを2秒以上長押し、トップ画面から始める。



1 押す



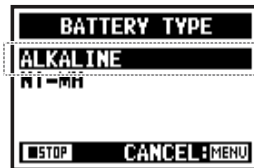
2 〈SYSTEM〉を選んで押す



3 〈BATTERY〉を選んで押す



4 使用する電池を選んで押す



ALKALINE	アルカリ電池
Ni-MH	ニッケル水素充電電池

※初期設定はALKALINE

NOTE

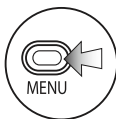
使用できる電池

アルカリ電池、またはニッケル水素充電電池をご使用ください。
・録音・再生等の操作中は設定できません。

6-05 ユーティリティ 〈VERSION〉



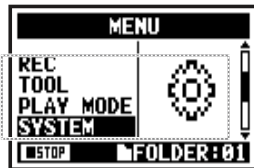
起動後にH4n Proの本体バージョンを確認できます。



1
押す



2
〈SYSTEM〉を選んで押す



3
〈VERSION〉を選んで押す



本体システムの
バージョン

ブートプログラムの
バージョン

NOTE

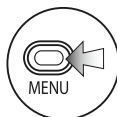
・録音・再生等の操作中は設定
できません。

6-06 ユーティリティ 〈FACTORY RESET〉



H4n Proの設定を工場出荷状態に戻します。

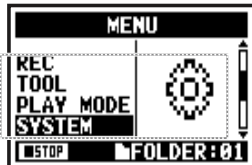
[MENU] ボタンを2秒以上長押し、トップ画面から始める。



1
押す



2 〈SYSTEM〉を選んで押す



3 〈FAC RESET〉を選んで押す



4 〈YES〉を選んで押す



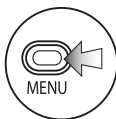
NOTE

- ・録音・再生等の操作中は設定できません。
- ・〈FACTORY RESET〉を行うと、本機に保存されていた設定がすべてキャンセルされ、出荷状態の設定に戻りますのでご注意ください。

6-07 ユーティリティ 〈REMAIN〉



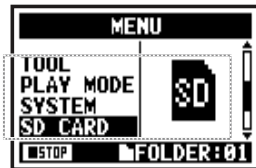
SDカードの残量を確認することができます。



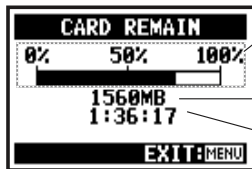
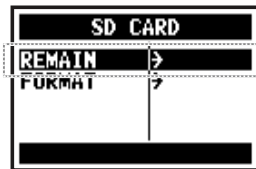
1
押す



2 〈SD CARD〉を選んで押す



3 〈REMAIN〉を選んで押す



使用容量の目安

残り容量(MB)

現在の録音フォーマットでの録音可能時間

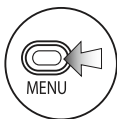
NOTE

録音・再生等の操作中は設定できません。

6-08 ユーティリティ 〈FORMAT〉



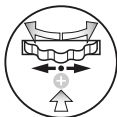
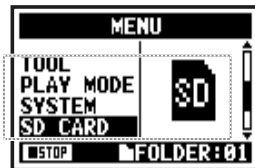
SDカードをH4n Pro用にフォーマット(初期化)します。



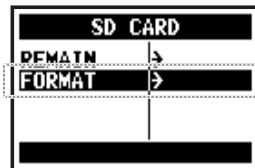
1 押す



2 〈SD CARD〉を選んで押す



3 〈FORMAT〉を選んで押す



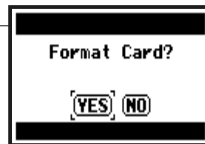
4 〈YES〉を選んで押す



HINT

“Format Card”

H4n Pro用ではないSDカードが挿入された時は、起動時に“Format Card?”と表示されます。



NOTE

- ・録音・再生等の操作中は設定できません。
- ・SDカードをフォーマットすると、それまでに保存されていたデータはすべて消去されますので、ご注意ください。
- ・パソコンやデジタルカメラなどで使用したSDカードは、H4n Proでフォーマットしてからご使用ください。

参照 H2、H4のSDカード P.136

6-09 ユーティリティ 〈VERSION UP〉

SDカードとインターネットに接続されたパソコンを使えば、H4n Proのシステムソフトウェアを最新のものにバージョンアップできます。

H4n Proのバージョンは、
〈SYSTEM(VERSION)〉
で確認



本体システムのバージョン

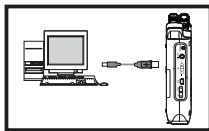
1 PC

ZOOMのWebサイト www.zoom.co.jp から最新のシステムソフトウェアをダウンロードする

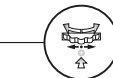
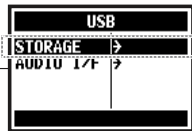
2 PC H4n Pro

パソコンとH4n ProをUSBケーブル接続する

【パソコンとH4n Proの設定方法】



パソコンとH4n ProをUSBケーブルで接続



〈STORAGE〉
を選んで押す



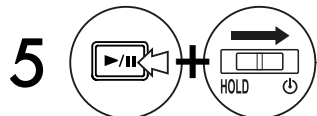
パソコンからH4n ProのSDカードのデータを操作できるようになります

3

ダウンロードしたシステムソフトウェアをH4n ProのSDカードのルートディレクトリにコピーする

4 PC H4n Pro

パソコンとH4n Proの接続を解除する



[PLAY/PAUSE] ボタンを押しながら電源をONにする



〈OK〉を
を選んで押す



HINT

パソコンとつなぎ、〈STORAGE〉を選ぶと H4n Pro は SD カードリーダーとして認識され使用できます。

NOTE

接続解除は、必ずパソコン側で操作してください。

参照

〈SYSTEM(VERSION)〉

P.131

6-010 ユーティリティ H2、H4のSDカードを使う

H2、H4で使用していたSDカードをH4n Proで使う場合は、ファイルやプロジェクトをH4n Proに移動できます。

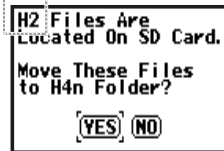


1 H2/H4のSDカードをH4n Proに取り付けて起動する



2 【ファイルを移動する】
〈YES〉を選んで押す

H4のカードはH4と表示



起動開始

NOTE

- ・H2、H4のカードのステレオファイルやH4のプロジェクトは、H4n ProのステレオフォルダとMTRプロジェクトに移動されます。
- ・H4n Proに移動を行ったSDカードは、H2、H4では認識できなくなります。
- ・プロジェクトの移動先は、プロジェクト番号の一番若い番号へ順番に移動させます。
- ・移動後にH4n Proのプロジェクト数が1000を超える場合、“Project Full”が表示され移動は行われません。H4でプロジェクト数を減らしてから移動させてください。



HINT

"File Name Exists!"

移動先のフォルダ内に同一のファイル名が存在した時は、〈RENAME〉を行ってください。



参照 〈FILE RENAME〉

P.109

リファレンス

モード別主要スペック一覧

■モード別主要スペック一覧

	ステレオモード	4CH	MTR	スタミナ
録音フォーマット	ステレオ WAV : 44.1/48/96kHz 16/24bit ステレオ MP3 : 48,56,64,80,96,112,128, 160,192,224,256,320kbps, VBR 44.1kHz	ステレオ WAV × 2 : 44.1/48kHz 16/24bit	44.1kHz 16bit ステレオ WAV、 モノラル WAV 計4トラックとな る組み合わせ	44.1kHz/16bit WAV 形式固定
最大同時録音トラック数	2トラック(ステレオ1トラック)	4トラック(ステレオ2トラック)	2トラック(ステレオ1トラック、モ ノラル2トラック)	2トラック(ステレオ1トラック)
ファイル容量制限	2GB ※ステレオモード、4CHモードにて録音容量が2GBを超える場合、別ファイルを生成			
録音時のファイル作成	常に新規保存(上書き録音不可)	常に新規保存(上書き録音不可)	上書き録音(保存)または新規録音 (保存)を選択可能	常に新規保存(上書き録音不可)
ファイルの保存場所	ステレオモード専用の10個のフォル ダに保存	4CHモード専用の10個のフォル ダに保存	複数のファイルをまとめ、プロジェ クトとして管理	ステレオモードの10個のフォルダ に保存
ファイル名の変更	○	×	○	○
フォルダ名の変更	×	×	×	×
マーカー機能	○(WAVファイルのみ)	○(WAVファイルのみ)	×	○(WAVファイルのみ)

各モードの設定可能メニュー一覧

■メニュー一覧

SYSTEM	STEREO	4CH	MTR	STAMINA
DATE/TIME	△	△	△	△
BACK LIGHT	○	○	○	○
LCD CONTRAST	○	○	○	○
BATTERY TYPE	○	○	○	○
FACTORY RESET	△	△	△	△
SD CARD	STEREO	4CH	MTR	STAMINA
FORMAT	△	△	△	△
REMAIN	△	△	△	△
USB	STEREO	4CH	MTR	STAMINA
AUDIO IF	△	△	△	—
STORAGE	△	△	△	—
MODE	STEREO	4CH	MTR	STAMINA
MODE	△	△	△	—
FOLDER SELECT	STEREO	4CH	MTR	STAMINA
FOLDER SELECT	△	△	—	△
FILE	STEREO	4CH	MTR	STAMINA
FILE INFORMATION	△	△	△	△
FILE RENAME	△	△	△	△
FILE MP3 ENCODE	△	—	—	—
NORMALIZE	△	△	—	—
DIVIDE	△	—	—	—
MOVE	△	△	△	—
MARK LIST	△	△	—	△
FILE DELETE	△	△	△	△
FILE DELETE ALL	△	△	△	△
FILE STEREO ENCODE	—	△	—	—
FILE COPY	—	—	△	—

INPUT SETTING	STEREO	4CH	MTR	STAMINA
LO CUT	○	○	—	○
COMP/LIMIT	○	○	—	—
MONITOR	○	○	○	○
REC LEVEL AUTO	△	△	—	△
MONO MIX	△	—	—	△
MS STEREO MATRIX	○	○	—	—
PHANTOM	○	○	○	○
PLUG-IN POWER	○	○	○	○
REC SETTING	STEREO	4CH	MTR	STAMINA
REC FORMAT	△	△	—	—
AUTO REC	△	△	—	△
PRE REC	△	△	—	—
FILE NAME	△	—	—	△
TOOL	STEREO	4CH	MTR	STAMINA
TUNER	△	△	△	—
METRONOME*	○	○	○	—
A-B REPEAT	△	△	—	—
SPEED	△	—	—	—
PLAY MODE	STEREO	4CH	MTR	STAMINA
PLAY MODE	△	△	—	△
REC MODE	STEREO	4CH	MTR	STAMINA
REC MODE	—	—	△	—
EFFECT	STEREO	4CH	MTR	STAMINA
EDIT	—	—	○	—
IMPORT	—	—	△	—

PROJECT	STEREO	4CH	MTR	STAMINA
NEW PROJECT	—	—	△	—
SELECT	—	—	△	—
RENAME	—	—	△	—
COPY	—	—	△	—
DELETE	—	—	△	—
PUNCH IN/OUT	STEREO	4CH	MTR	STAMINA
PUNCH IN/OUT	—	—	○*	—
BOUNCE	STEREO	4CH	MTR	STAMINA
BOUNCE	—	—	△	—

○…録音・再生中も設定できます(*は一部設定できない場合があります)。
△…録音・再生中は設定できません(*は一部設定できない場合があります)。

MTRモードのエフェクトタイプとパラメーター

■PREAMPモジュール

●ギタープリアンプ系のエフェクトタイプ

FD TWRN	Fender Twin Reverb('65) のモデリングサウンドです。
UK 30A	クラスA プリティッシュ・コンポアンプ初期モデルのモデリングサウンドです。
HW 100	HIWATT CUSTOM 100 のモデリングサウンドです。
FD TWEED	Fender Bassman('59) のモデリングサウンドです。
BGcrunch	Mesa Boogie Mark III combo amp のモデリングサウンドです。
MScrunch	Marshall JCM800 2203 クランチ設定のモデリングサウンドです。
MS DRIVE	Marshall JCM800 2203 ドライブ設定のモデリングサウンドです。
XTASY BL	Bogner Ecstasy Blue channel のモデリングサウンドです。
SD+XTASY	Bogner Ecstasyと SweetDrive を組み合わせたサウンドです。
TS+FDcmb	FENDER コンポアンプとIbanez TS - 808 を組み合わせたサウンドです。
GD+MSstk	Marshall JCM800 2203と GoldDrive を組み合わせたサウンドです。
FZ+MSstk	Marshall JCM800 2203と Fuzz を組み合わせたサウンドです。

上記の12種類のエフェクトタイプは、パラメーターが共通です。

① CABINET (キャビネット)	0 ~ 2	スピーカーキャビネットの箱鳴りの深さを調節します。
② GAIN(ゲイン)	0 ~ 100	プリアンプのゲイン(歪みの深さ)を調節します。
③ BASS(ベース)	-12 ~ 12	低音域のブースト/カット量を調節します。
④ MIDDLE(ミドル)	-12 ~ 12	中音域のブースト/カット量を調節します。
⑤ TREBLE (トレブル)	-12 ~ 12	高音域のブースト/カット量を調節します。
⑥ LEVEL(レベル)	1 ~ 100	PREAMPモジュール通過後のレベルを設定します。
⑦ ZNR (ズームノイズリダクション)	OFF、 1 ~ 16	ズーム独自のノイズリダクションZNRの感度を調節します。

ACO SIM	エレクトリックの音色をアコースティックギター風に変えるエフェクトです。	
---------	-------------------------------------	--

① TOP(トップ)	0 ~ 10	アコースティックギター特有の弦の響きを調節します。
② BODY(ボディ)	0 ~ 10	アコースティックギター特有の胴の響きを調節します。
③ BASS(ベース)	-12 ~ 12	低音域のブースト/カット量を調節します。
④ MIDDLE (ミドル)	-12 ~ 12	中音域のブースト/カット量を調節します。
⑤ TREBLE (トレブル)	-12 ~ 12	高音域のブースト/カット量を調節します。
⑥ LEVEL(レベル)	1 ~ 100	PREAMPモジュール通過後のレベルを設定します。
⑦ ZNR (ズームノイズリダクション)	OFF、 1 ~ 16	ズーム独自のノイズリダクションZNRの感度を調節します。

・表中のメーカー名、製品名は各社の商標または登録商標です。これらの名称は、音色の傾向を説明する目的で使われているもので、株式会社ズームとは無関係です。

●ベースプリアンプ系のエフェクトタイプ

SVT	Ampeg SVT のモデリングサウンドです。
BASSMAN	Fender Bassman 100 のモデリングサウンドです。
SMR	SWR SM-900 のモデリングサウンドです。
SUP-BASS	Marshall Super Bass のモデリングサウンドです。
SANSAMP	Sansamp Bass Driver DI のモデリングサウンドです。
TUBE PRE	ズームオリジナルのチューブプリ音色です。

上記の6種類のエフェクトタイプは、パラメーターが共通です。

① CABINET (キャビネット)	0 ~ 2	スピーカーキャビネットの箱鳴りの深さを調節します。
② GAIN(ゲイン)	0 ~ 100	プリアンプのゲイン(歪みの深さ)を調節します。
③ BASS(ベース)	-12 ~ 12	低音域のブースト/カット量を調節します。
④ MIDDLE (ミドル)	-12 ~ 12	中音域のブースト/カット量を調節します。
⑤ TREBLE (トレブル)	-12 ~ 12	高音域のブースト/カット量を調節します。
⑥ BALANCE (バランス)	0 ~ 100	入力される前の信号とモジュール通過後の信号のミックスバランスを設定します。値が大きいほど通過後の信号が大きくなります。
⑦ LEVEL(レベル)	1 ~ 100	PREAMPモジュール通過後のレベルを設定します。
⑧ ZNR (ズームノイズリダクション)	OFF、 1 ~ 16	ズーム独自のノイズリダクションZNRの感度を調節します。

・表中のメーカー名、製品名は各社の商標または登録商標です。これらの名称は、音色の傾向を説明する目的で使われているもので、株式会社ズームとは無関係です。

●マイクプリアンプ系のエフェクトタイプ

VO MPRE	ボーカル録音に適した特性のプリアンプです。
AG MPRE	アコースティックギター録音に適した特性のプリアンプです。
FlatMPRE	フラットな特性のプリアンプです。

上記の3種類のエフェクトタイプは、パラメーターが共通です。

① COMP(コンプ)	OFF、 1 ~ 10	高いレベルの信号を抑え、低いレベルの信号を持ち上げ、全体の信号レベルを圧縮するためのパラメーターを設定します。
② DE-ESSER (ディエッサー)	OFF、 1 ~ 10	「サ、シ、ス、セ、ソ」などの歯擦音のカット量を設定します。
③ LOW CUT (ローカット)	OFF、 1 ~ 10	マイクが拾いやすい低音のノイズを減らすためのフィルターの周波数を設定します。
④ BASS(ベース)	-12 ~ 12	低音域のブースト/カット量を調節します。
⑤ MIDDLE (ミドル)	-12 ~ 12	中音域のブースト/カット量を調節します。
⑥ TREBLE (トレブル)	-12 ~ 12	高音域のブースト/カット量を調節します。
⑦ LEVEL (レベル)	1 ~ 100	PREAMPモジュール通過後のレベルを設定します。
⑧ ZNR (ズームノイズリダクション)	OFF、 1 ~ 16	ズーム独自のノイズリダクションZNRの感度を調節します。

MTRモードのエフェクトタイプとパラメーター

■ EFXモジュール

● コンプレッサー／リミッター系のエフェクトタイプ

RackComp		高いレベルの信号を圧縮し、レベルの底上げを行うコンプレッサーです。
① THRSHOLD (スレッシュホールド)	0 ~ 50	コンプレッサーが動作する基準レベルを設定します。
② RATIO(レシオ)	1 ~ 10	コンプレッサーによる圧縮の比率を調節します。
③ ATTACK (アタック)	1 ~ 10	コンプレッサーの立ち上がり速度を調節します。
④ LEVEL(レベル)	2 ~ 100	EFXモジュール通過後のレベルを設定します。
LIMITER		入力信号が一定のレベルを越えた時に圧縮するリミッターです。
① THRSHOLD (スレッシュホールド)	0 ~ 50	コンプレッサーが動作する基準レベルを設定します。
② RATIO(レシオ)	1 ~ 10	コンプレッサーによる圧縮の比率を調節します。
③ RELEASE (リリース)	1 ~ 10	信号が基準レベルを下回ってから、リミッターの効果が解除されるまでの速さを調節します。
④ LEVEL(レベル)	2 ~ 100	EFXモジュール通過後のレベルを設定します。

● 変調系のエフェクトタイプ

AUTO WAH		入力信号の強弱に応じてワウ効果がかかるエフェクトです。
① POSITION (ポジション)	Before, After	EFXモジュールの接続位置を選択します。Before (PREAMPの前)またはAfter (PREAMPの後)が選べます。
② SENSE(センス)	-10 ~ -1, 1 ~ 10	効果の感度を設定します。
③ RESONANC (レゾナンス)	0 ~ 10	クセの強さを設定します。
④ LEVEL(レベル)	2 ~ 100	EFXモジュール通過後のレベルを設定します。
PHASER		音にシュワシュワした揺らぎを加えるエフェクトです。
① POSITION (ポジション)	Before, After	EFXモジュールの接続位置を選択します。Before (PREAMPの前)またはAfter (PREAMPの後)が選べます。
② RATE(レート)	0 ~ 50、♪ (P146別表)	変調の速さを調節します。
③ COLOR(カラー)	4STAGE, 8STAGE, INVERT4, INVERT8	音色のタイプを選択します。
④ LEVEL(レベル)	2 ~ 100	EFXモジュール通過後のレベルを設定します。
TREMOLO		音量を周期的に上下させるエフェクトです。
① DEPTH(デプス)	0 ~ 50	変調の深さを調節します。
② RATE(レート)	0 ~ 50、♪ (P146別表)	変調の速さを調節します。
③ WAVE(ウェーブ)	UP 0 ~ 9 DOWN 0 ~ 9 TRI 0 ~ 9	変調用の波形をUP(上昇ノコギリ波)、DOWN(下降ノコギリ波)、TR(I三角波)の中から選びます。数値が大きいほど波形の先端がクリップして、効果が強調されます。
④ LEVEL(レベル)	2 ~ 100	EFXモジュール通過後のレベルを設定します。

RING MOD	金属的なサウンドを作り出すエフェクトです。FREQUENCYパラメーターの設定で音色がガラリと変わります。	
① POSITION (ポジション)	Before, After	EFXモジュールの接続位置を選択します。Before (PREAMPの前)またはAfter (PREAMPの後)が選べます。
② FREQ (フリケンシー)	1 ~ 50	変調に使用する周波数を設定します。
③ BALANCE (バランス)	0 ~ 100	原音とエフェクト音のバランスを調節します。
④ LEVEL (レベル)	2 ~ 100	EFXモジュール通過後のレベルを設定します。

SLOW ATK	いわゆるバイオリン奏法のように1音1音の立ち上がりゆるやかにするエフェクトです。	
① POSITION (ポジション)	Before, After	EFXモジュールの接続位置を選択します。Before (PREAMPの前)またはAfter (PREAMPの後)が選べます。
② TIME (タイム)	1 ~ 50	立ち上がりにかかる時間を調節します。
③ CURVE (カーブ)	0 ~ 10	立ち上がりの音量変化カーブを設定します。
④ LEVEL (レベル)	2 ~ 100	EFXモジュール通過後のレベルを設定します。

CHORUS	原音にピッチを揺らしたエフェクト音をミックスし、揺れや厚みを加えるエフェクトです。	
ENSEMBLE	立体的な動きが特徴のコーラスアンサンブルです。	

上記の2種類のエフェクトタイプは、パラメーターが共通です。

① DEPTH (デプス)	0 ~ 100	変調の深さを調節します。
② RATE (レート)	0 ~ 50	変調の速さを調節します。
③ TONE (トーン)	0 ~ 10	音質を調節します。
④ MIX (ミックス)	0 ~ 100	原音に対するエフェクト音のミックス量を調節します。

FLANGER	音に揺れと強烈なうねりを加えるエフェクトです。	
① DEPTH (デプス)	0 ~ 100	変調の深さを調節します。
② RATE (レート)	0 ~ 50、♪ (P146別表)	変調の速さを調節します。
③ RESONANC (レゾナンス)	-10 ~ 10	変調のクセの強さを設定します。
④ MANUAL (マニュアル)	0 ~ 100	効果のかかる周波数帯域を調節します。

STEP	音色が階段状に変化する特殊エフェクトです。	
① DEPTH (デプス)	0 ~ 100	変調の深さを調節します。
② RATE (レート)	0 ~ 50、♪ (P146別表)	変調の速さを調節します。
③ RESONANC (レゾナンス)	0 ~ 10	変調のクセの強さを設定します。
④ SHAPE (シェイプ)	0 ~ 10	エフェクト音のエンベロープを設定します。

VIBE	自動的にビブラートのかかるエフェクトです。	
① DEPTH (デプス)	0 ~ 100	変調の深さを調節します。
② RATE (レート)	0 ~ 50、♪ (P146別表)	変調の速さを調節します。
③ TONE (トーン)	0 ~ 10	音質を調節します。
④ BALANCE (バランス)	0 ~ 100	原音とエフェクト音のバランスを調節します。

MTRモードのエフェクトタイプとパラメーター

CRY		音色がトーキングモジュレーター風に変化するエフェクトです。
① RANGE (レンジ)	1 ~ 10	効果のかかる周波数帯域を調節します。
③ RESONANC (レゾナンス)	0 ~ 10	効果のクセの強さを設定します。
② SENSE (センス)	-10 ~ -1, 1 ~ 10	効果の感度を設定します。
④ BALANCE (バランス)	0 ~ 100	原音とエフェクト音のバランスを調節します。
PITCH		ピッチを上下にシフトさせるエフェクトです。
① SHIFT (シフト)	-12 ~ 12, 24	ピッチシフト量を半音単位で設定します。
② TONE (トーン)	0 ~ 10	音質を調節します。
③ FINE (ファイン)	-25 ~ 25	ピッチシフト量をセント(1 / 100半音)単位で微調節します。
④ BALANCE (バランス)	0 ~ 100	原音とエフェクト音のバランスを調節します。

●ディレイ／リバーブ系のエフェクトタイプ

AIR		部屋鳴りの空気感を再現し、空間的な奥行きを与えるエフェクトです。
① SIZE (サイズ)	1 ~ 100	空間の広さを設定します。
② REFLEX (リフレックス)	0 ~ 10	壁からの反射音の量を設定します。
③ TONE (トーン)	0 ~ 10	音質を調節します。
④ MIX (ミックス)	0 ~ 100	原音に対するエフェクト音のミックス量を調節します。
DELAY		最長5000msのロングディレイに対応したディレイです。
ECHO		最長5000msのロングディレイに対応した、テープエコーのシミュレーションです。
ANALOG		最長5000msのロングディレイに対応した、暖かみのあるアナログディレイのシミュレーションです。
上記の3種類のエフェクトタイプは、パラメーターが共通です。		
① TIME (タイム)	1 ~ 5000ms、 ♪ (P146別表)	ディレイタイムを設定します。
② FEEDBACK (フィードバック)	0 ~ 100	フィードバック量を調節します。
③ HIDAMP (ハイダンブ)	0 ~ 10	ディレイ音の高音域の減衰量を調節します。
④ MIX (ミックス)	0 ~ 100	原音に対するエフェクト音のミックス量を調節します。

RvsDelay	最長2500msのロングディレイに対応した、リバースディレイです。	
① TIME(タイム)	10～2500ms、 ♪ (P146別表)	ディレイタイムを設定します。
② FEEDBACK(フィードバック)	0～100	フィードバック量を調節します。
③ HIDAMP(ハイダンブ)	0～10	ディレイ音の高音域の減衰量を調節します。
④ MIX(ミックス)	0～100	原音に対するエフェクト音のミックス量を調節します。
HALL	コンサートホールの残響をシミュレートしたリバーブです。	
ROOM	部屋の残響をシミュレートしたリバーブです。	
SPRING	スプリングリバーブのシミュレーションです。	
ARENA	アリーナ級の大会場の残響です。	
T ROOM	タイル貼りの部屋の残響です。	
M SPRING	明るくスッキリした音色のスプリングリバーブです。	

上記の6種類のエフェクトタイプは、パラメーターが共通です。

① DECAY(ディケイ)	1～30	残響の長さを設定します。
② PRE DLY(プリディレイ)	1～100	原音が入力されてから残響音が始まるまでの時間を設定します。
③ TONE(トーン)	0～10	音質を調節します。
④ MIX(ミックス)	0～100	原音に対するエフェクト音のミックス量を調節します。

【別表】

♪マークのついたパラメーターは、メトロノームのテンポを基準にして、設定値を音符単位で選択することもできます。設定値が対応する音符の長さは、次の通りです。

	32分音符		3	2分三連音符		×3	4分音符×3
	16分音符			付点8分音符			
	4分3連音符			4分音符			
	付点16分音符			付点4分音符			
	8分音符		×2	4分音符×2		×20	4分音符×20

NOTE

- ・実際に選択できる音符の範囲は、パラメーターに応じて異なります。
- ・テンポと音符マークの組み合わせによっては対応するパラメーターの可変範囲を越えてしまうことがあります。このような場合、値を半分にして(それでも可変範囲を越える時は、値を1/4にして)動作します。

H4n Proパッチリスト

このパッチリストに記載されているパッチは、MTRモード及びオーディオインターフェース 機能 (サンプリングレートが44.1kHzの時)で使用することができます。

カテゴリー	No.	パッチ名	パッチの特長	PREAMP モジュール	EFX モジュール
Guitar	00	Tweed Clean	ストラトと相性の良いFD TWEED のクリーンサウンド。	FD TWEED	SPRING
	01	Liverpool	クラスA プリディッシュ・コンボアンプを軽くドライブさせることによって生まれる60年代リバプール・サウンドを再現。	UK 30A	AIR
	02	Clean Chorus	切れのあるカッティングやアルペジオ向きのクリーンサウンド。	FD TWRN	CHORUS
	03	Clean Delay	白玉コードやアルペジオ向きのロングディレイを使ったクリーン・サウンド。	FD TWRN	ECHO
	04	Clean Trem	元組エフェクターともいえる、トレモロによるビブラト効果を加えたクリーンサウンド。	HW 100	TREMOLO
	05	Aco.Simulate	ストローク奏法に最適なサウンドが得られるアコースティック・ギターシミュレーション。	Aco Sim	AIR
	06	Spy's Shadow	エレキ・インストにピッタリな、スプリング・リバーブに包まれたトゥワンギー・ギター・サウンド。	FD TWRN	M SPRING
	07	Wah Cutting	FD TWRNとAUTO WAHを使ったファンキーなカッティングトーン。	FD TWRN	AUTO WAH
	08	Glossy Blues	弾き手のダイナミクスに追従する艶やかなFender '59 BASSMANのクランチサウンド。	FD TWEED	ROOM
	09	UK Crunch	クラスA プリディッシュ・コンボアンプのナチュラルクランチにAIRで空気感をプラス。	UK 30A	AIR
	10	Box Of Edge	U2のThe Edgeが得意とする定番ディレイ・トリック (BPM130 付点8分)	UK 30A	ECHO
	11	HW Crunch	HIWATT CUSTOM 100のクランチサウンド。	HW 100	ROOM
	12	Melody	TS+FDcmbにアナログディレイで自然な空気感を加えた、シンプルなメロディに合うサウンド。	TS+FDcmb	ANALOG
	13	ZEP Drive	Marshallの伝統的なクランチサウンドでLed Zeppelinのサウンドを再現。	MScrunch	RackComp
	14	Mellow Vibe	MScrunchとVibeを組み合わせたレイドバック・サウンド。	MScrunch	VIBE
	15	70's Drive	70年代の王道ロック・サウンド。	MS DRIVE	ECHO
	16	Boogie Drive	Mesa Boogie Mark IIIならではのミッドレンジの厚みを感じさせる、ソロ向きのドライブ・サウンド。	BGcrunch	ROOM
	17	MS Drive	Marshallをフルアップした初期VAN HALENサウンド。	GD+MSstk	ARENA
	18	XTASY Riff	SD+XTASYを使用したメタル・リフに適したサウンド。	SD+XTASY	OFF
	19	Jet MS Drive	Marshallのヘヴィーな歪みとフランジャーを組み合わせた豪快なサウンド。	GD+MSstk	FLANGER
	20	Talking Guy	ギターのピックアップ・ポジションやピッキングのダイナミクスに追従するトーキングギターサウンド。	GD+MSstk	CRY
	21	Oct Lead	原音にオクターブ下の音を加えた太く存在感のあるドライブサウンド。	GD+MSstk	PITCH
22	Dirty Drive	ファズならではの強力なサスティンを持つ70年代プログレッシブ・ロック定番サウンド。	FZ+MSstk	ANALOG	

カテゴリー	No.	パッチ名	パッチの特長	PREAMP モジュール	EFX モジュール	
Guitar	23	Fuzz Lead	ビンテージ・マーシャルとファズを組み合わせた、Eric Johnsonの甘く美しいファズ・サウンドを再現。	FZ+MSstk	ARENA	
	24	XTASY Lead	XTASY BLとECHOを使ったメタル・リード向けサウンド。	XTASY BL	ECHO	
Bass	25	SVT	AMPEG SVTのロックに最適なサウンド。	SVT	OFF	
	26	SMR	タイトなサウンドが得られるSWR SM-900のモデリング。	SMR	LIMITER	
	27	BASSMAN	Fender BASSMAN 100のモデリングを使用したオールド・サウンド。	BASSMAN	OFF	
	28	SUP-BASS	Marshall Super Bassの派手なドライブ・サウンド。	SUP-BASS	OFF	
	29	SANSAMP	他の楽器とのなじみが良いSANSAMPのサウンド。	SANSAMP	OFF	
	30	TUBE PRE	TUBE PREの太い歪みサウンド。	TUBE PRE	OFF	
	31	Funk Wah	タッチの強弱に対応した、ベーシックに使えるファンク・ワウサウンド。	SMR	AUTO WAH	
	32	Slap Comp	RackCompとTUBE PREを組み合わせたスラップやタッピングに最適なクリーン・サウンド。	TUBE PRE	RackComp	
	33	Bass Phaser	PHASERとTUBE PREを組み合わせたベーシックなフェイザー・サウンド。	TUBE PRE	PHASER	
	34	Fuzz Room	SUP-BASSとROOMを組み合わせたソロ用ファズ・サウンド。	SUP-BASS	ROOM	
	Mic	35	StandardComp	録音用に最適化されたスタンダードなコンプレッサー	FlatMPRE	RackComp
		36	Studio Comp	ボーカルレコーディングの際に有効なコンプレッサー	VO MPRE	RackComp
37		Chorus Vocal	深いコーラスのかかったソロボーカル向けのサウンド	VO MPRE	CHORUS	
38		Flange Vocal	癒し系ポップスボーカル用のフランジングサウンド	VO MPRE	FLANGER	
39		Light Vocal	明るく歯切れの良いイメージのボーカルに最適なサウンド	FlatMPRE	ROOM	
40		Spring	スプリングリハーブの効果が特徴的なサウンド	VO MPRE	SPRING	
41		Arena	アリーナで歌っているような深いリバーブ・サウンド	VO MPRE	ARENA	
42		Doubling	オーソドックスなダブリング効果	VO MPRE	DELAY	
43		Lead Vocal	メインボーカル向けのディレイ	VO MPRE	DELAY	
44		Analog Echo	アナログディレイを使用した、ボーカル用アナログエコーサウンド	VO MPRE	ANALOG	
45		Reverse Trip	リバースディレイを使用したトリッキーな効果	VO MPRE	RvsDelay	
46		AG Reverb	アコースティックギターのマイク録音用に最適化されたプリアンプとリハーブの組み合わせ	AG MPRE	ARENA	
47		AG Arpeggio	アコースティックギターのマイク録音用に最適化されたプリアンプとコーラスの組み合わせ(アルペジオ向け)	AG MPRE	CHORUS	
48		AG Ensemble	アコースティックギターのマイク録音用に最適化されたプリアンプとアンサンブルの組み合わせ(アルペジオ向け)	AG MPRE	ENSEMBLE	
49		AG Lead	アコースティックギターのマイク録音用に最適化されたプリアンプとディレイの組み合わせ(リード向け)	AG MPRE	DELAY	
50 ~ 59	EMPTY					

※このパッチリストに記載されている会社名、製品名などはすべて各社の所有する商号、商標であり、(株)ズームとは関係ありません。
すべての製品名、説明は、本機の開発中に参考とした製品を特定するために使用しました。

H4n Pro 製品仕様

レコーダー	同時録音トラック	ステレオモード	4CHモード	MTRモード
	同時再生トラック	2	4	2
	録音時間	4GB(SDHC) 約380分(WAV 44.1kHz/16bit ステレオトラック) 約68時間(MP3 44.1kHz/128kbps ステレオトラック) ※録音時間は目安です。条件により多少短くなる ことがあります。		
	最大録音ファイルサイズ	2GB		
	プロジェクト	1000 / カード		
	カウンター	時 / 分 / 秒 / ミリ秒		
エフェクト	その他の機能	パンチイン・アウト、パウンス、A-Bリピート		
	モジュール	2		
		〈ステレオモード〉、〈4CHモード〉: LO CUT、COMP/LIMITER 〈MTRモード〉: PRE AMPモジュール、EFXモジュール		
	タイプ	53		
	パッチ	60		
メトロノーム	チューナー	クロマチック、ギター、ベース、オープンA/D/E/G		
	メトロノーム音源	5		
A/D変換	変拍子	アクセントなし、1/4 ~ 8/4、6/8		
	テンポ	40.0 ~ 250.0BPM		
D/A変換	24bit	128倍オーバーサンプリング		
記録メディア	SDカード (16MB ~ 2GB)、SDHCカード (4 ~ 32GB)	128倍オーバーサンプリング		
	WAV フォーマット	量子化ビット数 16/24bit サンプリング周波数 44.1/48/96kHz		
	MP3 フォーマット	ビットレート 48, 56, 64, 80, 96, 112, 128, 160, 192, 224, 256, 320kbps, VBR サンプリング周波数 44.1kHz		
	〈録音〉	ビットレート 32, 40, 48, 56, 64, 80, 96, 112, 128, 160, 192, 224, 256, 320kbps, VBR サンプリング周波数 44.1/48kHz		
	〈再生〉	ビットレート 32, 40, 48, 56, 64, 80, 96, 112, 128, 160, 192, 224, 256, 320kbps, VBR サンプリング周波数 44.1/48kHz		
ディスプレイ	128 × 64ドット	フルドットLCD (バックライト付)		

入力	内蔵マイク	指向性	単一指向性
		感度	-45dB/1Pa 1kHz
		入力ゲイン	-16dB ~ 51dB
	EXT MIC	最大入力音圧	140dBspl
		入力ゲイン	-16dB ~ 51dB
		入力インピーダンス プラグインパワー対応	2kΩ以上
	INPUT [1][2] バランス入力	コネクタ	XLR 2番ホット
		入力ゲイン	-16dB ~ +43dB
		入力インピーダンス	3.0kΩ以上
		最大許容入力レベル	-6dBu
INPUT [1][2] アンバランス入力	EIN	-120dBu以下	
	コネクタ	標準フォン	
	入力ゲイン	-30dB ~ 32dB	
	入力インピーダンス	470kΩ以上	
出力	最大許容入力レベル	+2dBu	
	LINE/PHONE ステレオミニジャック	LINE 出力負荷 インピーダンス	10kΩ以上
		LINE 定格出力レベル	-10dBu
	内蔵スピーカ	PHONE 20mW + 20mW (32Ω負荷時)	400mW 8Ωモノラルスピーカ
ファンタム電源	48V、24V、OFF		
USB	USB2.0High Speed		
	マストレージクラス動作、オーディオインターフェース動作 各USB機能はUSBバスパワーで動作可能		
電源	DC 5V 1A AC アダプター使用(ズームAD-14)、単三乾電池2本		
連続録音時間	〈ステレオモード〉 内蔵マイク使用、44.1kHz/16bit、ヘッドホン接続無し アルカリ乾電池 約6時間、NiMH(2450mAh) 約8時間		
	〈スタミナモード〉 内蔵マイク使用、44.1kHz/16bit、ヘッドホン接続無し アルカリ乾電池 約10時間、NiMH(2450mAh) 約12時間		
外形寸法	73(W) x 157.2(D) x 37(H)mm		
重量	294g		

※ OdBm=0.755Vrms

※製品の仕様及び、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

故障かな？と思われる前に

H4n Proの動作がおかしいと感じられたときは、まず次の項目を確認してください。

録音/再生のトラブル

◆音が出ない、もしくは非常に小さい

- ・モニターシステムの接続、およびモニターシステム側の音量を確認してください。
- ・トラック1～4の音量レベルの数値が下がりがきっていないか確認してください。

◆レコーダーが再生途中で止まってしまう

- ・トラックを録音可能ステータスにしたまま再生を行うと、H4n Pro内部で一時ファイルが作られません。カードの残り容量がない場合、一時ファイルでカードの空き容量を使い切ってしまう、強制的に停止することがあります。この場合はトラックの録音可能ステータスを解除してください。

◆接続した楽器の音の間聞こえない、もしくは非常に小さい

- ・入力ソースの設定を確認してください(→P045)。
- ・録音レベルの設定が適切かどうかを確認してください(→P045)。
- ・INPUT[1] INPUT[2]端子を利用している場合、接続した機器の出力レベルを上げてみてください。
- ・モニター機能(→P070)がオフのときは、トラックを録音可能状態にするか、レコーダーを録音待機状態にしなければ、入力信号をモニターできません。

◆トラックに録音できない

- ・[REC]ボタンと録音先トラックに対応するTRACKボタンが赤く点灯しているかを確認してください。
- ・プロジェクトにプロテクトがかかっているときは録音が行えません。他のプロジェクトを利用するか、プロテクトをオフにしてください(→P125)。
- ・スロットにSDカードが挿入されていることを確認してください。

- ・ホールド機能が有効になっていないか確認してください(→P018)。
- ・ディスプレイに“Card Protected”と表示されるときはSDカードにライトプロテクト(書き換え保護機能)がかけられています。ライトプロテクトスイッチをスライドさせてライトプロテクトを解除してください。

◆バウンスができない

- ・トラック1～4の音量レベルが下がりがきっていないか確認してください。
- ・SDカードに十分な空き容量があることを確認してください。

その他のトラブル

◆エフェクトがかからない

- ・エフェクトがオンになっているかを確認してください。MTRモードの初期状態ではエフェクトがオフに設定されています。

◆チューナーが利用できない

- ・チューニングしたい楽器を接続した端子が、入力ソースとして選ばれているか確認してください。

◆USB端子をパソコンに接続しても認識されない

- ・対応OSが適切かどうかを確認してください(→P033)。
- ・H4n Proをパソコンに認識させるためには、H4n Pro側でUSBの動作モードを選択する必要があります(→P031)。

索引

【数字英文アルファベット】

【4CH(チャンネル)MODE】

- 再生 ▶P94
- モードと画面 ▶P39
- モードについて 切り替え ▶P35・36
- 録音 ▶P51

- AB REPEAT ▶P97
- ALWAYS NEWの録音 ▶P56
- AUDIO I/F ▶P32
- AUTO PUNCH IN/OUT ▶P59
- AUTO REC ▶P63
- AUTO REC STOP ▶P64

- BATTERY TYPE ▶P130
- BOUNCE ▶P123

- CANCEL / [MENU]長押し ▶P23
- CARIB / TUNER ▶P77
- CHROMATIC / TUNER ▶P75
- COMP/LIMIT ▶P67

- DATE/TIME ▶P26
- DAWソフトウェア ▶P32
- DIVIDE ▶P116
- [DIAL] ボタンの使い方 ▶P23

【DISPLAY】

- DISPLAY BACK LIGHT ▶P126

- DISPLAY CONTRAST ▶P129

【EFFECT】▶P81～

- EDIT ▶P84
- EDIT (EFX) ▶P86
- EDIT (LEVEL) ▶P87
- EDIT (PRE AMP) ▶P85
- EDIT (RENAME) ▶P87
- EDIT (STORE) ▶P88
- EFFECT ▶P83
- IMPORT ▶P89
- エフェクトタイプとパラメーター ▶P141
- パッチリスト ▶P147
- EFX / EFFECT ▶P86

FACTORY RESET ▶P132

【FILE】

- FILE (COPY) ▶P108
- FILE DELETE ▶P106
- FILE DELETE ALL ▶P107
- FILE INFORMATION ▶P105
- FILE MP3 ENCODE ▶P111
- FILE NAME ▶P50
- FILE NORMALIZE ▶P112
- FILE RENAME ▶P109
- FILE SELECT ▶P104
- FILE STEREO ENCODE ▶P113
- FILE / TRACK MENU ▶P57
- FOLDER SELECT ▶P103

- FORMAT ▶P134

- HOLDスイッチ ▶P18

- IMPORT / EFFECT ▶P89
- INPUT[MIC][1][2] ボタンの使い方 ▶P21
- INPUT / TUNER ▶P78

【KARAOKE】

- 準備・録音 ▶P91・P93
- 設定 / TRACK MENU ▶P57

- LEVEL / EFFECT ▶P87
- LEVEL / TRACK MENU ▶P57
- LO CUT ▶P66

- MARK ▶P96
- MARK LIST ▶P115

【MENU】

- MAIN MENU ▶P41
- [MENU] ボタンの使い方 ▶P23
- METRONOME ▶P79
- MIXER ▶P100

【MODE】

- モード ▶P35～42
- MONITOR ▶P70
- MONO MIX ▶P72
- MOVE ▶P117
- MP3 ENCODE ▶P111

MP3 ファイル・フォーマット ▶P49

MS STEREO MATRIX ▶P73

【MTR(マルチトラック)モード】

ALWAYS NEWの録音 ▶P56

OVER WRITEの録音 ▶P55

TRACK MENU ▶P57

再生 ▶P101

モードと画面 ▶P40

モードについて 切り替え ▶P35・36

録音 ▶P53

NEW PROJECT ▶P118

NOMALIZE ▶P112

OVER WRITEの録音 ▶P55

PACH EDIT / EFFECT ▶P84

PACHリスト ▶P147

PAN / MTRモード ▶P57

PAN / TRACK MENU ▶P57

PLAY MODE ▶P95

POWERスイッチ ▶P17

PRE AMP / EFFECT ▶P85

PRE REC ▶P65

【PROJECT】

BOUNCE ▶P123

COPY ▶P122

DELEAT ▶P120

NEW PROJECT ▶P118

RENAME ▶P121

PROTECT ▶P125

SELECT ▶P119

PUNCH IN/OUT(自動) ▶P59

PUNCH IN/OUT(手動) ▶P61

REC FORMAT ▶P49

REC LEVEL AUTO ▶P69

REC LEVEL ▶P45

REC LEVEL ボタンの使い方 ▶P22

[REC] ボタン ▶P19

REMAIN ▶P133

RENAME / EFFECT ▶P87

RENAME / FILE ▶P109

RENAME / PROJECT ▶P121

【SD CARD】

H2,H4のSDカードを使う ▶P136

SDカード残量 取り付け、取り外し ▶P25

SDカードリーダーとして使う ▶P33

SPEED ▶P99

STAMINA MODE ▶P15・35・37

STEREO ENCODE ▶P113

【STEREO MODE】

再生 ▶P94

モードと画面 ▶P38

モードについて 切り替え ▶P35・36

録音 ▶P47

STEREO LINK ▶P58

STORAGE ▶P33

STORE / EFFECT ▶P88

TRACK MENU ▶P57

TRACK[1][2][3][4] ボタン ▶P20

【TUNER】

CARIB ▶P77

CHROMATIC ▶P75

GUITER、OPEN G、DAGDAG ▶P76

INPUT ▶P78

TUNERタイプ ▶P78

【USB】

USB接続 SDカードリーダーとして使う ▶P33

USB接続 オーディオインターフェースとして使う ▶P31

USBバスパワー ▶P33

VOLUME ボタンの使い方 ▶P22

WAV ファイル・フォーマット ▶P49

【あ行】

空き容量を確認する<REMAIN> ▶P133

インプット<TUNER> ▶P78

上書き録音 →OVER WRITE 録音 ▶P55

【エフェクト】 ▶P81 ~ 90

EFX モジュールの編集 ▶P86

索引

PRE AMPモジュールの編集 ▶P85

エフェクト(EFFECT) ▶P83

エフェクトタイプとパラメーター ▶P141

ストア(保存) 〈STORE〉 ▶P88

取込み(IMPORT) ▶P89

名前の変更(RENAME) ▶P87

パッチの編集(EDIT) ▶P84

パッチリスト ▶P147

レベル調整(LEVEL) ▶P87

エムエス ステレオ マトリックス(MS STEREO MATRIX) ▶P73

【MTR(マルチトラック)モード】

ALWAYS NEWの録音 ▶P56

OVER WRITEの録音 ▶P55

TRACK MENU ▶P57

再生 ▶P101

モードと画面 ▶P40

モードについて ▶P35

モードの切り替え ▶P36

録音 ▶P53

MP3エンコード〈FILE MP3 ENCODE〉 ▶P111

オーディオインターフェースとして使う ▶P31

オートレク〈AUTO REC〉 ▶P63

オートレクストップ〈AUTO REC STOP〉 ▶P64

オーバーライト録音 ▶P55

オルウェイズニュー録音 ▶P56

オフマイク録音／オンマイク録音 ▶P29

【か行】

外部マイクの接続 ▶P27・29

外部機器との接続 ▶P27

カウンターで時間を指定 ▶P102

家庭用電源で使う ▶P15

【カラオケ】

カラオケ準備・録音 ▶P91～93

カラオケ設定(トラックメニュー) ▶P57

キーホールド機能 →ホールド機能 ▶P18

キャリブチューナー ▶P77

クロマチックチューナー ▶P75

コンプ/リミット〈COMP/LIMIT〉 ▶P67

【さ行】

再生(4トラック・4CH・スタミナモード) ▶P94

再生(MTRモード) ▶P101

最初のトラックの録音 ▶P53

サンプリングレート ▶P32

シャットダウン ▶P18

新規プロジェクトの作成 ▶P118

新規録音モード →ALWAYS NEW録音 ▶P56

スタミナモード ▶P15・35・37

ステレオエンコード〈FILE STEREO ENCODE〉 ▶P113

【ステレオ モード】

再生 ▶P94

モードと画面 ▶P38

モードについて ▶P35

モードの切り替え ▶P36

録音 ▶P47

ステレオリンク(TRACK MENU) ▶P58

セッティング・接続 ▶P27

ソフトウェアのバージョンアップデート

→VERSION UP

▶P135

【た行】

チューナー 〈TUNER〉 ▶P75～78

チューナータイプ ▶P78

ディスプレイ ▶P126・129

デバイド〈DIVIDE〉 ▶P116

【電源】

電源のON / OFF(シャットダウン) ▶P17

電池・電源のセッティング ▶P15

電池で使う 電池の取り付け方 ▶P15

電池の残量 使用時間の目安 ▶P16

トップ画面 ▶P38・39・40

【トラック (TRACK)】

トラックの設定 ▶P57

トラックボタン ▶P20

トラックメニュー 〈TRACK MENU〉 ▶P57

録り直す〈PUNCH IN/OUT〉 ▶P59・61

【な行】

内蔵スピーカー ▶P34

内蔵マイク・外部マイク ▶P28・29

入カソースの設定 ▶P45

入力ボタン ▶P21

入力レベル ▶P46

ノーマライズ<FILE NORMALIZE> ▶P112

【は行】

バウンス ▶P123

パッチ→エフェクト

バリアブルXYステレオマイク(内蔵マイク) ▶P28

パン(トラックメニュー) ▶P57

パンチイン/アウト<PUNCH IN/OUT> ▶P59・61

日付・時刻の設定 ▶P26

ビットレート ▶P49

【ファイル<FILE>】

MP3エンコード<FILE MP3 ENCODE> ▶P111

デバインド<DIVIDE> ▶P116

ステレオエンコード<FILE STEREO ENCODE>
▶P113

ファイル情報<FILE INFORMATION> ▶P105

ファイル名<FILE NAME> ▶P50

ファイルを移動する<MOVE> ▶P117

ファイル名を変更する<FILE RENAME> ▶P109

ファイルを選ぶ<FILE SELECT> ▶P104

ファイルを削除する<FILE DELETE> ▶P106

ファイルをすべて削除する<FILE DELETE ALL> ▶P107

ファイルをトラックに割り付ける ▶P59

ファイルを複製する<FILE (COPY)> ▶P108

ノーマライズ<FILE NORMALIZE> ▶P112

ファンタム電源 ▶P30

フォーマット(初期化) <FORMAT> ▶P134

フォルダを選ぶ<FORDER> ▶P103

プラグインパワー ▶P29

プレイモード<PLAY MODE> ▶P95

プレレク<PRE REC> ▶P65

【プロジェクト<PROJECT>】

新規プロジェクト<NEW PROJECT> ▶P118

バウンス<BOUNCE> ▶P123

プロジェクトの選択<SELECT> ▶P119

プロジェクトを削除する<DELETE> ▶P120

プロジェクトを複製する<COPY> ▶P122

プロジェクト名の変更<RENAME> ▶P121

プロテクト<PROTECT> ▶P125

ホールド機能 HOLDスイッチ ▶P18

ボタンの使い方 ▶P19～24

【ま行】

マークの設定 ▶P96

マイク ▶P28・29

マルチトラックモード→MTRモード

ミキサー <MIXER> ▶P100

メトロノーム<METRONOME> ▶P79

【モード<MODE>】▶P35～42

モード別主要スペッカー一覧 ▶P139

設定メニュー一覧と機能 ▶P140

モードと画面 ▶P38～42

モードについて モードの詳細 ▶P35・37

モードの切り替え・確認 ▶P36

モニター <MONITOR> ▶P70

モノミックス<MONO MIX> ▶P72

【や行】

【4CH(チャンネル)モード】

再生 ▶P94

モードと画面 ▶P39

モードについて 切り替え ▶P35・36

録音 ▶P51

【ら行】

リモコン(オプション) ▶P43

レック[REC]ボタン ▶P19

レックレベル<REC LEVEL> ▶P22

レックレベルオート<REC LEVEL AUTO> ▶P69

【録音】▶P45～62

録音(ステレオモード) ▶P47

録音(4CHモード) ▶P51

録音(MTRモード) ▶P53

録音トラックの選択(MTRモード) ▶P46

録音フォーマット<REC FOMAT> ▶P49

録音レベルの調節 ▶P46

ローカット<LO CUT> ▶P66

ローケーターボタン

[PLAY/PAUSE : STOP : FF : REW] ▶P19

zoom[®]

株式会社ズーム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4-4-3

ホームページ <http://www.zoom.co.jp>